事務事業評価報告書

令和3年3月

山武市

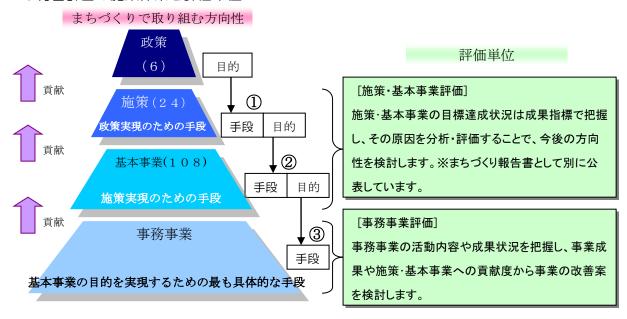
1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1)施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として24の「施策」を設定し、さらに施策を108の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進する ものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前 提としています。

●総合計画の施策体系と評価単位



- ①施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ②基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならず、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2)事務事業評価の組織決定について

①事業課の評価(1次評価)

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



②全庁視点での評価(2次評価)

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局(総務課・財政課・企画政策課の合同組織)と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3)事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和元年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 196 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2019」、「令和元年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

■令和元年度の事務事業評価結果

政策 施	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ						
1 暮ら	しを支え	る快適なまちづくり								
	1 地域核	をネットワークする都市整備の推進								
	1 道路網の整備・維持管理									
		交通安全施設整備管理事業	土木課	10						
		道路維持補修事業	土木課	11						
		交通安全施設事業	土木課	12						
		避難道路整備事業	土木課	13						
		成東259号線道路改良事業	土木課	14						
		上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	15						
		蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	16						
		橋梁長寿命化修繕事業	土木課	17						
	2 万	뷫田空港周辺地域としての基盤整備								
		成田空港周辺対策道路・水路整備事業	土木課	18						
	3 浅	曼水対策の推進								
		松尾駅周辺排水対策事業	土木課	19						
	4 馬	R周辺の利便性の向上 -								
		成東駅南口線整備促進事業	都市整備課	20						
		成東駅北側周辺地区調査・あり方検討事業	都市整備課	21						
	6 ਰੋ	ちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用								
		地籍調査事業	土木課	22						
		住宅居住環境推進事業	都市整備課	23						
		小松地先市有地整備事業	都市整備課	24						
		空家等対策事業	都市整備課	25						
	2 公共交	通網の整備・充実	·							
	1 7	方内における交通手段の確保								
		身近な公共交通確保事業	企画政策課	26						
	2 /	バスでの主要都市へのアクセス向上								
		空港シャトルバス利用促進事業	企画政策課	27						
	3 防災・》	載災対策の推進								
	1 爿	也域防災力の向上								
		自主防災組織育成事業	消防防災課	28						
	2 5	災害支援体制の確立								
		災害時応援協定の見直し及び締結の促進事業	消防防災課	29						
		災害時要援護者支援システム管理事業	社会福祉課	30						
	3 [3	カ災意識の向上		•						
		防災用備蓄物資整備事業	消防防災課	31						
		防災訓練実施事業	消防防災課	32						
	4)	- 肖防力の充実								
		消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	33						
	5 弘	- 								
		津波避難施設整備事業	消防防災課	34						
2 住み	みやすいI	環境と安全なまちづくり								
	1 生活環	境の充実								
	2 身	美化運動の推進と不法投棄防止対策								
		不法投棄防止対策事業	環境保全課	35						
		不法投棄パトロール事業	環境保全課	36						
	3 舟	亢空機騒音等の対策	1	•						
	- "	防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業	企画政策課	37						
		航空機騒音対策空調機器設置事業	企画政策課	38						
I	J	沙土 灰 艾口八 木工 沙	LEWAR							

政策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
	2 序		量・処理の適正化		
		1 ごみの			
			用生ごみ堆肥化装置設置支援事業	環境保全課	39
		2 廃棄物	加に関する意識の向上と啓発		
			物に関する意識啓発事業	環境保全課	40
	3 €	自然環境の			
			マスタウン構想の推進		
			素型地域づくりモデル形成事業	農林水産課	41
]能エネルギー対策の推進		
			ネルギー等対策事業	環境保全課	42
		5 汚水処	L理の推進		
			槽設置支援事業	環境保全課	43
	5 以	f犯·交通9	安全の推進		
		1 防犯体	は制の充実		
		防犯	パトロール事業	市民課	44
		3 犯罪か	ぶおこりにくい環境に向けての施設設備の整備		
		駅前	自転車駐車場等防犯カメラ維持管理事業	市民課	45
		LE	D防犯灯整備事業	市民課	46
		防犯	カメラ設置推進事業	市民課	47
		4 消費者	新トラブルの防止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	
			生活相談事業	わがまち活性課	48
			マ全意識の向上	11	
			安全協会支援事業	市民課	49
3 (3	こぎわ		らしを創出するまちづくり	11-2011	
		農林水産業			
)安定化の推進		
			鳥獣駆除及び保護管理事業	農林水産課	50
			所得安定対策推進事業	農林水産課	51
			この育成·支援	12 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
			農業者育成事業	農林水産課	52
			O利用集積の推進	及刊列之即	02
			中間管理事業	農林水産課	53
			・ 問号なずな ・ 盤整備の推進	及刊外注述	
			畑地帯総合整備事業	農林水産課	54
			^{畑20円100} 口	農林水産課	55
		l	^{円仮に事業} 茂原地区県営かんがい排水事業	農林水産課	56
			地域防災減災事業	農林水産課	50 57
					57 58
			水路等長寿命化・防災減災事業	農林水産課	
			整備事業	農林水産課	59
			事生の推進 ませまはませ	曲井小女冊	00
			森林整備事業	農林水産課	60
			環境整備推進事業	農林水産課	61
			2総合推進	I	
			委員会運営事業	農業委員会事務局	62
	2 彦		興と地域経済活性化 ************************************		
			当費の向上 タイプログラス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイ	1	
			等リフォーム助成事業	わがまち活性課	63
			はの体質強化・育成		
		商工	会運営支援事業	わがまち活性課	64
		I	企業運営資金利子補給事業	わがまち活性課	65
		エコ	ノミックガーデニング推進事業	わがまち活性課	66

政策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
		4 成田	空港経済圏の形成	•	•
		就業	環境改善推進事業	企画政策課	67
	3 種	見光の振興	Į		
		1 魅力	ある観光事業の推進		
		観光	推進支援事業	わがまち活性課	68
		体騎	型観光推進事業	わがまち活性課	69
		にき	わい創出事業	わがまち活性課	70
		2 海岸	を活用した観光推進	·	,
		海水	浴場維持管理安全対策事業	わがまち活性課	71
		美し	い海水浴場次世代継承事業	わがまち活性課	72
		3 観光	青報の発信		
		観光	PR事業	わがまち活性課	73
4 t:	ごれも	が生きがし	いを持って安心して暮らせるまちづくり		
	1 福	高齢者福祉	との充実 ということ こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅ こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう		
		1 生きだ	がいづくりと介護予防の推進		
		ふれ	- あいデイサービスセンター運営事業	高齢者福祉課	74
		介護	予防研究事業	高齢者福祉課	75
		2 介護-	サービス・日常生活の支援		•
		老人	保護措置費	高齢者福祉課	76
		3 安心	安全な生活への仕組みづくり	•	•
		緊急	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高齢者福祉課	77
	2 월	章がい者(見)福祉の充実		•
		1 自立	支援サービスの促進		
		障害	· · · · · · · · · ·	社会福祉課	78
		2 地域	生活支援の基盤づくり	•	
		重度	心身障害者医療費助成事業	社会福祉課	79
			: 注生活支援事業	社会福祉課	80
		3 社会	舌動参加の促進	•	•
		福祉	タクシー利用助成事業(地域生活)	社会福祉課	81
		4 児童	発達支援の充実		*
			· 児通所等支援事業	社会福祉課	82
	3 仮	建康づくりの	D推進	•	•
		1 心身(の健康管理の充実		
		高齢	· ·者予防接種事業	健康支援課	83
			ぶの森元気館指定管理事業	健康支援課	84
			ぶの森元気館改修事業	健康支援課	85
		2 健診(の受診率向上と生活習慣の改善	<u> </u>	.
		乳•	子宮がん検診事業	健康支援課	86
			ん検診事業	健康支援課	87
			ん検診事業	健康支援課	88
			がん検診事業	健康支援課	89
		3 母子(の健康管理		
				健康支援課	90
			一般健康診査委託事業	健康支援課	91
			予防接種事業	健康支援課	92
			本制の充実	In control amounts	•
			独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	93
			生	健康支援課	94
			学生奨学金貸付事業	健康支援課	95
	4 -	子育ての支		100 M 100 M	1 30
			機能の充実		

政策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
			ちびっこ国際交流事業	子育て支援課	96
			まつおこども園移転整備事業	子育て支援課	97
			訪問型病児保育利用助成事業	子育て支援課	98
		2 -	子育て不安の軽減	•	
			子育て支援センター運営事業	子育て支援課	99
			子育て世代包括支援センター運営事業	健康支援課	100
			産後ケア事業	健康支援課	101
		3 -	子育て家庭への援助		
			母子家庭自立支援給付金事業	子育て支援課	102
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	103
			高校生等医療費助成事業	子育て支援課	104
		4.	どもの人権の尊重		101
			家庭児童相談事業	子育て支援課	105
		5 È	学童保育の充実] 月(又汲杯	100
		J -	デェバラジルス 学童保育運営事業	子育て支援課	106
	E +1	h tat 75	子里休月埋呂争未 祉の充実とセーフティーネットの推進	丁月〔又抜牀	100
	Э Л				
			也域福祉の担い手育成	11 4=11=	107
			地域福祉活動推進助成事業	社会福祉課	107
			障がい者スポーツ選手等講演会開催事業	社会福祉課	108
			障がい者スポーツ審判資格等取得事業	社会福祉課	109
		2 7	±会福祉機関・団体の充実		1
			社会福祉協議会補助事業	社会福祉課	110
		3 5	上活困窮者自立支援の充実 		
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	111
		4 5	上活保護制度の適正な実施		
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	112
		5 4	S営住宅の維持管理 Silving Time Time Time Time Time Time Time Time		
			市営白幡住宅施設管理運営事業	都市整備課	113
5 刍	E涯を	通じて	[人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
	1 芎	之校教	育の充実		
		1 [確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
			小学校生活指導補助員等派遣事業	学校教育課	114
			中学校生活指導補助員等派遣事業	学校教育課	115
			少人数指導授業推進事業	学校教育課	116
			外国人英会話授業支援事業	学校教育課	117
			英語教育推進事業	学校教育課	118
		2 [大田秋日に足ず木	TANHM	110
			児童健康安全管理事業	学校教育課	119
			生徒健康安全管理事業	学校教育課	120
		2 [工作健康女主自母争来 豊かな心」を育む	于仪仪自体	120
		3 1		尚拉 斯安迪	121
			不登校対策推進事業	学校教育課	
			学びを広げる学校図書館づくり事業	学校教育課	122
			一校一国運動事業	学校教育課	123
			イングリッシュカフェ開催事業	学校教育課	124
			ダンス教育推進事業	学校教育課	125
		4 I	CT教育の実践	T	ı
			中学校情報化教育環境整備事業	学校教育課	126
			小学校情報化教育環境整備事業	学校教育課	127
			教育情報機器管理事業	学校教育課	128
			ICTサポート事業	学校教育課	129
1		5 孝	数育環境の整備		

政策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
			小学校トイレ環境整備事業	教育総務課	130
			中学校トイレ環境整備事業	教育総務課	131
			小学校施設整備事業	教育総務課	132
			中学校施設整備事業	教育総務課	133
			松尾小学校新校舎整備事業	教育総務課	134
			日向・山武西統合小学校施設改修事業	教育総務課	135
			小学校施設改修等事業	教育総務課	136
			学校のあり方検討事業	学校再編推進室	137
			小中学校閉校・開校事業	学校再編推進室	138
				学校給食センター	139
		6 t		子及門及こうグ	100
		0 2	教育情報の発信事業	教育総務課	140
			小学校・学校評議員制度事業		
				学校教育課	141
			中学校・学校評議員制度事業	学校教育課	142
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	学校教育課	143
			放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	144
			コミュニティ・スクール推進事業	生涯学習課	145
	2 5		<mark>望の推進 </mark>		
					140
			各種講座事業	公民館	146
			松尾公民館ダンス振興事業	公民館	147
			松尾公民館公営塾運営事業	公民館	148
		2 5	生涯学習施設の利用促進		T
			さんぶの森公園管理事業	さんぶの森公園管理事務所	149
			さんぶの森文化ホール非構造部材耐震等改修事業	さんぶの森公園管理事務所	150
			さんぶの森中央会館等施設改修事業	さんぶの森公園管理事務所	151
			成東文化会館施設管理事業	文化会館	152
			成東文化会館改修事業	文化会館	153
			成東中央公民館施設改修事業	公民館	154
			環境改善センター施設改修事業	公民館	155
			松尾図書館運営事業	図書館	156
		3 7	・ 文化財の保護・活用	•	Ψ
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	157
			伊藤左千夫顕彰事業	歴史民俗資料館	158
		4 ‡	芸術文化活動の充実	A CONTRACTION	
		T 2	成東文化会館自主事業	文化会館	159
			さんぶの森文化ホール自主事業	文化会館	160
		5 =	でんぷの森文にホール日工事来 青少年の育成	人化去品	100
		J F	ックキの自然 少年海外派遣支援事業	生涯学習課	161
			山武市青少年派遣事業	生涯学習課	
					162
		<u> </u>	スリランカ青少年招へい事業	生涯学習課	163
	3 /		<mark>ツの振興</mark> スポーツ活動の充実		
		- ' -		マユ゜ い作 閉 囲	104
			トップアスリートスポーツ教室事業	スポーツ振興課	164
			ボッチャ大会開催事業	スポーツ振興課	165
		3 1	本育施設の利用促進	1	
			成東総合運動公園維持管理事業	スポーツ振興課	166
			蓮沼スポーツプラザ施設改修事業	スポーツ振興課	167
	4)		[重のまちづくり		
		1 /	人権教育・人権啓発の推進		
			子ども人権(САР)事業	生涯学習課	168

策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
		2 人	権擁護の推進		
			人権相談事業	市民課	169
			女共同参画の推進		
			男女共同参画推進事業	企画政策課	170
市			協働してつくるまちづくり		
	1 協		を流によるまちづくり		
			民活動の活性化		
			市民提案型交流のまちづくり推進事業	市民自治支援課	17 ⁻
		B.co	地域まちづくり事業	市民自治支援課	172
			地域まちづくりグローバル賑わい空間事業	市民自治支援課	173
			民活動施設の利用促進		
			コミュニティ施設整備支援事業	市民課	174
		4 多	文化共生社会の推進		
		[国際交流支援事業	企画政策課	17
			さんむグローバルセンター運営事業	東京オリンピック・パラリン ピック戦略推進室	170
		5 東	京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進		
	ĺ		招致国事前交流事業 	市民自治支援課	17
		Ţ	東京オリンピック・パラリンピック戦略推進事業	東京オリンピック・パラリン ピック戦略推進室	17
	2 開		た市政とまちの魅力発信		·
		1 情	報発信力の充実		
	ı	,	。 ふるさと納税推進事業	企画政策課	179
		ij	- 広報さんむ作成・発行事業	市民自治支援課	18
		1111	ホームページ運営事業	市民自治支援課	18
			会情報の公開の推進		
			議会だより作成事業	議会事務局	18
		1111	議会改革推進事業	議会事務局	183
	3 言		効率的な行財政運営		
_			政経営の推進		
			行政評価制度推進事業	企画政策課	184
	l		材育成と効率的な組織運営	THE STATE OF	
	l		職員研修事業	総務課	18
		line line	人事評価事業	総務課	18
			組織体制見直し事業	総務課	18
		B.co	定員適正化推進事業	総務課	18
		mi	マークライフバランス推進事業	総務課	18
	ŀ		全な財政運営	ስር ነ <u>ን</u> በአ	1 10
	ŀ		指定管理者指定事業	企画政策課	19
		L	用足自垤有相足争来 予算管理事業	財政課	19
			アチョ <u>年</u>	財政課	19
	- 1		^{墨亚昌母争朱} 収の確保		19
	- 1		- 大の一年 (木) 市税等徴収事務事業	収税課	19
			去的債権回収事業 サ次帝の第三化トラーシリー・フラジン・トの世界	収税課	19
	- 1		共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	 	10
			本庁舎管理運営事業 	財政課	19
			テ用車適正配置事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財政課	19
			公共施設マネジメント事業	財政課	19
	ļ		報化の推進と適正管理	T	
			証明書等コンビニ交付構築事業	企画政策課	19
			策の総合推進		1
J		14	地方創生総合戦略推進事業	企画政策課	199

政策	施策	基本 事業	事務事業名	担当課	ページ
		3 昱	監査の充実		
			監査委員活動費	監査委員事務局	200
		4 情	青報公開及び個人情報保護の推進		
			情報公開・個人情報保護事業	総務課	201
		5 落	8ロサービスの向上		
			山武出張所事務費	山武出張所	202
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	203
			松尾出張所事務費	松尾出張所	204
		99 邡	施策の総合推進		
			議員研修事業	議会事務局	205

事務事業名 交通安全施設整備管理事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える	る快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネット	トワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・	・維持管理		
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	196

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

見通しの悪い交差点等が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の交通安全の確保に必要な環境整備を図るため、 交通安全施設(カープミラー)を設置します。 <設置方法>

・カープ ミラー設置要望地区より申請書を提出してもらう 現地調査 設置等の決定 工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
カープミラー新規設置基数	基	8	8	8
カーブミラー修理基数	基	30	50	50
成果状況				
カーブミラーの設置要望対応率	%	60	80	80
カーブミラー設置総数	 基	3,236	3,246	3,252

事業費の推移 単位:千円

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
左莊	声光弗		繰越額				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越 智
30年度 実績	2,255	0	0	0	0	2,255	
01年度 実績	13,618	0	0	0	162	13,456	
02年度 当初	14,738	0	0	0	0	14,738	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況>要望に対し設置基準に該当し設置した基数は、令和元年度は、10基で対応率は100%となっております。 <原因>市内のカープミラーの設置総数は、令和元年度で3,246基が設置されており、概ね設置基準に該当する危険個所への設置は済んだものと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

道路維持補修事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える	5快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネット	- ワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・	維持管理		
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	628

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市の管理する道路 市道利用者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

適正な道路の維持補修を行い道路の機能を保全することで、 通行者の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

日常の道路パトロール、自治会要望、市民通報等により補修箇所を把握して、舗装、道路側溝、道路施設等の適正な維持補修を実施します。 簡易な補修については職員が対応し、それ以外については業者施工となります。 区等要望・市民通報から実施までの流れ現地調査 補修方法の検討 補修内容により設計 実施自治会等で実施する側溝清掃、道路補修については、重機等の貸出しや原材料の支給を行います。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年間道路維持・修繕件数	件	477	412	350
年間舗装修繕・合材舗装件数	件	48	43	50
成果状況				
道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件 	1	2	0

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2								
左	声光弗		繰越額					
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	,	
30年度 実績	247,402	0	0	0	61,252	186,150		
01年度 実績	252,705	0	0	0	28,833	223,872		
02年度 当初	247,620	0	0	0	0	247,620		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数は 2 件です。 <原因 > 道路の老朽化に伴い、維持・修繕件数は増加傾向にありますが、道路パトロール、通報等により道路状況の 把握に努め、早期に対応を行ったためと考えております。

単位	30年度	01年度	めざそう値
Km	0	2.91	8
————— 件	1	2	0
	Km	Km 0	Km 0 2.91

交通安全施設事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える	る快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネッ	トワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備	・維持管理		
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	637

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民市道

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

道路の交通安全環境を良好に整備し、利用者の安全を確保 し、交通事故発生件数の減少を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

市道利用者の通行の安全を確保するため、地元区要望や自主的な判断により整備の必要な箇所を把握し、区画線やガードレール等の設置を行います。 要望から実施までの流れ 地元区からの要望 現地調査 工事箇所の選定 割量・調査 工事実施

整備内容 ガードレール・転落防護柵・区画線等の工事の実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年度当たりの防護柵等設置箇所数	箇所	7	4	7
				
以未外儿				
年度当たりの交通事故発生件数	件	157	121	157

単位:千円 事業費の推移

3.21427 31- 12								
左庇	申米弗		4品土化安石					
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	5,928	0	0	0	0	5,928		
01年度 実績	6,030	0	0	0	0	6,030		
02年度 当初	8,082	0	0	0	0	8,082		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>交通事故発生件数は121件で前年度と比較して36件減少しております。 <原因>計画通りに危険な箇所の整備を行い、区画線やガードレール等を設置し交通環境の充実を進めているため、成果としては、順調に上がっているものと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

避難道路整備事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり			
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進			
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理			
計画年度	平成	24 年度 ~	令和 02 年度	事務事業整理番号	1652	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|木戸川河口付近を含む緑海地区の海岸周辺市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

海岸周辺市民の安全と命を守り、安心安全な生活環境の向上 を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

震災時に避難場所まで遠距離避難を余儀なくされる地域などに 住む人が、安全に避難するために、避難道路を整備します。 整備内容 延長 = 2.95km 幅員 = 8.0m(車道部) 総事業費 1,202,040千円 平成25年度 調査設計、関係機関協議

調查設計、関係機関協議

調点取引、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事用地買収、工事工 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度

用地具切、用地買収、工事 令和元年度 令和2年度 用地買収、

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
工事発注件数	回	1	2	2
関係機関(警察等)との協議回数		2	2	2
成果状況				
市道改良済延長	m	1,274	2,550	2,960
用地買収面積	m²	7,349	7,777	8,616

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左	声		4品 土化 安石				
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							170,308
01年度 実績							96,914
02年度 当初							(376,681)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

用地買収面積は、7,777㎡で順調に進んでいますが、相続等により一部用地交渉が難航しております。

相続及び家屋等の用地交渉に時間を要しているためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

成東259号線道路改良事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理		
計画年度	平成	25 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1762

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民、市道成東259号線

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。整備内容 延長1.2km 幅員11m 総事業費 600,000千円 平成25年度 交差点部詳細設計 平成26年度 用地測量、設計、関係機関協議

延長1.2km 幅頁11m 600,000千円 麦 交差点部詳細設計 麦 用地測量、設計、関係機関協議 麦 用地買収 工事

平成27年度

平成28年度

平成29年度 平成30年度

用地買収、工事 用地買収、工事 用地買収、工事 用地買収、工事 用地買収、工事 令和元年度

令和2年度 令和3年度 工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
m	90	100	100
m²	1,360.7	480.05	480.05
m	90	100	100
	m m²	m 90 m² 1,360.7	m 90 100 m² 1,360.7 480.05

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
左庇	声		繰越額				
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	79,424	14,001	0	62,100	0	3,323	
01年度 実績	82,764	25,424	0	54,400	2,116	824	38,108
02年度 当初	150,069	50,000	0	95,000	0	5,069	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>道路改良済延長は250mです。 <原因>平成25年度から設計を行い、平成28年度から工事着手しており、成果は順調に上がっています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理		
計画年度	平成	26 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1796

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

成東地区の海岸周辺市民 防災活動従事者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

被災地における迅速かつ効果的な災害対応が実現されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。 整備内容 延長=1.8km 幅員=9.5m 総事業費 359,000千円 平成26年度 用地則量、設計

平成27年度

平成28年度

平成29年度 平成30年度

用地側里、設計 設計、関係機関協議 工事発注 用地買収、文化財調査、工事 用地買収、工事 用地買収、工事 用地買収、工事 令和元年度 工事完了予定 令和2年度

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年度当たりの道路改良延長	m	0	400	600
関係機関との協議回数		2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	0	600	1,800

単位:千円 事業費の推移

3.21427 31- 12							
左庇	申米弗		繰越額				
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於我也
30年度 実績	3,404	0	0	0	0	3,404	91,223
01年度 実績							104,325
02年度 当初	157,953	77,088	0	0	0	80,865	(124,097)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市道改良延長は600mです。今年度は交差点改良工事を行いました。用地補償については、概ね順調に交渉を 続けておりますが、一部難航しています。 <原因>家屋等の用地交渉に時間を要しているためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理		
計画年度	平成	26 年度 ~	令和 04 年度	事務事業整理番号	1797

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

蓮沼地区の海岸周辺市民

防災活動従事者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

被災地における迅速かつ効果的な災害対応が実現されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域(殿下・川下地区)から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m 総事業費 452,000千円 平成26年度 用地測量、設計 平成27年度 設計、関係機関協議

平成28年度 工事着手

平成29年度

用地買収、工事

令和2年度 令和3年度 令和4年度 工事 工事完了予定

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年度当たりの市道改良延長	m	0	0	1,100
関係機関との協議回数		2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	0	200	1,600

単位:千円 事業費の推移

2 - 2 2 - 2 2							
左帝	申米弗		繰越額				
十 及	年度事業費		県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	41,034	20,680	0	19,300	0	1,054	46,916
01年度 実績	61,349	28,964	0	30,700	916	769	115,902
02年度 当初	148,505	55,000	0	88,800	0	4,705	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 市道改良延長は200mです

<原因>平成26年度から測量や設計を開始し、平成28年度から工事を着工しておりますが、優先的に水路整備工事を 行っているためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理		
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1826

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市の管理する橋梁 市道利用者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

適正な橋梁の維持補修を行い橋梁の機能を保全することで、 通行者の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市で管理する橋梁について、平成25年度に策定した長寿命化修 繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。 道路交通の安全性を確保するため、目視等の点検を実施し、計 画見直しを行います。

事業活動と成果	活動状況((活動指標)	と成果状況(成果指標)	١.	事業費の推移
ナネルエルールへ	/ロエル・ハハし (、/ロエルノロリホ /		、ハケヘノフロコホ	<i>,</i> ,	ナ 木 只 ツルツ

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年間橋梁修繕件数	件	1	1	1
成果状況				
以未扒儿				
橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位:千円

于未只以证少	— III I I I I I I I I I I I I I I I I I						
左	市光井	財源内訳 事業費 事業費					繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此还 各只
30年度 実績	29,866	12,934	0	700	0	16,232	18,766
01年度 実績	53,343	20,369	0	14,900	0	18,074	23,937
02年度 当初	79,878	35,750	0	18,600	0	25,528	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数は、前年度同様に 0 件で順調です。< 現因 > 橋梁長寿命化修繕計画のとおり適正な修繕を行ったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)	Km	0	2.91	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	2	0

成田空港周辺対策道路・水路整備事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	成田空港周辺地域としての基盤整備		
計画年度	平成	29 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1974

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|成田空港周辺地域(松尾地区・蓮沼地区)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

成田空港へのアクセス道路整備や、その整備の影響に伴う付帯施設の整備を行い、生活道路機能の充実と、安全・利便性 の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅や側溝等の整備により道路機能を充実することで、 道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。 整備箇所 松尾地区・蓮沼地区 工事選定までの流れ 現地調査 工事箇所の選定 地元協議 測量・調査 用地・補償 工事実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
市の管理する生活道路・水路の測量調査及び工事件数	件	38	15	21
成果状況				
工事延長	m	2.273	1.100	2,100

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 此处 否具
30年度 実績	126,444	0	0	0	58,762	67,682	
01年度 実績	119,935	0	0	0	71,432	48,503	
02年度 当初	134,628	0	0	0	3,000	131,628	(11,055)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>緊急性や重要性を勘案し、地元協力のもと工事を実施しております。<原因>計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

成田空港関連事業実施箇所数(延べ)	単位 箇所	30年度 0	01年度 30	めざそう値 48

松尾駅周辺排水対策事業 事務事業名

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり			
施策番号	01	施策名	也域核をネットワークする都市整備の推進			
基本事業番号	03	基本事業名	浸水対策の推進			
計画年度	平成	28 年度 ~	令和 04 年度	事務事業整理番号	1902	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

浸水区域

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

浸水区域の減少をはかり、市民、通行者の安全を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

浸水被害状況及び浸水区域を把握し、実施設計により対策工法 を検討し、浸水対策工事を実施します。 H28 基本設計 検討面積:151ha H29 実施設計 設計対象面積:46ha

工事延長L=1,818m 雨水貯留施設1基

対策工事 対策工事 対策工事 H30 R元

R 2 対策工事対策工事 R 3

R 4

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
浸水対策工事実施延長	m	287	0	365
成果状況				
浸水面積	ha	46	46	46

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此 还否只
30年度 実績	42,309	0	0	40,100	0	2,209	
01年度 実績	51,484	0	0	48,000	0	3,484	75,217
02年度 当初	306,180	0	0	290,800	0	15,380	(613,996)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

排水対策スケジュールに基づき雨水貯留施設を発注しました。

<原因> 周辺住民のご理解を得ながら事業推進に努めているからと考えています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
床上浸水件数	件	0	61	0
-				
				

成東駅南口線整備促進事業 事務事業名

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり				
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進				
基本事業番号	04	基本事業名	駅周辺の利便性の向上	駅周辺の利便性の向上			
計画年度	平成	24 年度 ~	令和 05 年度	事務事業整理番号	1548		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|都市計画道路

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

成東駅南口へのアクセス向上が図られます。

事務事業の内容.	まこす	千順
事/第事事(八)(1)(4)。	1911 /	

. 成東駅南口線の整備 | 用地・物件の調査等 | 用地・補償契約 H30 ~ R6

工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年度当たりの整備率(事業費ベース)	%	100	67.6	100
成果状況				
満足度	%	42	47	42.12
全体整備率(事業費ベース)	%	78.3	63.7	69.1

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2	<u> </u>						
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	20,498	0	0	19,400	0	1,098	948
01年度 実績	12,005	0	0	11,400	0	605	2,533
02年度 当初	19,598	0	0	18,600	0	998	(4,127)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 事業計画用地の取得面積は66%となっています。事業進捗に大幅な遅れが生じており、事業認可期間の変更により事業施工期間が令和6年3月31日まで延伸となりました。用地取得済箇所について、一部工事完了となり津辺交差点から約0.1kmについて部分開通となりました。 <原因 > 代替地の希望による交渉の難航などにより、用地の収用が進んでいないことが事業進捗遅延の原因となっています。市でも積極的に代替地の候補地選定を進めていく必要があります。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	42	47	43

成東駅北側周辺地区調査・あり方検討事業 事務事業名

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	04	基本事業名	駅周辺の利便性の向上		
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 06 年度	事務事業整理番号	1994

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

成東駅北側周辺地区における整備のあり方について、事前調 査の実施及び地権者の意向を確認し、事業の検討を行い、今 後の整備方針を定めます。

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地権者の意向を確認し、事前調査による整備の実現性を検証 した中で、地権者と調整のうえ事業の実現化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

整備における検証を行うための事前調査及び地権者の説明会により意向を確認し、事業の検討を行い、今後の整備方針を定めるとともに、官民地の境界確認及び測量業務を実施します。
・現場では、道路・用排水路断面調査)

- ・地盤高調査
- ・地質調査 (ボーリング調査・2箇所)
- ・地盤検証
- ・公図調整図等の作成(地権者情報等) ・地区説明会(意向の確認・整備における検証) ・境界確認(道水路)
- ・用地測量 (1.77ha)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
地区説明会及びアンケート調査の数	回	4	3	3
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
成果状況				
進捗率	%	50	70	100

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	事業費		繰越額				
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公計
30年度 実績	13,368	0	0	0	0	13,368	
01年度 実績	2,459	0	0	0	0	2,459	
02年度 当初	5,000	0	0	0	0	5,000	(7,951)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉地権者及び地区住民の方々の意向や意見を確認するためにアンケート調査を実施しました。また、市としての整備方針を決定するために、説明会を2回実施しましたが、関係機関協議に遅れが生じており、成東駅北側周辺地区調査あり方検討業務委託については、事業が繰り越しとなっています。
〈原因〉台風15号等の影響により、説明会の開催時期に遅れが生ずるとともに、関係機関との調整事項が進まなかったことから、関係機関との調整やそれに伴う概略設計は、繰り越しせざる得ない状況となり、業務が一部遅延となりました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	42	47	43

事務事業名 地籍調査事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり				
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進				
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用			
計画年度	平成	07 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	635		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

土地所有者と山武市 土地にかかるトラブルの未然防止、土地取引の円滑化、公共 事業の円滑化、災害復旧、まちづくりに役立つ事業を行いま र्चे.

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

土地の境界を明確にし、それらを恒久的に保存するため、精 度の高い測量を実施することによって、地籍図及び地籍簿を 作成し、公図及び登記簿を修正します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武地区を対象として、土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。 ・土地調査(公図・登記簿の閲覧) ・説明会の開催

- · 一筆地調査
- ・地籍測量
- ・土地所有者による閲覧
- ・国・県の認証・地籍図と地籍簿を法務局へ送付
- ・固定資産税に係る賦課資料を課税課へ送付

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
説明会開催回数	回	1	1	1
立会い調査回数		300	320	150
成果状況				
地籍調査実施面積	km²	0.55	0.74	0.83
地籍調査後の法務局に送付した筆数		411	355	706

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
十 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 <u>此</u> 公司
30年度 実績	36,407	0	17,490	0	127	18,790	
01年度 実績	39,846	0	22,064	0	88	17,694	
02年度 当初	46,333	0	23,600	0	85	22,648	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 一筆地調査については、年の計画どおり業務を順調に進めることが出来、また、予算の執行も延滞なく、委託業務についても順調に年度内に終了することが出来ました。しかし、国の認証の手続きについては、2区域を予定していたものの、1区域のみの手続きしかできませんでした。
<原因> 国の認証手続きについては、数年の延滞があり、古い成果のものであるため、現行の基準と異なる部分もあり、国からの指摘事項への対応や質問の回答に時間がかかり、1区域のみの実績となりました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
空家対策数	件	0	8	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

住宅居住環境推進事業 事務事業名

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり				
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進				
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用			
計画年度	平成	24 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1666		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内の事業者を活用してリフォームを行う市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

住宅の居住環境が向上し、本市地域経済が活性化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- - ・ 市内在住で、住民基本台帳に登録されている人 ・世帯全員が市税等を滞納していない人 ・ 本制度を利用したことのない世帯
- . 対象住宅
- 市内に申請者が自ら居住している住宅
- . 対象工事 ・住宅のリフォーム工事
- 4 . 補助金額
 - ・事業費の1/10 上限20万円
 - ・予算の範囲内での実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

30
90
-

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1						
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 此 公司
30年度 実績	4,660	563	0	0	0	4,097	
01年度 実績	5,037	563	0	0	0	4,474	
02年度 当初	6,013	0	0	0	0	6,013	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉交付件数は当初の指標値の25件に対し、実績の指標値が36件で増加しています。執行率は当初の指標値の100%に対し、実績の指標値は83.9%で16.1ポイント減少しました。
〈原因〉住宅居住環境推進事業については、住宅リフォームを対象として補助金が交付されるものであり、ほぼ予算額の満額の申請を受理しましたが、台風15号等の災害によって、業者の工期が間に合わないとのことで数件取下書を受けていることから、執行率があがりませんでした。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
空家対策数	件	0	8	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

小松地先市有地整備事業 事務事業名

都市建設部 都市整備課

—							
政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり				
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進				
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用			
計画年度	令和] 01 年度 ~	令和 07 年度	事務事業整理番号	1998		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|小松地先市有地

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

小松地先の市有地について、広場と駐車場の整備を行うこと により、市民に憩いの場が提供されます。

事務事業の内容、やり方、手順

小松地先市有地において、地盤等の現況測量を実施し、広場と 駐車場整備における検証及び整備内容を定め、横断、縦断図を 作成することにより、整備における積算量を把握します。 測量後に広場とは第二な第四を包含さればは第四を行るが歴 また、整備後には適正な管理方向を定め、維持管理を行う必要があります。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
地元説明会及び地区長等への説明の実施数	回		2	1
業務の入札発注数			1	1
成果状況				
進捗率	%		0	5

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
 年度 事業費			繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	/
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初	4,639	0	0	0	0	4,639	(6,738)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>地区の意向、意見を確認するため、区長と協議を2回実施しました。小松地先現況測量業務委託について、

事業が繰り越しとなっています。 <原因>小松地先現況測量業務委託については、土木課による道路整備事業の道路線形や計画地盤高が決定していないため、その内容にあわせて整備計画が決定することから、繰り越しをせざる得ない状況となり、遅延となっていま す。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
空家対策数	件	0	8	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 空家等対策事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり				
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進				
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用			
計画年度	令和	01 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1999		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

空家等の所有者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

平成30年度に策定した空家等対策計画及び令和元年度に制定した空家等の適正管理に基づく条例に基づき、空家の発生抑制・予防、管理不全の解消、利活用・市場流通の促進を方針として、空家等の対策を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

平成30年度策定の空家等対策計画に基づき、空家等の適正な管理及び利活用に向けた取組を実施しました。

- ・空家等対策協議会の開催により市内にある空家等の総合的か つ計画的な管理について協議しました(開催回数2回)。
- ・特定空き家の認定に向けて、空家等対策協議会の中で判断基 準等を定め、協議を実施しました。
- ・利活用については、空家バンク制度の運用を開始し、空家対 策の効果的な実施を図りました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
空家対策協議会の回数	回		2	2
空家への通知、指導数	件		54	25
成果状況				
空家の相談件数	件		54	30
	——— 件		0	4

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
左			繰越額				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	無形形
30年度 実績							
01年度 実績	3,077	0	0	0	0	3,077	
02年度 当初	2,609	0	0	0	0	2,609	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉空家の相談、通知件数は54件で、平成30年度の3件に対し大幅に増加しています。特定空家等の認定件数は0件、空家バンクはチラシによる啓発を行い、相談は20件あったものの、登録には至っておりません。<原因〉空家に対する相談件数の増加は、令和元年台風15号以降大幅に相談が増えたため、災害の影響によるものと考えられます。特定空家等の認定については協議会で協議済みであり、令和2年度以降順次認定します。空家バンクの登録については、台風15号直前の啓発であったことや、空家の状態が悪く現状での登録が困難な物件が多く、登録に至りませんでした。</p>

	単位	30年度	01年度	めざそう値
空家対策数	件	0	8	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総務部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実		
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	102

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・交通空白地域における交通弱者の日常の交通手段が確保さ れます
- ・市民の日常生活の移動手段が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いつまでも誰もが便利に利用できる公共交通体系の確立を目指し、平成25年4月1日から本格運行を実施しています。
・基幹バス(蓮沼海浜公園 さんぶの森元気館)
運行日:全日(年末年始を除く)
運行台数:2台

料金:1回200円(中学生未満半額、小学生未満無料)

科金:1回200円(甲字生木海干額、小字生木海無料) 乗合タクシー(蓮沼・松尾地域、山武地域、成東地域) 運行日:全日(年末年始を除く) 運行台数:平日9台、土曜日5台、日祝日3台 料金:1回300円(中学生未満半額、小学生未満無料) 運転免許自主返納者への優待として、基幹バス・乗合 タクシーの料金を100円割り引きしています。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数		47,929	47,429	50,000
-				
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	263	264	265

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	83,607	8,000	0	0	0	75,607	
01年度 実績	79,975	8,148	0	0	0	71,827	
02年度 当初	93,307	8,148	0	0	8,216	76,943	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

、祝加・ 基幹バス及び乗合タクシーの年間運行延回数は、500回減少しました。また、一日当たり利用者数は、前年比で基幹バ ス<u>が3</u>人増加、乗合タクシーで2名減少しており、全体では微増となっています。

年間運行延回数の減少は、令和元年10月の台風等の荒天の影響によるものです。一日当たり利用者数の微増の理由 は、制度定着により利用が進んでいるものと推察されます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市内移動の交通手段に困っている市民の割合	%	35.8	34.5	35.8
基幹バスの年間利用者数	人	46,902	47,854	48,000
乗合タクシーの年間利用者数	人	47,744	47,462	47,000
バス運行状況の満足度	%	39.7	42.4	39

空港シャトルバス利用促進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実		
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの主要都市へのアクセス向上		
計画年度	平成	13 年度 ~	年度	事務事業整理番号	105

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

芝山鉄道延伸連絡協議会

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会(山武市、芝山町及び横芝光町で構成)が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地 域住民の交通の利便性向上を図ります。 <バスの運行ルート等> 空港第2旅客ターミナル~横芝屋形海岸

停留所17箇所(

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年間運行のベ回数	本	8,760	8,784	8,760
協議会(総会・幹事会)の開催回数		4	4	4
成果状況				
年間利用者数(山武市内 9 停留所)	人	33,866	27,594	41,500

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
平	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深巡 智
30年度 実績	15,761	0	0	0	0	15,761	
01年度 実績	18,197	0	0	0	966	17,231	
02年度 当初	17,506	0	0	0	0	17,506	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>利用者が平成30年度より約6,200人減少しています。 <原因>台風等の自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、成田空港へ行き来する人数が減少したためと 考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	人	1,346	1,117	1,332
成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	人	85	68.5	95

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上		
計画年度	平成	24 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1072

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

区、自治会 自主防災組織

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進 されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。 結成した自主防災組織を対象に干葉県地域防災力向上総合支援補助金を活用し1組織当り40万円を限度として必要な資機材の購入費として補助金を交付します。 また、自主防災組織の活動費として、世帯数に応じて補助金を交付します。 自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。<<和元年度実績>

自主防災組織設置促進事業補助金 4 組織 自主防災組織活動促進事業補助金 17組織

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
関係機関(区長連合会、区、自治会)説明回数		1	1	1
活動促進事業補助金交付件数	<u></u> 件	46	29	61
成果状況				
新規結成自主防災組織数(当該年度)	組織	7	7	7
自主防災組織数(合計)	組織	74	81	88

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	3,445	0	1,625	0	0	1,820	
01年度 実績	3,925	0	1,950	0	0	1,975	
02年度 当初	5,070	0	2,100	0	0	2,970	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

新規設立組織は着実に増加しています。自主防災組織設置推進事業補助金は7組織、自主防災活動促進事業補助金に つ<u>いて</u>は29組織に交付しました。

<原因 >

区及び自治会内での防災意識が高くなっていると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	74	81	72
各地区防災訓練実施率	%	61.5	46.2	70
避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合	%	22.1	22.3	75

事務事業名 災害時応援協定の見直し及び締結の促進事業

総務部 消防防災課

110-373 Hr 113173173	_ \ H/\				
政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	災害支援体制の確立		
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1587

基 本事業番号	02		治 災害文	抜体制の惟<u>い</u>							
計画年度	平成	23 年度	~ 4				事務事業整理	里番号	1587		
事業の概要											
対象(誰、何に	対して	事業を行う	うのか)				容、やり方、			- 15 to 15	- -
市民					結を打	佳進 しき	ます 。	削を確立	するため、	、各種応援協力	正の?
					・初]	受、 期に	送分野等				
 章図(この事業	によって	で対象をと	 でのようなり	 犬態にしたいか)							
災害時に避難所	で過ごす	すために如	必要な物資	を避難者が受け取							
れたり使用する	ことが	できます。									
事業活動と成	果	活動状況	兄(活動指	標)と成果状況	.(成果指	票)、	事業費の推移	多			
活動状況					単位	3	30年度	01年	度	02年度	
新規災害時応援	協定締約	結数			件		10		4		
災害時応援協定	締結総数	数			件		52		56		
						-					
事業費の推移	単位:	: 千円 一			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	≐ □					٦
年度	事業	養費	 国費	 県費	財源内 地方債		 その他	— #4	 } 」 」 」 」	繰越額	
30年度 実績			白具	水 莫	وا تردیا د	7	C 07 E	CEI	(A) II/J		1
01年度 実績											1
02年度 当初											
繰越額は、当該	を年度の	事業費のほ	かに、前年原	きから繰り越され、	支出された金	額です。	かっこ内は、	前年度か	らの繰越額	iです。	
の生産におけ	フ 声光:	±亚/≖		Б₩≒ѿ/≖ し+ロ⊻≐	用のコメン	L					
01年度におけ	る事業		_	事業評価と担当記 	未のコメン						
活動進捗状況	ļ	非常に	順調	順調		一部遅	延あり	遅延	≦あり		
事業成果状況	<u>.</u>	向上		維持・横ばい	1	低下					
成果状況と原因:				·	1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_					
< 状况 > 災害時 < 原因 > 災害時	心援協力に備え、	正締結総録 2自治は	双は、削年) 本との相互)	度と比較して4件 応援協定及び2団	増加しまし 体と物資輸	た。 送に関	する協定を締	結したた	_めです。		
貢献する基本	事業の	成果	成果丬	犬況(成果指標))						
						単位	30年度		01年度	めざそ	- う値
地域防災計画に	おけるタ	災害支援係	本制 7 項目(の充足率		%		100	1	00	10
					- -						

災害時要援護者支援システム管理事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	災害支援体制の確立		
計画年度	平成	25 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1688

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

災害時要援護者

へ 高齢者・障がい者・要介護者など災害時に避難するうえで 支援を要する方)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

災害時における要援護者の安否確認、避難誘導等の支援が円 滑に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

災害時要援護者支援システムで情報を管理し、災害時要援護者 名簿を作成するとともに、区・自主防災組織・福祉関係者等に おいて情報を共有し支援体制の整備を推進します。 台帳への登録及び情報の提供は「本人の同意」により対応しま す。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
人	11,072	10,951	12,000
件	0	0	0

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2	<u> </u>						
年度	事業費	財源内訳				繰越額	
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 还否只
30年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
01年度 実績	7,479	0	0	0	0	7,479	
02年度 当初	909	0	0	0	0	909	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>名簿提供件数は0件です。 <原因 条例に基づく避難支援者への名簿提供は、令和元年度に新たなシステムを構築し、令和2年度から実施する ためです。なお、新システムは予定どおり構築できました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率	%	100	100	100

防災用備蓄物資整備事業 事務事業名

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上		
計画年度	平成	24 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1101

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民(避難者)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

災害時に避難者へ供給する食料、飲料水、生活必需品等が確 保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

災害の発生に備え、避難所で必要となる食料、飲料水、生活必需品等の物資を市内の小中学校等の備蓄倉庫へ備蓄します。 また、賞味期限が近い備蓄食料や飲料水については、防災訓練等で配布して有効活用します。

既存備蓄物資の保存期限確認作業・備蓄物資の選定

8月

備蓄物資数量の決定 備蓄物資の購入契約 備蓄物資の納品・検査 10月

<令和元年度実績>

備蓄物資購入回数:3回

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
保存食備蓄量(当該年度アルファ米購入分)	食	3,300	3,300	3,300
飲料水備蓄量(当該年度ペットボトル購入分)	リットル	2,640	2,640	2,640
成果状況				
年度末保存食備蓄量(アルファ米)	食	16,500	16,500	16,500
年度末飲料水備蓄量(飲料水兼用貯水槽+ペットボトル)	トル リッ	210,692	210,692	210,692

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	事業費		財源内訳				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	2,880	0	0	0	1,330	1,550	
01年度 実績	16,379	0	345	0	11,925	4,109	
02年度 当初	3,850	0	0	0	0	3,850	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

山武市地域防災計画では、災害発生後3日間を備蓄で対応するとしており、想定では現在の備蓄状況で対応可能で す。 <原因>

各備蓄物資の賞味期限を勘案し、災害時に必要な備蓄を十分保つよう事業を進めます。

災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	単位 項目 	30年度 4.18	01年度 4.88	めざそう値 4.25

防災訓練実施事業 事務事業名

総務部 消防防災課

1110 010 111					
政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上		
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1588

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民・職員・防災関係機関等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域単位で、防災訓練を実施することにより、内容が充実できるほか、区や自主防災組織を活性化させ、災害時における「自助」、「共助」の重要性を市民に周知し、市民の防災意識の高揚及び危機意識の低下防止を促進します。

事務事業の内容、やり方、手順

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を得て、日頃から住民や関係機関が地震等の脅威を十分認識するほか、地域防災力を充実させるため、自主防災組織を中心とした訓練を毎年度地域を定めて実施します。また、市民防災意識の向上を目的として一斉行動訓練(シェイクアウト訓練)を第二年度中で表

<令和元年度実績>

とマヤルのでは 台風等の災害により、地域での防災訓練は中止となりました。 また、市主催の防災訓練も同様の理由で中止となりました。 シェイクアウト訓練は、市民、こども園、小中学校の協力のも と実施しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
防災訓練実施回数	回	1	0	1
				
防災訓練参加者数	,	500	0	300
MANUAL STATE OF THE SAME				

事業費の推移 単位:千円

左	車光弗		財源内訳				4品 土朮 安百
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	487	0	0	0	0	487	
01年度 実績	769	0	0	0	0	769	
02年度 当初	816	0	0	0	0	816	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

地域での防災訓練、市主催の防災訓練は中止となりました。

台風15号等の災害対応によるためです。

災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	単位 項目 	30年度 4.18	01年度 4.88	めざそう値 4.25

消防ポンプ車等整備事業 事務事業名

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	04	基本事業名	消防力の充実		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	4

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

消防ポンプ車等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

更新期間を20年としていることから、使用年限を超える消防車両について点検を実施し、状態に応じて順次更新整備を行います。 年度別更新計画

ポンプ車、小型ポンプ付積載車 2台、 1台

R1年度 1台、 0台台台 R2年度 R3年度

R4年度 R5年度 2台、 1台、 1台

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
粒子物質減少装置装着台数(当該年度)	台	0	0	0
使用年限到来による更新台数	台	3	3	1
成果状況 粒子物質減少装置を装着すべきディーゼル車のうち装着し ていない台数	台	0	0	0
使用年数20年以上経過した台数	台	2	2	1

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
左庇	声		財源内訳				
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	44,540	0	2,698	39,700	1,606	536	
01年度 実績	65,389	0	4,085	30,600	22,797	7,907	
02年度 当初	24,567	0	1,807	12,200	0	10,560	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

新規登録から20年が経過する消防車両を適切な時期に更新しています。

経過年数による車両点検を実施し、消防車両の状態に基づく更新計画ができています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
消防団の火災出動率	%	70	65.8	70
消防団員の充足率	%	93.9	93.5	96
		98.6	98.2	100

津波避難施設整備事業 事務事業名

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	05	基本事業名	強靭化対策の推進		
計画年度	平成	29 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1609

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民、観光客

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

津波から市民等の生命と身体の安全が守られます。

事務事業の内容、やり方、手順

津波避難施設(築山)の整備 ・基本及び実施設計業務委託 ・設置場所選定

- ・土地所有者との協議
- ・仕様書の作成
- ・入札事務手続き

・八代事がテッパロ ・入札 ・契約(工事発注) <令和元年度実績> 津波避難施設(築山)実施設計業務委託完了 津波避難施設(築山)整備工事発注

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
津波避難施設(築山)設置数	基	1	1	1
成果状況				
避難収容可能人数	人	300	300	300

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	声光弗		財源内訳				
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	44,754	0	0	44,500	0	254	
01年度 実績	6,423	0	0	4,400	0	2,023	9,225
02年度 当初	287,674	0	0	286,900	0	774	(186,505)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 順調 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

実施設計業務委託が完了(令和元年9月)しました。

実施設計が完了したことにより、整備工事を発注(令和2年3月)しました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
強靭化対策が終了した箇所・施設数(東日本大震災以降の累計)	箇所	5	5	6
				-

不法投棄防止対策事業 事務事業名

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	01	施策名	生活環境の充実		
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策		
計画年度	平成	19 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	585

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域に密着した活動により不法投棄が抑制されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・不法投棄監視員(25名)を委嘱し、不法投棄監視パトロール 等の実施により不法投棄の被害拡大の防止に努めます。(定数 25名、月5,000円任期2年) ・不決理人大き
- り、処理します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
不法投棄監視員会議	回	1	1	2
パトロール回数		1,095	1,080	1,200
成果状況				
不法投棄監視員活動報告書による異常あり件数	件	52	62	50

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
年度	事業費	財源内訳				繰越額	
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	徐宋此公]
30年度 実績	2,337	0	858	0	0	1,479	
01年度 実績	2,586	0	815	0	0	1,771	
02年度 当初	2,673	0	750	0	0	1,923	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 遅延あり 順調 一部遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>異常ありの報告件数が前年度より10件増加しました。

<原因>不法投棄パトロールを継続して実施したことにより、速やかな発見及び通報がなされました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	5	13	4
一般廃棄物等不法投棄件数	— 件	74	100	87
ごみゼロ運動参加者数	人	19,579	9,571	10,000

事務事業名 不法投棄パトロール事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	01	施策名	生活環境の充実		
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策		
計画年度	平成	18 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	586

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

公有地(道路等)の不法投棄を早期に回収することで、市内 の環境が維持されます。

事務事業の内容、やり方、手順

廃棄物の不法投棄を未然に防ぎ、不法投棄される恐れがある地域等のパトロールを実施し、道路、水路における公共用地に不法投棄された廃棄物を回収します。1日2名×3組体制

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
連絡調整会議	回	2	2	2
不法投棄パトロール日数	日	243	239	245
成果状況				
収集したごみ量(袋数)	袋 ————	9,758	9,468	7,000

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
年度	事業費		繰越額				
平 及	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此 还否只
30年度 実績	9,597	0	0	0	0	9,597	
01年度 実績	9,454	0	0	0	0	9,454	
02年度 当初	10,968	0	0	0	0	10,968	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>不法投棄パトロールにより監視体制の強化が保たれています。昨年と比較すると290袋減少しています。

<原因>道路沿いや山林への不法投棄は減少傾向にありますが、引き続きパトロール体制を許可し環境美化を保って いきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	5	13	4
一般廃棄物等不法投棄件数	件	74	100	87
ごみゼロ運動参加者数		19,579	9,571	10,000

防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	01	施策名	生活環境の充実		
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策		
計画年度	平成	19 年度 ~	年度	事務事業整理番号	114

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|成田国際空港(株)の助成による空調器設置者 [騒防法第1種 区域内]

(財)成田空港周辺地域共生財団の助成による空調器設置者[隣接区域内及び騒防法第1種区域内]

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により指定された騒防法第1種区域及び財) 成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域内 で、成田国際空港㈱及び成田空港周辺地域共生財団の助成を受 けて設置した冷暖房設備の維持管理費の軽減を図るため当該設 置者に補助金を交付します。

該当予定者に申請通知 申請受付

1月~2月 3月

交付

事業活動と成果	活動状況((活動指標)) と成果状況 (が 果指標	١.	事業費の推移
TANLMA	/山玉が1八んしょ	(/山玉川)口1ボ .	<i>,</i> _,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	、ハスインコロリホ	<i>,</i> ,	子木只いだか

30年度	01年度	02年度
1,118	1,107	1,298
_		
1,118	1,107	1,298
	1,118	1,118 1,107

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1						
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 此 公合只
30年度 実績	53,479	0	0	0	45,095	8,384	
01年度 実績	53,216	0	0	0	47,188	6,028	
02年度 当初	84,839	0	0	0	0	84,839	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>対象者の申請状況は、引き続き順調です。 平成30年度対象者数1136件 申請者数1118件 令知元年度対象者数1140件 申請者数1107件

(申請率98.4%)

(申請率97.1%)

対象者数は横ばいですが、郵送先不明による返送が増えています。再通知や訪問により申請を促しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	74.7	76.4	80

航空機騒音対策空調機器設置事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	01	施策名	生活環境の充実		
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策		
計画年度	平成	26 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1766

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東 地域の一部の住民(航空機騒音の影響を受ける地域)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田 空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた 航空機騒音の影響を受ける地域(松尾地域・蓮沼地域及び成東 地域の一部)の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設 |加全機騒音の影響を受ける地域(松尾地域・連沿地域及の放射地域の一部)の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を計画する工事を実施した者に補助金を交付します。 補助金の額は設置工事費の90%(上限8万円) また、設置後10年を経過した空調機器について、更新(再助成)することができます。

事業活動と成果	活動状況	(活動指煙)	と成果状況 ((成果指標)	事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金額	千円		63,938	48,000
以未认几				
空調機器補助台数(単年度)	台		812	600
-				

事業費の推移 単位:千円

左 莊	車光弗	財源内訳					
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	64,025	0	0	0	64,025	0	
02年度 当初	48,117	0	0	0	48,000	117	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

令和元年度については、500件を見込んでいましたが、最終的に812件となり、成果状況は向上です。 内訳 松尾地域338件、蓮沼地域338件、成東地域136件

住民の騒音に対する関心の高さのほか、制度内容について設置業者の選択範囲を緩和したことなど、申請を容易にしたことが考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	74.7	76.4	80
	<u> </u>			

家庭用生ごみ堆肥化装置設置支援事業 事務事業名

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境	竟と安全なまちづくり		
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・	・処理の適正化		
基本事業番号	01	基本事業名	ごみの減量化・	・再資源化の推進		
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	592

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

生ごみの堆肥化を促進することで、家庭ごみが減少します。

事務事業の内容、やり方、手順

一般家庭から排出される生ごみを堆肥化する装置を設置した市 民に対し、その購入に要した経費の一部を補助します。

補助率

購入に要した経費の2分の1

1基につき2万円限度

1世帯当たり1基まで 1世帯当たり2基まで 電気機械コンポスト容器バケツ型容器 1世帯当たり2基まで

補助金交付を受けてから3年を経過した場合、再申請可能

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金交付予定件数	件	60	60	60
成果状況				
风未休况				
補助金交付件数	件	40	57	60

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	<u> </u>						
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 <u>人</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	248	0	0	0	0	248	
01年度 実績	293	0	0	0	0	293	
02年度 当初	350	0	0	0	0	350	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

家庭用生ごみ堆肥化装置の設置数は増加しています。 広報誌掲載により設置数が増加しました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
家庭ごみ排出量	t	10,429	10,824	10,501
事業系ごみ排出量	t	3,437	3,380	3,153
再資源化率		16.4	16.8	18.9

廃棄物に関する意識啓発事業 事務事業名

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・処理の適正化		
基本事業番号	02	基本事業名	廃棄物に関する意識の向上と啓発		
計画年度	平成	21 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1120

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

適正なごみの分別及び排出についての理解を深め、3R意識が 浸透します。

事務事業の内容、やり方、手順

市民の廃棄物に関する意識の向上を図るため、下記のことを行

- の民の展案初に関する意識の同立と図るため、 います。 ・ごみカレンダー作成及び配布 ・不適正なごみの排出に対する残置シールの貼付 ・外国人住民向けのごみの出し方リーフレットの作成及び配布 ・外国人住民向けに、ごみ袋(成東地域)に英語表記を導入 ・組合では処分が出来ない消火器やパソコン等に関して、ホー ムページ上でリサイクル方法を掲載

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
枚	23,500	22,900	23,600
			
件	1.294	1.653	767
	枚 	枚 23,500	

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此公召其
30年度 実績	436	0	0	0	0	436	
01年度 実績	416	0	0	0	0	416	
02年度 当初	604	0	0	0	0	604	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>残置シール貼付件数が、平成30年度より359件増えています。

<原因>転入者や外国人住民による指定袋や分別方法の間違いが発生しているのに加えて、令和元年度9月に発生した 台風災害により、残置シール貼付件数が増加しています。

単位	30年度	01年度	めざそう値
件	7	4	0
件	1,294	1,653	1,657
		件 7	件 7 4

脱炭素型地域づくりモデル形成事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	03	施策名	自然環境の保全		
基本事業番号	03	基本事業名	バイオマスタウン構想の推進		
計画年度	令和] 01 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	2026

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

民間施設

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

荒廃した森林整備 木質バイオマス等の地域資源を活用した電気・熱を地域で自 給・供給していくシステムを構築します。

事務事業の内容、やり方、手順

実現可能性調査事業 上限 1,000万円

- (調査内容) ・市内の再エネ賦存量と調達コスト推計 ・需要家側の各産業における課題抽出と再エネルギー導入方
 - ・地域電力会社設立の実現性調査

・事業構築に向けた将来像構築 住民参加型協議会の運営及び情報発信事業 上限300万円

- ・協議会の開催 ・体験ツアーの試行
- ・地域の将来像に向けたロードマップの作成

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
協議会開催回数			4	0
参加団体数			14	0
成果状況				
調査実施件数			5	0
			0	0

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
年度	事業費	財源內訳					
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	12,836	0	0	0	12,835	1	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 地域づくりの仕組みを作り上げるため、地域関係者 1 5 団体による協議会を 4 回実施しました。また、地域課題の解決を見出すため、調査を実施しました。
< 原因 > 地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業に関心な地域関係者により地域課題を共有す

ることが出来ました。今後、構想の実現に向け、本事業は、民間事業者主導で取り組みを行っていきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
バイオマスに関する取組の事業数(累計)	件	8	8	9

事務事業名 省エネルギー等対策事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	03	施策名	自然環境の保全		
基本事業番号	04	基本事業名	再生可能エネルギー対策の推進		
計画年度	平成	t 23 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1544

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民(世帯)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市内の各世帯が住宅用省エネルギー設備を設置することにより、電力不足の解消及び停電時の電力確保ができ、住みやすい環境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

地球温暖化対策の一環として、市民が住宅用省エネルギー設備 を設置する場合に、設置費用の一部を補助します。

太陽光発電システム 1Kw20,000円(4.5Kwまで)上限90,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 上限100,000円

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金を交付した世帯数	世帯	21	35	40
この事業により住宅用太陽光発電設備を設置した世帯の総 発電量	kw	103.83	49.65	140

事業費の推移 単位:千円

3.21222377								
年度	声光弗	事業費 財源内訳 1000000000000000000000000000000000000						
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	3,151	0	3,149	0	0	2		
01年度 実績	3,605	0	3,599	0	0	6		
02年度 当初	3,807	0	3,800	0	0	7		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉補助事業を用いて設置した世帯数は太陽光発電システム8世帯、定置用リチウムイオン蓄電システム29世帯(合計37世帯の内2世帯は太陽光発電と蓄電を同時に設置)で補助金申請件数としては、全体として14件増加しています。太陽光発電総発電量49.65kWです。

す。太陽光発電総発電量49.65kWです。 <原因>太陽光発電システム導入後10年経過による売電期間終了のための増加と台風等による災害に備えた普及を検 討する家庭が増加していることから、蓄電池の設置が増加したものと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
再生可能エネルギーの発電装置の普及件数	件	1,804	1,948	1,538
再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量	k w	301,287	463,844	259,882
市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	tC02	4,941	4,772	5,366

事務事業名 净化槽設置支援事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	03	施策名	自然環境の保全		
基本事業番号	05	基本事業名	汚水処理の推進		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	598

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

合併浄化槽に転換する者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

生活排水を未処理で放流している世帯及び単独浄化槽設置世帯を対象に合併浄化槽への転換を図ることにより、公共用水域の水質が浄化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

くみ取り便槽、単独浄化槽から合併浄化槽に転換する場合に補助を行い、設置者の負担軽減を図ります。これにより公共用水域の水質の浄化が図られます。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
1 年間の浄化槽補助金申請件数	件	50	59	70
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	4,583	4,431	4,350
し尿処理世帯戸数	戸	2,181	2,040	2,100

事業費の推移 単位:千円

3 71724 17							
年度	声	事業費 財源内訳					
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	30,976	7,526	12,512	0	10,938	0	
01年度 実績	47,638	15,510	16,233	0	15,336	559	
02年度 当初	57,940	21,070	19,871	0	16,999	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

合併浄化槽補助金交付申請件数が前年度より、9件増加し順調です。

<原因>

令和元年度より、補助対象事業費のうち宅内配管工事費の補助額を増額したことにより、転換費用の個人負担額が軽 減されたことが申請件数が増加となった原因と思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
BOD濃度作田川(中流域)	mg/I	2.2	1.7	2
BOD濃度木戸川(中流域)	mg/I	2	1.5	2
汚水処理世帯の普及率	%	43.6	44.3	44

防犯パトロール事業 事務事業名

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進		
基本事業番号	01	基本事業名	防犯体制の充実		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	185

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市防犯パトロール隊

山武市防犯協会

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

団体および職員が行う防犯パトロール活動により、市民の防 犯意識が高まるとともに、犯罪が未然に防止されます。

事務事業の内容、やり方、手順

パトロールを実施する防犯団体に、市が所有する青色防犯パトロールカーを貸与しました。 職員が、青色回転灯を装着した公用車を使用し、業務で市内に外出した際にパトロールを行ないました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
防犯パトロール回数		263	251	298
防犯パトロール実施率	%	79.6	75.8	80

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費	財源内訳					
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	474	0	146	0	0	328	
01年度 実績	16	0	0	0	0	16	
02年度 当初	25	0	0	0	0	25	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>

令和元年度における防犯パトロール実施率は75.8%で、昨年度と比較して、3.8%減少しています。

<原因> 台風等の災害の影響により、 パトロールや啓発活動の実施が困難であったためです。

|日頃ランスプロングでは、パーロール生品を表現では、日本であったためです。 |指導員及び隊員の高齢化が進み、パトロール実施率が不安定な側面がありますが年間を通じて計画通り順調に実施しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	団体	28	29	27
防犯活動を行っている協力者数	人	612	613	612

駅前自転車駐車場等防犯カメラ維持管理事業 事務事業名

市民部 市民課

1 - 4 - 1 - 4 - 1							
政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり				
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進				
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設・	罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			
計画年度	平成	21 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1232		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

監視カメラを管理することにより、犯罪を未然に防止する。

事務事業の内容、やり方、手順

安心・安全な暮らしの実現及び安全・安心確保等における治安体制の整備等として、公共空間の犯罪抑止を推進するため、駅前自転車駐車場等の監視カメラを維持管理しました。 【設置場所】

- ・成東駅前自転車駐車場周辺(13台)、新町(3台)
- ·日向駅前自転車駐車場周辺(6台)
- ・松尾駅前駐車場周辺(10台) ・交差点:津辺(1台)、猿尾(1台)、蓮沼海浜公園(1台) ・自治会坂ノ上(2台)、富士見台(2台)
- 39台(別にダミーカメラ2台)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
防犯カメラ映像の提供数	件	11	12	6
成果状況				
自転車駐車場内での犯罪発生数	件	10	15	15
防犯カメラ映像を提供したことによる検挙数		2	0	0

事業費の推移 単位:千円

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
年度	事業費		繰越額				
十.反 	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	5,816	0	1,400	0	0	4,416	
01年度 実績	4,303	0	600	0	0	3,703	
02年度 当初	629	0	0	0	0	629	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>自転車駐車場周辺での犯罪発生件数は15件となり、昨年と比較して5件増加しています。また防犯カメラ映像

を提供したことによる検挙数は0件です。 <原因>駅ロータリー等に防犯カメラを設置し、犯罪抑止及び環境向上に努めているが、無施錠で駐輪している自転 車が多く、盗難被害につながったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	32	39	40

事務事業名 LED防犯灯整備事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり				
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進				
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設・	R罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			
計画年度	平成	24 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	1644		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・市民
- 新設防犯灯
- ・既設防犯灯

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

・夜間における危険個所が解消され、市民の安全が確保され ます。

事務事業の内容、やり方、手順

・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するために各道路及びその周辺に防犯灯を設置しました。 ・LED灯の新規設置及び修繕を要する防犯灯のLED灯への交換等

にほいりがが、は直及びに溜を安する別がりのLEDが、イの交換等に積極的に取り組みました。 《新設》毎年10月末までに行政区又は自治会の代表者から新規設置要望書と設置場所及び電柱番号を明記した地図を添付し提出してもらいます。要望書受領後 現地調査・検討 年間計画作成 翌年度当初に設置可否決定通知書送付 LED灯設置工事

《交換》市民から球切等の連絡 状況により現地調査 LED灯 設置工事発注

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
LED防犯灯年間設置数	基	625	296	70
LED防犯灯数(累計)	基	7,992	7,999	8,073
成果状況				
LED防犯灯設置率(新設、灯具交換)	<u></u>	96.4	99.2	99.2

単位:千円 事業費の推移

2 - > - > - > - >							
年度	事業費	財源内訳					
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	16,996	0	0	0	11,385	5,611	
01年度 実績	8,894	0	0	0	6,920	1,974	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和元年度のLED防犯灯設置率は99.2%で、昨年度と比較して2.8%増加しています。.

防犯灯のLED化推進の最終年度で累計7,999本LED化が完了しています。また、農作物や身体に害を及ぼす恐れがあ るという市民からの要望により、蛍光灯を継続して設置している箇所が63箇所あります。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	32	39	40

事務事業名 防犯カメラ設置推進事業

市民部 市民課

1 - 4 - 1 - 4 - 1							
政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり				
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進				
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設・	 罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			
計画年度	平成	30 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1978		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

自治会等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

自治会等の防犯カメラ設置に助成することにより、地域の防犯力が向上し、犯罪を未然に防止します。

事務事業の内容、やり方、手順

自治会等が行う、防犯カメラの設置について助成しました。 カメラ1台につき1/2補助、限度額20万円としました。 リースの場合は初年度の経費について助成しました。 事業を実施しようとする自治会等は、前年度中に計画書を提出 するものとします。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金申請団体数		1	1	0
補助金交付申請防犯カメラ台数		2	2	0
成果状況				
補助金決定団体数		1	1	0
補助金決定防犯カメラ台数		2	2	0

事業費の推移 単位:千円

3-21/22 31-12							
左	事業費	財源内訳					繰越額
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此处 否具
30年度 実績	400	0	200	0	0	200	
01年度 実績	400	0	200	0	0	200	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年は1団体2台のカメラに助成を実施し、昨年度と同数を維持しました。 <原因>要望段階で山武警察署を含めた現地確認を実施し、事業の確実な実施につながったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	32	39	40

事務事業名 消費生活相談事業

経済環境部 わがまち活性課

WITH TO SOME 12					
政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進		
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	533

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差を軽減し、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営 開設日 月~金曜日(祝祭日及び12月29日から1月3日を除く) 開設時間 午前9時~正午まで及び午後1時~午後4時30分まで 業務

- ・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあっせん
- ・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及 び提供

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	1,382	1,666	1,300
	 枚	14,540	22,104	22,000
成果状況				
消費者相談件数(山武市受付分)	件	449	464	450
消費者相談件数	 件	599	573	600

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					繰越額
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	/
30年度 実績	5,594	0	1,560	0	126	3,908	
01年度 実績	7,491	0	2,836	0	142	4,513	
02年度 当初	2,709	0	1,753	0	140	816	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 相談件数は、平成30年度より26件ほど減少しており、順調です。 <原因 > その理由としては、消費者啓発(啓発物の配布、消費講座の実施等)を通して、山武市消費生活センターが 市民に認知されてきたことが考えられます。また、相談業務は週5日開設しており、安定したセンター業務の運営がさ れていると思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
消費者相談件数	件	599	573	455
消費者トラブルにあった市民の割合	%	4.9	3.4	3.3

事務事業名 交通安全協会支援事業

市民部 市民課

1 - 4 - 1 - 4 - 1					
政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進		
基本事業番号	05	基本事業名	交通安全意識の向上		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	191

事業の概要

対象(誰、	何に対し	て事業を行うのか)
-------	------	-----------

山武交通安全協会

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

交通安全思想の普及と交通事故の防止を図るために、交通安全協会が適切に啓発事業等を実施することができます。

事務事業の内容、	おこす	手順
事が事業の内容、	ハシリカ、	

交通安全協会の活動に対する補助金を交付しました。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金額	千円	2,332	2,215	2,240
成果状況				
啓発活動回数	回	40	36	40

事業費の推移 単位:千円

左	声	財源内訳					繰越額
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	,
30年度 実績	2,322	0	0	0	0	2,322	
01年度 実績	2,215	0	0	0	0	2,215	
02年度 当初	2,240	0	0	0	0	2,240	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>元年度の啓発活動回数は36回で計画値を下回りました。

<原因>秋の台風災害により、計画した啓発活動を実施できなかったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	回	3.3	3	3

事務事業名 有害鳥獣駆除及び保護管理事業

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進			
計画年度	昭和	1 23 年度 ~	年度		事務事業整理番号	451

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

農作物に被害をもたらす有害鳥獣駆除(有害鳥獣駆除隊)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

農作物又は生活環境に被害を与えてるいる有害鳥獣をできる 限り駆除することで農作物の被害を少なくします。

事務事業の内容、やり方、手順

区長回覧によるお知らせにより、各区からの申請に基づき、県 へ捕獲許可申請を行い、申請のあった場所を重点的に、有害鳥 獣の駆除を山武市有害鳥獣駆除隊に委託します。 期間・数については、県への申請・許可を得て限られた中で行 います。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
申請受付件数	件	20	20	20
駆除委託数	羽・頭	510	510	510
成果状況				
有害鳥獣駆除 合計数	羽・頭	510	510	510
鳥獣による被害件数	件	30	50	50

事業費の推移 単位:千円

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
年度	事業費		繰越額				
十.反 	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	2,704	0	263	0	0	2,441	
01年度 実績	2,669	0	497	0	0	2,172	
02年度 当初	4,319	0	410	0	0	3,909	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 平成30年度と比較して、有害鳥獣駆除件数は同数、被害件数は20件増加しています。 <原因 > 有害鳥獣の捕獲については、猟友会に委託、区や農家からの申請場所を重点的に実施していますが、被害件 数が増加している現状です。新たな対策を検討する必要があります。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,894	2,915	2,902.8
家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)	件	0	0	0

経営所得安定対策推進事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進			
計画年度	平成	1 24 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1602	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|山武市農業再生協議会 農家

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

農業経営の安定化が図られます。 産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その 差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確 保を図るとともに、麦・大豆等の戦略作物への作付転換を支援

します。 市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果	活動状況 (活動指煙))と成果状況(成果指標)	重業費の推移
尹未 /11 知しル不	/口玉川1八川6 /口玉川1日1示	/ こル木イハノル (ル木コロイボノ	、事未見のほか

活動状況 生産調整面積	単位 h a	30年度 1,000	01年度 1,000	02年度 1,000
成果状況		400	455	
生産調整実績	h a	463	455	220
事業加入者数	人	180	181	200

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2								
年度	事業費		繰越額					
牛 及	十反	争耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	71,704	0	7,002	0	0	64,702		
01年度 実績	76,106	0	13,150	0	0	62,956		
02年度 当初	71,934	0	6,686	0	0	65,248		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>平成30年度と比較して、生産調整実績は8ha減少、事業加入者数は1人増加しています。 <原因>前年度比較では概ね横ばいですが、生産調整面積に対する生産調整実績が少ないため、事業加入者数を増や していくことが必要です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,894	2,915	2,902.8
家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)	件	0	0	0
	<u> </u>			

認定農業者育成事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援			
計画年度	平成	18 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	447	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内認定農業者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 認定農業者の機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省 力化・効率化が進むことで、認定農業者が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入 (貨物自動車を除く。)及び農業用施設の整備に要する経費の1 0%以内を限度額250,000円として、同一年度内に一度限り助 成します。 申請受付を4月~5月末まで行います。 なお交付を受けた翌年度については事業申請できません。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
事業要望件数	件	51	45	50
補助金交付件数	件	51	44	50
成果状況				
交付額	円	7,195,480	6,920,442	9,700,000
認定農業者増加件数	人	5	22	5

単位:千円 事業費の推移

2 - 2 2 - 2 2							
年度	事業費		繰越額				
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	7,195	0	0	0	0	7,195	
01年度 実績	6,920	0	0	0	0	6,920	
02年度 当初	9,700	0	0	0	0	9,700	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>平成30年度と比較して、補助金交付額は275,038円減少、認定農業者数は22人増加しています。 <原因>補助金交付額の減少は、交付決定後に辞退者がいたためです。認定農業者数の増加は、機械・施設整備に要する助成制度等のメリット措置によるものと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
認定農業者数	人	342	364	389
青年等就農計画認定者数		6	6	20

事務事業名 農地中間管理事業

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	03	基本事業名	農地の利用集積の推進		
計画年度	平成	27 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1882

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

農業者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

中心経営体に農地を集積させ、耕作放棄地等の解消を図りま す。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速化するため、農地所有者と農業経営者の間に農地中間管理機構が立って農地の貸借等を行い、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を進めます。

て農地の負債を行うない、原地の本語は、「本日の公 参入を進めます。 ・経営転換・リタイアする個々の出し手に対する支援 (経営転換協力金)出し手の全自作地を10年以上機構が借受け、担い手等に貸付けが行われる場合 1.5万円/10a(上限50万円/戸)

事業活動と成果	活動状況(活動指標 `)と成果状況(成果指標) ,	事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
申請件数	件	164	196	100
成果状況				
申請面積	m²	878,000	1,099,000	100,000
1 807-100				

事業費の推移 単位:千円

3.21222377								
左帝	申米弗		財源内訳					
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	13,002	0	12,652	0	350	0		
01年度 実績	9,714	0	9,485	0	0	229		
02年度 当初	10,243	0	10,243	0	0	0		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

平成30年度と比較して、申請面積は221,000㎡増加しています。

〈原因〉

早船・寺崎及び島地区での農地の集積・集約化が推進されたことが主な要因です。その他の地域でも担い手や地権者 に本制度の趣旨が理解され、制度を活用する方が増加しています。

農地中間管理集積面積	単位 h a	201.3	01年度 311.2	めざそう値 281

事務事業名 県営畑地帯総合整備事業

経済環境部 農林水産課

					
政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	499

事業の概要

対象	(誰.	何に対し	,て事業を行うのか)	
グリタ へ	\		/しず未と1」ノツル /	

受益対象農地

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

県事業として、用・排水等の生産基盤が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

県営畑地帯総合整備事業の迅速かつ円滑な事業促進のため分担金(負担金)を支出しました。 <県営土地改良事業分担金等徴収条例>

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
負担金交付額	金額	515	1,067	2,162
成果状況				
整備事業の進捗率	%	65	65	65

事業費の推移 単位:千円

3-21424-12							
左	声		財源内訳				
平 及	年度 事業費		県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	315	0	0	0	0	315	
01年度 実績	1,068	0	0	0	0	1,068	
02年度 当初	2,162	0	0	0	0	2,162	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

、初加・ 県営畑地帯総合整備事業北総中央 期地区境川水系排水整備事業の円滑な推進のため負担金を計上しましたが、事業 が先送りとなりました。

<原因 >

事業主体である千葉県と地元(地権者)調整が難航していることが考えられます。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了 数	単位 箇所	30年度 4	01年度 4	めざそう値 5
	-			

多面的機能事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進		
計画年度	平成	は 26 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1542

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

活動実施組織

記動実施組織の地区に存在する保全対象施設(農用地、開水路、パイプライン、ため池、農道) (変更前名称:農地・水保全管理事業)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

混住化や農業者の高齢化が進み、農業者だけでは管理できなくなるであろう社会情勢により、これからは非農業者を含めた地域住民で農業施設を管理していくことにより、農村環境の向上及び農業や生活環境が活性化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

活動組織が実施する活動に対し、対象農用地面積により国(50%)・県(25%)・市(25%)の負担割合により各活動組織へ交付しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況 農地維持支払交付金額・資源向上支払交付金額(長寿命化 除く)	単位 千円	30年度 13,489	01年度 13,489	02年度 13,490
資源向上支払交付金額(長寿命化)	千円	0	0	0
成果状況				
活動組織における活動実施回数	<u> </u>	12	12	12

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1						
左	事業費		繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	14,821	0	10,539	0	0	4,282	
01年度 実績	14,865	0	10,456	0	0	4,409	
02年度 当初	15,005	0	10,466	0	0	4,539	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

活動組織6団体による農用地、開水路、パイプライン、農道の保全活動が適切に実施されたので補助金を交付しまし

た。 <原因>

活動組織6団体が、計画どおりに保全活動を実施したためです。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了	<u>単位</u>	4	4	_ めざそう値 _
数	箇所	4	4	5

事務事業名 両総茂原地区県営かんがい排水事業

経済環境部 農林水産課

		·—				
政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進			
計画年度	平成	25 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1770	

事業の概要

対象(誰、	何に対し	て事業を行うのか〕)

両総土地改良区

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 県営かんがい排水事業により、農業基盤整備が進捗します。 事務事業の内容、やり方、手順

県営かんがい排水事業「両総茂原南地区」の迅速かつ円滑な事 業促進のため負担金を支出しました。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
負担金額	千円	2,840	10,196	11,445
成果状況				
償還率	%	0	0	0

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
左	事業費		繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	2,840	0	0	0	0	2,840	
01年度 実績	10,195	0	0	0	0	10,195	
02年度 当初	11,445	0	0	0	0	11,445	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

県営がんがい排水事業として農業基盤の整備が順調に進捗しました。

< 原因 >

事業の実施主体である千葉県の年度計画どおりに事業が実施できたためです。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了	単位 箇所	30年度	01年度	めざそう値
<u>数</u>	- 画別			

事務事業名 農村地域防災減災事業

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進		
計画年度	平成	29 年度 ~	令和 05 年度	事務事業整理番号	1945

事業の概要

対象	(誰	何にす	付して事業を行うのか)
73 ST	\ DE\		」して手未せいしかり

農業水利施設

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

効果的な防災・減災対策を講じることにより、地域住民の暮らしの安全を確保し、もって災害に強い農村づくりを推進します。

事務事業の内容、やり方、手順

千葉県震災対策農業水利施設整備事業補助金交付要綱により当該震災対策農業水利施設の耐震性点検・調査計画事業に要する経費に対し、補助金が交付される。(令和元年度まで補助率100%)本事業を活用し、災害の未然防止や被害の軽減を図りました。

事業活動と成果	活動状況((活動指標)	と成果状況(成果指標)	١.	事業費の推移
ナネルエルールへ	/ロエル・ハハし (、/ロエルノロリホ /		、ハケヘレコロコホ	<i>,</i> ,	ナ 木 只 ツルツ

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
耐震化率	%	0	0	0
成果状況				
進捗率	%	0	10	0

事業費の推移 単位:千円

午莊	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	2,847	0	2,750	0	0	97	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

へのルク 最災対策農業水利施設として広域農道に架かる小松大橋の耐震性点検、調査を実施し事業採択に向けて進捗しましましま。

た。 <原因>

千葉県の審査会を受審し、承認を得たので、事業採択申請書を提出することができたためです。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了	単位	30年度	01年度	<u>めざそう値</u>
数	箇所	4	4	5
	-			

農業水路等長寿命化・防災減災事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

HEN INC SOME 100		H-1-					
政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興				
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	農業基盤整備の推進			
計画年度	平成	30 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1996		

基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進				
計画年度	平成	30 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1996	
事業の概要							
対象(誰、何に対	して	事業を行うの	か)	 事務事業の内	容、やり方、手順		
受益対象農地					業水路等の農業水利 実施しました。	施設の整備、	更新等を地域の

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されま す。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
整備更新等に係る事業数	件	1	1	1
成果状況				
事業実施済地区数	地区	1	1	1

事業費の推移 単位:千円

子未見いた沙	<u>+ 14 · 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>						
年	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝 	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此為貝
30年度 実績	18,641	0	0	0	0	18,641	
01年度 実績	101,498	0	33,404	0	25,603	42,491	117,732
02年度 当初	12,116	0	4,900	0	0	7,216	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 低下 向上 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

水路境界が確定したので、水路整備工事を発注し完成しました。

地権者が仮設道路用地を提供することにより、支障なく工事が完成しました。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了 数	単位 箇所	30年度 4	01年度 4	めざそう値 5
	-			

事務事業名 ほ場整備事業

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進			
計画年度	平成	30 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1997	

事業の概要

対象	(誰	何に対し	て事業を行うのか)	١
ハコタハ	/ HE/		くず木とコンツル)	,

受益対象農地

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

担い手へ農地を集積・集約化し、耕作放棄の発生が防止され ています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
地区	3	3	3
件	0	0	3
	地区	地区 3	

事業費の推移 単位:千円

左	車光弗	事業費 財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	37,982	0	0	0	0	37,982	
02年度 当初	61,707	0	0	0	0	61,707	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 遅延あり 順調 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

3地区に土地改良事業推進委員会が設立され事業採択に向けて進捗しました。

<原因> 推進委員が地権者に対して事業の説明をしています。 島及び早船地区は調査測量業務を発注し地区内の状況を確認することが出来ました。

国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了	単位 箇所	30年度	01年度	めざそう値
<u>数</u>	- 画別			

事務事業名 県単森林整備事業

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興				
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進				
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1606		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内山林

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

荒廃した森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林の適正な整備を行い、林木の健全な成長を促進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮する優良な森林を造成するため、造林・保育(下刈り・枝打ち・間伐・除伐等)・間伐材搬出を行う森林所有者に対して、事業費の一部を補助しました。

補助率:事業費の7/10以内

県 4/10以内 市 3/10程度

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金額	千円	1,748	3,189	3,554
成果状況				
県単森林整備事業で整備された森林面積	ha	6.52	5.18	2
間伐材搬出量	立米	402	862	900

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
左	財源内訳 事業費						繰越額
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越 額
30年度 実績	1,747	0	999	0	0	748	
01年度 実績	2,710	0	1,549	0	0	1,161	
02年度 当初	3,554	0	2,030	0	0	1,524	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

森林整備面積は、平成30年度より1.34ha減少しましたが間伐材搬出量は、460立米増加しました。

<原因>

令和元年房総半島台風により被害を受けた森林を整備するにあたり、国庫補助で対応ができない事業(間伐材搬出) について、本事業を活用したため、搬出量が増加したと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	置所 ————————————————————————————————————	44	41	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	700	1,700	1,400

森林環境整備推進事業 事務事業名

経済環境部 農林水産課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興			
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進			
計画年度	令和] 01 年度 ~		事務事業整理番号	2009	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内森林

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

森林環境譲与税を活用することで、荒廃した森林の整備が促 進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

荒廃した森林を再生させるため、森林環境譲与税の範囲内で事

業を実施します。 主に、主要道沿いの森林において溝腐被害の顕著な箇所を優先 して更新伐を実施するとともに、被害材の受入れに対して新た な枠を設け助成しました。

- ・主要道沿いの森林の被害状況調査 ・被害状況に応じた帯状の更新伐 ・被害材受入れに対する助成(2,000円/t)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
森林環境整備に係る取組数	件		0	3
成果状況				
整備が実施された面積	h a		0	1
受入れた間伐材、被害材等の搬入量	t		1,000	1,000

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費 財源内訳						繰越額
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	米比 公只
30年度 実績							
01年度 実績	2,076	0	0	0	2,076	0	
02年度 当初	12,159	0	0	0	12,159	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 森林経営計画により市内山林から発生した間伐材、被害材等の搬入量は計画どおり1,000 t でした。 主要道路沿いに隣接する森林被害状況の把握と整備については、実施しませんでした。 < 原因 > 原因として、台風被害後、同様な森林整備に対する補助制度が新設されました。新たに新設された補助制度 を活用して森林整備を行うため事業を実施しませんでした。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	44	41	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	700	1,700	1,400

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興				
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進				
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	688		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|農業委員、農地利用最適化推進委員、農地、農業者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

円滑な委員会運営 門がなる 農地の適正利用 農業経営の向上

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法による利用 権設定等を希望する農業者に対し、申請に係る指導を行い、適切な農地利用を図りました。

切な展地利用を図りよりた。 提出のあった農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、その後速やかに許可や 県への進達を行いました。

その他の事業については以下のとおり実施しました。 ・農家基本台帳の整備 ・農地法に基づく農地の利用状況について調査 ・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修

- ・農業委員の視察研修開催
- ・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
審議議案数	件	504	538	500
現地調査件数	件	638	640	550
成果状況				
農地申請不許可率	<u></u> %	0	0	0

単位:千円 事業費の推移

3 7177 17							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	17,642	0	55	0	0	17,587	
01年度 実績	20,657	0	2,278	0	0	18,379	
02年度 当初	21,689	0	2,713	0	0	18,976	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

農業委員及び農地利用最適化推進委員による委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。 <原因>

農地法等の法令について、 事務局から農業委員及び農地利用最適化推進委員へ随時助言をしていることや 委員と事務局が連携し現地確認等を実施していることが円滑に運営が行われたと思います。

単位	30年度	01年度	めざそう値

事務事業名 商店等リフォーム助成事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	02	施策名	埼工業の振興と地域経済活性化			
基本事業番号	01	基本事業名	市内消費の向上			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1845	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

事業を活用してリフォームを行う商店等の主

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

商店等の環境が改善されることで集客と業績の向上が見込め、地域経済の活性化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内で商店等を営む商工会員事業者が、集客の向上のため店舗をリフォームする場合に対して、その費用の一部を助成します。助成額は、対象経費の2分の1以内で100万円を限度とします。本事業は、市から商工会へ補助金を交付し、商工会から当該事業者に助成します。

事業実績

(H27~R1年度合計)

- ・件数 6件 (51件)
- ・補助額 4,340千円 (27,695千円) ・総工事費 10,100千円(73,458千円)

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
申請受付件数	件	10	6	10
補助金執行率(事業費ベース)	<u></u> %	100	86.8	80

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
30年度 実績	7,000	0	0	0	0	7,000	
01年度 実績	4,340	0	0	0	0	4,340	
02年度 当初	5,000	0	0	0	0	5,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>補助金執行率は目標を達成しましたが、申請受付件数は平成30年度と比べ4件減の6件となり目標を達成できませんでした。

<原因>本事業は1事業者1回限りの補助となりますが、平成27年度の事業開始から4年経過し、当初想定していた補助 対象事業者からの申請がおおよそされたことにより、申請件数が減少していると考えられます。

市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位 % ———	68.6	01年度 70.7	<u>めざそう値</u> 72

事務事業名 商工会運営支援事業

経済環境部 わがまち活性課

WITH TO A SOME 12							
政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化				
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成				
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	539		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

商工会・商工会員

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

商工会が事業展開することにより、会員資質の向上や安定し た経営ができるようにし、商工業の活性化を推進します。

事務事業の内容、やり方、手順

市内小規模事業者に対する経営相談・指導事業の充実及び商工業の活性化を推進するため、商工業の振興に大きく貢献する商工会に対して補助金を交付します。

事業実績(山武市商工会)

会員数759名(普通会員734名、定款会員15名、特別会員10名) 相談指導数3,587件(巡回指導2,218件、窓口指導1,327件 創業指導数3,240,004円

決算額(支出)113,340,061円

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
商工会運営費補助金額	千円	10,945	11,000	11,000
成果状況				
商工会の把握する商工会加入率	%	53.1	52.3	55
商工会の実施する経営指導件数	——— 件	2,635	3,587	2,600

事業費の推移 単位:千円

2.2/27.12.12							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	10,945	0	0	0	0	10,945	
01年度 実績	11,000	0	0	0	0	11,000	
02年度 当初	11,000	0	0	0	0	11,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>経営指導件数は目標を達成しましたが、商工会加入率は平成30年度と比べ1.5ポイント減の52.3%となり目標 を達成できませんでした。

<原因>商工会加入率については、廃業等による会員数の減少が影響していると考えられます。経営指導件数については、指導員による巡回指導件数及び令和元年台風第15,19号や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う金融(融資)相談・指導が増加したことが要因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	<u></u> %	42.2	41.8	60.3
新規法人登録件数	件	77	67	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	131	163	214

中小企業運営資金利子補給事業 事務事業名

経済環境部 わがまち活性課

		_ · - · · · ·				
政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化			
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	540	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|中小企業者(対象資金の融資を受けた者)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

中小企業者の負担軽減により、経営の安定と商工業の振興を 図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

対象資金に対し、支払った利子の一部を補給します。

- 利子補給限度額 平成28年度改正 ・年利子支払額の30%以内(延滞利子除く) ・1事業所に対し30万円以内

件数 158件(H30年度 164件)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
市内企業等数	件	1,344	1,344	1,344
成果状況				
受給率	%	13.2	11.7	12

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17								
左庇	事業費			財源内訳			繰越額	
十良	年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	10,554	0	0	0	0	10,554		
01年度 実績	10,428	0	0	0	0	10,428		
02年度 当初	15,082	0	0	0	0	15,082		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>受給率が平成30年度と比べ1.5ポイント減の11.7%となり目標を達成できませんでした。

<原因>市内中小企業者を取り巻く環境が依然として厳しい状況のなか、事業拡大のための借入れを行う事業者が減少していることや完済後の新たな融資申込みを見送る事業者が増加していることが要因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	42.2	41.8	60.3
新規法人登録件数	件	77	67	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	131	163	214

エコノミックガーデニング推進事業 事務事業名

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化				
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成	経営体の体質強化・育成			
計画年度	平成	26 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1802		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内中小企業、小規模事業者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地元企業を成長させることにより、雇用を確保し、住民の所得を向上させることで経済的な地域力を高め、レジリエンスな(回復力のある)地域経済をつくります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノ ミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングにより エコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営 ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開 ・商圏分析などデータ構築、提供

- ・域内企業マッチング

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
活動事業数	事業	17	18	20
成果状況				
参加事業所数	所	64	73	75

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費					繰越額	
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 此
30年度 実績	3,719	1,783	0	0	0	1,936	
01年度 実績	9,067	4,482	0	0	0	4,585	
02年度 当初	4,411	0	0	0	1,908	2,503	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

協議会への参加事業所数は平成30年度から9事業所増加しており、順調です。

<原因>

協議会設立(平成28年度)から4年目となり、協議会を中心とした継続的な活動が事業者間の連携や活発な情報交換の 場を生み出しており、参加事業所の増加につながっていると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	42.2	41.8	60.3
新規法人登録件数	件	77	67	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	— 社	131	163	214

就業環境改善推進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化				
基本事業番号	04	基本事業名	成田空港経済圏の形成	以田空港経済圏の形成			
計画年度	平成	29 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1943		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

地域内立地企業

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民の就業先となっている地域内立地企業の就業環境が整う ことで、地域内就業の向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

地方創生推進交付金を活用し、若年層の定住促進に資する各種 調査等を行います。

- < 令和元年度実績 >
 ・航空業界に関する小中学生向け講話事業
 ・成田空港立地企業等の就業環境調査

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
調査実施件数	件	2	1	1
地域内就業改善事業実施数	事業	2	2	2

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費		繰越額				
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	3,027	1,514	0	0	0	1,513	
01年度 実績	1,275	638	0	0	0	637	
02年度 当初	2,600	1,300	0	0	0	1,300	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

地域内就業改善事業実施数は前年度と同数で、順調です。

成田空港立地企業等の就業環境調査については、新型コロナウイルスの影響により当初予定していたヒアリング調査 の規模を縮小しましたが、昨年度より早く日程等協議を行ったことにより計画自体には大きな影響なく調査を実施す ることができました。今後とも密な連絡調整を行いながら成果創出に向け事業を進めます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
成田空港周辺自治体としての取組件数	件	7	7	9
成田空港関連の市内従業員数			-	630

事務事業名 観光推進支援事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	03	施策名	観光の振興			
基本事業番号	01	基本事業名	魅力ある観光事業の推進			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	545	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・観光推進団体

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

観光振興団体がより多くの観光PR・イベントの実施をすることで、市の観光の推進及び振興を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市の観光の推進、振興のため市内の観光PR・観光イベントの実施を主たる目的とする団体の事業に対し補助金を交付しました。

らた。 年度事業計画を提出させ内容を審査し、補助金の交付を決定し ます。事業終了後、実績報告により補助金を清算しました。

補助金先:特定非営利活動法人山武市観光協会

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
観光案内所利用件数	件	3,671	3,505	4,000
成果状況				
イベント主催数		5	2	3

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
十 <u>人</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	7,562	0	0	0	0	7,562	
01年度 実績	7,033	0	0	0	0	7,033	
02年度 当初	10,023	0	0	0	1,023	9,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>イベントの実施回数は前年度と比べ少なくなっており、交流センターの利用者数は僅かに減少しています。

<原因>令和2年1月以降のコロナウイルス感染拡大に伴い、開催予定であったイベントが中止となったため、イベント主催数が減少しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
イベントの来場者数	人	12,500	5,400	27,300
広域(県)、民間事業者との連携事業数		18	12	18
体験型観光客数	人	280,938	284,076	292,500

事務事業名 体験型観光推進事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	03	施策名	見光の振興				
基本事業番号	01	基本事業名	魅力ある観光事業の推進	上力ある観光事業の推進			
計画年度	平成	27 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	1901		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

観光客、事業者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

山武市内への宿泊・滞在の促進及び滞在時間の長時間化を促 進します。

事務事業の内容、やり方、手順

海水浴場等を活用した観光客の滞在時間の長時間化の促進に加え、海水浴期間外の利活用を促進するための下記の事業を行いました。

・NPO法人山武市観光協会へ業務委託を行い、7月に「アジのつかみ取り体験」を実施しました。3月には、インバウンド対策として城西国際大学留学生を対象にモニターツアーを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となりました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
モニターツアー数		7	1	
成果状況				
宿泊者数		84,115	80,531	

事業費の推移 単位:千円

3-21/22 31-12							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	1,000	0	0	0	0	1,000	
01年度 実績	108	0	0	0	0	108	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>7月に「アジのつかみ取り体験」事業を「オライはすぬま」との協力して実施しました。また、3月に城西国際大学の学生を対象としたモニターツアーを実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大傾向にあったため、参加者の安全を最優先し、中止としました。実績は1回で、目標回数には達することができませんでした。

<原因>例年、夏季に複数回実施しておりましたが、ブルーフラッグ認証対応に追われ、観光協会との連携がうまくいきませんでした。また、3月のモニターツアーは、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止としました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
イベントの来場者数	人	12,500	5,400	27,300
広域(県)、民間事業者との連携事業数	件	18	12	18
体験型観光客数	人	280,938	284,076	292,500

事務事業名 にぎわい創出事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
施策番号	03	施策名	観光の振興				
基本事業番号	01	基本事業名	魅力ある観光事業の推進	越力ある観光事業の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	1969		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内観光産業関係者 観光客

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市内観光地に来客者が誘致されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市観光協会が主体となって、観光客の宿泊・滞在の促進及び滞在時間の長時間化を目的として行う事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付しました。

・今年度は、クーポン券を事前に配布する形式とし、11月から 主に市外で配布を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
事業に参加する市内観光産業関係者数	者	66	68	
市内観光地等に誘致を促した観光客数(クーポン等の配布数)	人	5,000	6,000	
成果状況				
市内観光地等に誘致できた割合(クーポン等の利用率)	%	85.4	1.15	

事業費の推移 単位:千円

3.2/42/4.12							
—————————————————————————————————————	事業費	財源内訳					繰越額
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	2,200	0	0	0	1,100	1,100	
01年度 実績	270	0	0	0	135	135	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市内で使うことのできる「選べるクーポン券」事業を実施し、配布先は市外イベントや災害防災協定を結んだ自治体などを選びました。クーポン券にはナンバーが記載されており、どこに配布したクーポン券が還元されているか確認する目的もありましたが、還元率は1.15%に留まりました。

<原因>配布場所として災害協定を締結した牧之原市や常総市などを選定しましたが、遠方だったためか利用率が低 迷しました。今回の結果を踏まえ、次回以降は配布する箇所や内容を検討する必要があります。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
イベントの来場者数	人	12,500	5,400	27,300
広域(県)、民間事業者との連携事業数	件	18	12	18
体験型観光客数	人	280,938	284,076	292,500

海水浴場維持管理安全対策事業 事務事業名

経済環境部 わがまち活性課

		_ · - · · · ·				
政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	03	施策名	観光の振興			
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	553	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・観光客
- ·海水浴場施設

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

海水浴客の安全の確保と施設の利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

来遊する海水浴客の安全対策、海水浴場開設期間の駐車場の管理業務、海水浴場の施設管理業務を実施しました。 ・海水浴場数:6カ所

事業活動と成果	活動状況(活動指標)	と成果状況(成果指標)、	事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託業務数	件	6	6	6
海水浴場開設日数	日	47	40	46
成果状況				
水難事故件数	件	0	0	0
苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位:千円

左	財源内訳					繰越額	
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深起 領
30年度 実績	47,655	0	0	0	4,852	42,803	
01年度 実績	47,261	0	0	0	3,302	43,959	
02年度 当初	52,735	0	0	0	3,301	49,434	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 遅延あり 順調 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

(状況)海岸安全対策に係る委託業務は全て適正に執行されており、事故も無く海水浴場開設期間を終えることができました。

(原因)ライフセーバーによる適切な監視体制や行動により、事故を防げたと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	96,565	69,000	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	1	0	0

美しい海水浴場次世代継承事業 事務事業名

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	03	施策名	観光の振興		
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進		
計画年度	令和] 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号	2013

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・本須賀海水浴場
- ・観光客
- ・市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

本須賀海水浴場において、ビーチの国際環境認証のブルーフラッグを取得します。取得の審査項目を達成するため、観光業者をはじめとする市民が環境保全活動を行い、ブルーフラッグを取得することや、取得に向けた過程がイメージアップとなり、観光客の増加が期待されます。

事務事業の内容、やり方、手順

国際環境認証であるブルーフラッグを取得するため、下記の事 業を行いました。

- ・7月6日、7日 環境教育セミナー ・7月13日 認証取得記念セレモニー(千葉県知事臨席) ・同日 記念イベント SUGAR WATER(菅原小春氏ダンスWS) ・本須賀波乗り倶楽部主催ビーチクリーン活動支援 ・水質検査(開設前1回・開設期間中5回) ・ブルーフラッグ認証取得申請(毎年更新) ・ブルーフラッグに関する出前講座新設(6/20松尾高校)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
海岸環境教育活動回数	回		11	12
成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人		273	250
本須賀海水浴場入込数	人		21,535	46,000

事業費の推移 単位:千円

3 71724 12							
左莊	申米弗	財源内訳					4品土代安西
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	12,009	0	0	0	11,992	17	
02年度 当初	11,100	0	0	0	10,991	109	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

環境教育活動として、講師を招いての講座を2回実施し、松尾高校での出前講座を実施しました。また、毎月1回はビ<u>ーチ</u>クリーン活動の支援を行い、環境教育活動の参加者数は目標人数を達することができました。

講座には市内在住の子供や大人の方を中心に20~30名の参加があったこと、また、ビーチクリーン活動も一定の人数が持続的に参加を続けてくれたのが要因と思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	96,565	69,000	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	1	0	0

事務事業名 観光PR事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	こぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり			
施策番号	03	施策名	観光の振興			
基本事業番号	03	基本事業名	観光情報の発信			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	544	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・観光客

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

観光客の来遊を誘引します。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致促進のため観光パンフレット、観光宣伝用ポスターの印刷及び各種施設への掲示を依頼し、広告宣伝を行います。また、市外における観光客誘致イベントを実施しました。・ポンター作成・掲出先 市内外商業施設・公共施設等・パンフレット印刷

- ・広和宣伝活動・・・マスメディア・各旅行会社等・プロモーション活動・・・各種イベント活動事業・情報配信媒体・・・PRポスター・販促用グッズ等

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
チラシの配布数	枚	25,746	27,588	25,500
ポスター掲示数	箇所	833	727	700

単位:千円 事業費の推移

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
左莊	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	4,321	0	0	0	2,234	2,087	
01年度 実績	3,118	0	0	0	2,029	1,089	
02年度 当初	3,868	0	0	0	2,105	1,763	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<成果>観光ポスター、ブルーフラッグポスター、サマーカーニバルポスター、S1フエスティバルポスターを市内外 へ配架依頼し、予定上回る配布数となりました。

< 原因 > 例年、配架依頼している箇所以外に茨城県常総市や成田空港ターミナルビルなど新しい依頼先を増やしたことが、目標枚数を上回った要因と思われます。

単位	30年度	01年度	めざそう値
件	6,547	6,670	6,800
人	5,102	46,945	7,200
	1 1—	件 6,547	件 6,547 6,670

ふれあいデイサービスセンター運営事業 事務事業名

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実	_	
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進		
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	355

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|65歳以上の介護保険非該当者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

生きがいをもって健康づくりを行うことで、要介護認定を受ける可能性が低くなります。

事務事業の内容、やり方、手順

H29年4月からR4年3月まで、基本協定に基づき社会福祉法人緑海会に管理を委託し業務を行います。
<水あいデザインでは、10世末4年

___生活指導__日常動作の

利用期間は6か月

利用できる者は市内の65歳以上の介護保険認定非該当者 <ふれあいデイサービスセンターの利用の許可> 緑海会に申請し許可を受けます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開館日数	日	244	234	243
成果状況				
ふれあいデイサービス延べ利用者数		2,578	2,412	2,650
維持管理上の不具合件数	件	0	3	1

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
左庇	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	14,400	0	0	0	0	14,400	
01年度 実績	15,074	0	0	0	0	15,074	
02年度 当初	14,851	0	0	0	0	14,851	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>昨年度と比較し、利用者数が166名減少(6.4%)しました。 <原因>利用者の自粛など、新型コロナウイルス感染症の影響による減少と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	36.2	30.7	40
生きがいを持っている高齢者の割合	%	44.1	45	50
新規要支援・新規要介護認定者の割合	%	14.5	13.2	14

事務事業名 介護予防研究事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	れもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実					
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進					
計画年度	平成	27 年度 ~	令和 02 年度	事務事業整理番号	1912			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

65歳以上の市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

適切な介護予防事業を行うことにより、自立した生活を送っ ています。

事務事業の内容、やり方、手順

介護給付データ等を活用し、介護予防等の効果分析を行います。分析の結果を踏まえ、今後の介護予防プログラム、介護保険計画への反映を行います。

重業毛順

サスプペ 山武市から筑波大学へ介護給付データ等を提供 筑波大学でデータ解析、文献調査、住民聞取り調査実施 コホート試験のため、データ解析には長期間(複数年)を要 することから、今年度分の分析結果のみ市に報告

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
65歳以上の市民		17,424	17,627	17,805
要介護認定者・要支援認定者数		2,767	2,791	2,764
成果状況				
介護予防研究報告書数		1	1	1

事業費の推移 単位:千円

左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
30年度 実績	5,000	0	0	0	0	5,000	
01年度 実績	4,613	0	0	0	0	4,613	
02年度 当初	4,000	0	0	0	0	4,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 前年度に引き続き、筑波大学から研究成果が報告されました。 <原因 > 今年度は、介護保険データ等を活用し、旧4町村単位の介護度等特徴を表した地理的分布の作成を行い、分析結果を踏まえた施策のあり方を検討する基礎資料となりました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	36.2	30.7	40
生きがいを持っている高齢者の割合	%	44.1	45	50
新規要支援・新規要介護認定者の割合	%	14.5	13.2	14

老人保護措置費 事務事業名

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実				
基本事業番号	02	基本事業名	介護サービス・日常生活の支援				
計画年度		年度 ~	年度 事務事業整理番号 367				

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

概ね65歳以上の高齢者で、環境上の理由及び経済的理由から 居宅での生活が困難な高齢者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

養護老人ホームに入所することにより、日常生活に対する指導及び支援が行われ、社会への適応が可能となり、自立した 生活が送れるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

環境的経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者の措置如何について、入所判定委員会において審議を行います。その結果、入所が適切と判断されれば入所措置を行い、養護します。

<手続きのながれ>

入所申出書の記入 申出者の調査

入所判定委員会開催(郡)

徴収金決定通知書作成

が開発を買る用催しますが 施設へ入所依頼 措置開始通知書、徴収金決 毎月施設へ措置費を支払う

被措置者、扶養義務者に納付書送付

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
人	1	1	2
人	7	6	11
		単位 30年度 人 1 — 7	人 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費		繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此 还合具
30年度 実績	18,033	0	0	0	1,130	16,903	
01年度 実績	13,782	0	0	0	266	13,516	
02年度 当初	16,520	0	0	0	259	16,261	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>昨年度新たに措置した入所者は無く、令和元年度末時点の入所者は昨年度末と比較し1名減の6名でした。
<原因>昨年度は入所者1名、死亡者2名の異動があり、措置者は減少に転じました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
介護給付サービス利用率(居宅)	%	59.8	58.1	60
施設入所待機率	%	9.8	9.4	8

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	れもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実						
基本事業番号	03	基本事業名	安全・安心な生活への仕組みづくり						
計画年度	平成	18 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	357				

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方 身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

日常生活上の不安が解消されるとともに、急病等の緊急時に 適切な対応が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

高齢者世帯等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の不安を解消し、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応 を図ります。また申し出により、救急医療情報キットの配布も 行います

<事務手順>

(予が子順2) 緊急通報装置貸与申請を市に提出します。(救急医療情報 キットについては、申請書を提出するのみ) 市が該当要件を審査し該当者には決定通知を郵送します。 市と委託契約した事業所が日程調整の上装置を設置します。 貸与は無料で、装置に係る費用は市が負担します。 月に一度、市と委託契約した事業所が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	30	36	60
お元気コール実施回数		5,152	4,955	5,520
緊急通報連絡により対応した件数	件	230	292	300
	台	426	419	470

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費		繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	1
30年度 実績	9,390	0	0	0	0	9,390	
01年度 実績	9,264	0	0	0	0	9,264	
02年度 当初	9,704	0	0	0	0	9,704	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 低下 向上 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

緊急通報装置の設置台数が昨年度と比較し7台減少(1.7%)していますが、緊急通報により対応した件数は前年度より 62件(27.0%)増加しています。

<原因>

利用者の死亡、施設入所、家族の元へ引き取られる等の要因により、設置台数が減少に転じました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
相談先がある高齢者の割合	%	78.6	79.7	78.4

障害者自立支援事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	02	施策名	章がい者(児)福祉の充実				
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進				
計画年度	平成	20 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1063		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

障害者総合支援法に基づく障害(身体障害・知的障害・精神 障害・難病等)を持っている山武市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受け られます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害 福祉サービス(介護給付・訓練等給付等)を利用していただく

事業です。 【利用申請手順】 窓口にて申請 心身の発記の調査の

医師の意見書の取り寄せ 審査会にて障害支援区分の判定 サービス等利用計画の作成、提出 支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況 介護給付費・訓練等給付費・補装具給付費の支給を行った 人数	人	30年度 618	01年度 517	530
成果状況 障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割 合	%	26.6	20.9	23

単位:千円 事業費の推移

左	声	事業費					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	998,363	487,508	248,921	0	0	261,934	
01年度 実績	987,445	492,998	245,992	0	0	248,455	
02年度 当初	1,016,288	506,628	253,732	0	0	255,928	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和元年度の支給を受けた割合は20.9%となっており、前年度と比較して5.7%減少しています。

<原因>

令和三年度から障害児通所支援事業が別事業となったため、支給を受けた人の割合は減少しましたが、平成30年度の 障害児を除く支給割合は20.8%なので成果としては横ばいの状況です。

自立支援給付サービスの利用者数	単位	30年度 503	01年度 588	めざそう値 540
日立又接続的サービスの利用自数				

重度心身障害者医療費助成事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	02	施策名	章がい者(児)福祉の充実				
基本事業番号	02	基本事業名	地域生活支援の基盤づくり				
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号 267	7		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

身体障害者手帳1・2級の所持者 療育手帳A以上の所持者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

医療費助成を受けることにより、経済的負担が軽減されま す。

事務事業の内容、やり方、手順

登録者の医療に要する、保険適用分の一部負担金について助成 する事業です。 <助成内容>

- ・通院または入院に係る保険適用の医療費を所得状況に応じて、無料または1回(入院時は1日)300円負担 保険調剤は、無料
- <助成の受け方>
- ・重度心身障害者医療費等助成資格認定申請書を提出
- ・認定後、交付された受給券を医療機関へ提出

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
受給者数	人	867	816	860
対象者 1 人あたりの助成金額	円	115,329	122,626	115,000

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	101,620	0	42,327	0	0	59,293	
01年度 実績	101,624	0	43,780	0	0	57,844	
02年度 当初	110,034	0	55,181	0	0	54,853	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>1人あたりの助成金額は122,626円で、前年度と比較して7,297円増加しており順調です。

<原因>65才以上の受給者の増加に伴い、1人当たりの医療費が増えたため、助成金額も増加したと考え られます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数	件	1,952	1,833	2,050
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,594	1,568	1,610

事務事業名 地域生活支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	02	施策名	障がい者(児)福祉の充実				
基本事業番号	02	基本事業名	地域生活支援の基盤づくり				
計画年度	平成	20 年度 ~	———————————————————— 年度	事務事業整理番号	1065		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

障害者(児)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害のある人が、その有する能力や適性に応じ、自立した日 常生活又は社会生活を営むことができるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 に基づき実施します。 コミュニケーション支援事業 手話通訳者設置事業 日常生活用異給付等事業

移動支援事業

| を割えな事業 | 日中一時支援事業 | 訪問入浴サービス事業 | 成年後見制度利用支援事業 | 事前に利用申請を提出することにより事業利用を決定します。 | 利用した事業から自己負担分を差し引いた利用料を助成しま <u>す。</u>

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
地域生活支援事業の数	事業	13	13	13
成果状況 地域生活支援事業を利用することによって、自立した日常 生活を営みやすくなった者		523	261	261

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	33,752	10,017	4,952	0	0	18,783	
01年度 実績	36,051	10,067	5,034	0	0	20,950	
02年度 当初	48,199	23,818	11,970	0	0	12,411	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和元年度の地域生活支援事業の利用者は261人で、前年度と比較して262人減少しました。

<原因>利用者の集計を延べ人数から実人数に変更したため大幅に減少しました。実人数集計の場合、前年度は284人で23人の減少です。実人数減少の主な要因としては、日常生活用具の給付事業において、申請後に取下げがあった方が12人いました。また、他サービスへの移行による日中一時支援事業の利用終了が10人で、新規利用開始が2人だったため、利用者はやや減少しましたが、成果としてはほぼ横ばいと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数	件	1,952	1,833	2,050
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,594	1,568	1,610

事務事業名 福祉タクシー利用助成事業(地域生活)

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	どれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			
施策番号	02	施策名	並がい者 (児)福祉の充実				
基本事業番号	03	基本事業名	社会活動参加の促進				
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	279		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市福祉タクシー登録者(在宅の身体障害者手帳1・2 級、療育手帳A以上、精神障害者保健福祉手帳1級)

-意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害者の社会参加が進みます。

事務事業の内容、やり方、手順

登録者が利用したタクシー利用料金の一部を助成します。

事前に利用登録申請により登録認定を受けます。 登録認定後、利用したタクシーの領収書を申請書とともに提出 することにより、利用料金の一部を助成します。 利用制限等(年間48回、1回助成上限額1,000円)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
福祉タクシー助成登録者数	人	865	776	776
成果状況				
福祉タクシー助成対象者に対する福祉タクシー助成利用者 の割合	<u></u> %	28	25	25

事業費の推移 単位:千円

3-21/22 31-12							
年度	事業費	財源内訳					
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	1,208	0	0	0	0	1,208	
01年度 実績	1,093	0	0	0	0	1,093	
02年度 当初	1,372	0	0	0	0	1,372	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度の利用者の割合は25%で、前年度と比較して3%減少しました。

<原因>登録をしていても、乗合タクシーや他のサービスを利用する登録者がいるため、前年度と比較して利用者の割合はやや減少しましたが、年度推移を見ると成果はほぼ横ばいと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数	人	24	26	44
社会参加促進事業サービス利用割合	%	53.5	48.3	70

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			
施策番号	02	施策名	章がい者(児)福祉の充実			
基本事業番号	04	基本事業名	児童発達支援の充実			
計画年度	令和] 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1995	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害のある児童の生活能力の向上と自立を促進する。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、障害が疑われる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業です。

て、障害児週所支援を利用していた 【利用申請手順】 窓口にて申請 手帳のコピーか意見書を提出 サービス等利用計画の作成、提出 支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人		60	60
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人		86	86
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%		86.7	52
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%		84.9	73

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績	114,693	54,984	28,056	0	0	31,653	
02年度 当初	123,848	61,924	30,962	0	0	30,962	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 通所支援を利用した就学前の児童の割合は86.7%、通所支援を利用した就学後の児童の割合は84.9%です。令和元年度より、障がい者通所支援事業と事業を分離したため前年度との比較はできませんが、通所受給者証交付者の8割以上が通所支援を利用していることから成果は順調と言えます。

<原因>支給決定をしている児童の中で、学校や園での生活の充実を理由に利用に至らないケースもありましたが、 利用者への丁寧な相談対応に努めたため、8割以上の児童が通所支援を利用したと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
就学前の障がい児通所支援の利用者数	人	39	52	56
切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数		1	2	8

事務事業名 高齢者予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮ら	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	建康づくりの推進					
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実					
計画年度		年度 ~		事務事業整理番号	440			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

【インフルエンザ】接種日に 65歳以上の市民及び 60歳以上64歳までで心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障害(身体障害者手帳1級程度)を持つ市民 【肺炎球菌】年度内に65,70,75,80,85,90,95,100歳となる市民及びインフルエンザ と同様の方

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

接種費用の一部を助成することにより、インフルエンザ又は 肺炎球菌の予防接種を受ける市民が増え、感染予防対策とな ゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゚゚゚゙ヺ゚゚゙゚゙゙゚゚゚゙゚

事務事業の内容、やり方、手順

前年度末 医療機関と調整 4月 医療機関と契約 【インフルエンザ】

9月 対象年齢等の公告,対象者個別通知及び広報等の周知 1 0月1日~12月31日 個別予防接種の実施 助成額:1人年1回まで1,500円助成 対象者のうち生保世帯該

当者は全額助成 【肺炎球菌】

4月 対象年齢等の公告,対象者個別通知及び広報等の周知 4月1日~3月31日 個別予防接種の実施 助成額:1人1回限り2,000円助成 対象者のうち生保世帯該当

者は全額助成

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
高齢者インフルエンザ予防接種者数	人	8,365	8,956	8,700
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種者数	人	1,218	666	990
成果状況				
インフルエンザ予防接種を受けた高齢者の割合	%	48.2	51.2	50
肺炎球菌ワクチン予防接種を受けた高齢者の割合	%	32	23.4	35

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2	1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費	財源内訳					
平 及	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	17,031	0	0	0	0	17,031	
01年度 実績	16,473	0	0	0	0	16,473	
02年度 当初	17,362	0	0	0	0	17,362	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>30年度と比較して、インフルエンザ予防接種は、接種者数が591人、接種率が3%増加しました。肺炎球菌ワクチン予防接種は、接種者数が552人、接種率が8.6%減少しました。 く原因>いずれも予防接種法に基づくB類疾病で接種義務がなく、希望者による接種となっており、インフルエンザ接種者の大半がリピーターとなっています。肺炎球菌については、対象者が2巡目なので、意識の高い方は接種済みで対象外のため、伸び悩んでいると推測します。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
1 人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	3.71	4	3.8
		-		

さんぶの森元気館指定管理事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進				
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実				
計画年度	平成	22 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1197		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

「さんぶの森元気館」及び「利用者」

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 指定管理者による円滑な施設管理及び利用者ニーズに応じた サービスが提供され、利用者が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森元気館の管理運営について指定管理者に委任し、利用者ニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、指定管理者による管理運営の円滑化を支援します。

平成22年4月1日より指定管理者による管理運営開始 平成27年4月1日~令和2年3月31日 株式会社コナミスポーツ クラブに指定管理業務を委任 令和2年4月1日~令和7年3月31日 山武市元気づくりパート ナーズに指定管理業務を委任

- ・指定管理者との連携を図ります。 ・指定管理料及び市支出分修繕費等の支払いを実施します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開館日数	日数	303	262	210
健康づくりプログラムレッスンの開催回数	回数	3,414	2,894	2,280
成果状況				
市民の年間実利用者数	人	8,259	7,135	5,600

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	70,855	0	0	0	0	70,855	
01年度 実績	73,673	0	0	0	0	73,673	
02年度 当初	76,334	0	0	0	0	76,334	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市民の年間利用者数は、昨年度と比べ減少しています

<原因>9月10月に発生した台風と、コロナウイルス感染症対策での休館対応が原因だと思われます。

1 人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	30年度 3.71	01年度 4	<u>めざそう値</u> 3.8

さんぶの森元気館改修事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	建康づくりの推進				
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実				
計画年度	平成	27 年度 ~	令和 16 年度	事務事業整理番号	1843		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

「さんぶの森元気館」及び「利用者」

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

計画的な維持管理を実施することによって、維持費を最小限 に抑えるとともに、施設利用者にとって安全・快適な利用環 境を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

建築引渡日:平成17年1月

(1 : 1,274,000千円(税別) 造:S造 途:保健福祉施設 請負金額

耐用年数 : 34年 (期待耐用年数35年)

・平成27年10月作成の「さんぶの森元気館 長期修繕計画【平成27年(築11年目)~令和16年(築30年目)】を基にし計画的に改

像を実施します。 ・平成28年度以降、計画的に自主設計を行い、改修工事を実施

・令和2年11月~令和3年2月に大規模改修を行います。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
工事費総額(現年度)	千円	10,047	4,176	251,186
工事費累計総額(平成27年度~)	千円	41,514	45,690	296,876
成果状況				
進捗率(現年度)	%	93	100	100
進捗率(平成27年度~)	%	3.1	4	22.9

単位:千円 事業費の推移

3 71724 12							
左莊	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越 智
30年度 実績	21,711	0	0	10,400	1,264	10,047	
01年度 実績	10,776	0	0	0	0	10,776	
02年度 当初	251,186	0	0	218,300	24,306	8,580	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 指定管理者と連携し、早期対応に努めています。 < 原因 > 経年劣化による不具合箇所が増加しています。

1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位 項目 -	30年度	01年度 4	めざそう値 3.8

乳・子宮がん検診事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	されもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	建康づくりの推進				
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善				
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1091		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

子宮がん検診 20歳以上の女性市民 乳がん検診 30歳以上の女性市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

がん検診を受診し、自らの健康に関心を持ち、がんの早期発 見・早期治療で、健康の保持・増進ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

・集団検診(保健センター等) 周知方法: 広報・ホームページ掲載・保健事業案内等 申込方法: がん検診申込書又はFAXにより受付。 検 診 日:8月中旬から2月下旬の13日間実施(台風災害による振替日のため1日増)。 検診料金:乳がん(マンモグラフィー・エコー)1,200円子宮がん800円 ・個別検診(契約医療機関) 申込方法:電話または窓口で受付検診日:6月から2月に実施検診料金:マンモグラフィ2,100円・エコー1,800円・子宮がん2,100円・子宮がん2,100円・エコー1,800円・

子宮がん2,100円

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
子宮・乳がん検診車延稼動台数	台	49	51	44
要精密検査者への支援件数	人	227	165	220
成果状況				
20歳以上の子宮がん検診受診者数	人	2,983	2,603	2,600
30歳以上の乳がん検診受診者数	人	3,778	3,734	3,800

単位:千円 事業費の推移

年度	事業費			財源内訳	繰越額		
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	31,182	203	0	0	5,645	25,334	
01年度 実績	30,705	214	0	0	5,321	25,170	
02年度 当初	33,970	51	0	0	6,744	27,175	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

30年度と比較すると、受診者が乳がん検診44名、子宮がん検診380名減少しました。

子宮がん検診は国の指針に準じ2年に1回の受診を周知をしました。さらに、台風15号による災害により半日分の健診が中止となり振替日を1日追加しました。しかし、新型コロナウイルス感染症流行と重なり、受診者の減少に影響していると考えられます。今後もがん健診の必要性について周知していきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
特定健康診査受診率	<u></u> %	35.5	40.1	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	51.1	50.3	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	33.5	-	29

胃がん検診事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ままずくりの推進					
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善					
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1092			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|40歳以上の市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

がん検診を受診し、自らの健康に関心を持ち、がんの早期発 見・早期治療で、健康の保持・増進ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

. 医師会及び検診機関と事業計画等について協議。

2 . 周知方法: 広報・保健事業案内・ホームページ 3 . 申込方法: 保健事業案内にあるハガキ申込書・FAX等 4 . 検診通知: 検診 2 週間前に受診票を送付。 5 . 検診日: 大腸がん検診と併設して実施(日曜日開催あ

5.検診日:大腸かんはいこれに り)。 6.検診会場:成東・松尾・蓮沼保健センター、さんぶの森中 ウ・株的 (本育館) 央会館(体育館) 7.検診料金:1,200円 8.検査方法:胃透視撮影(バリウム使用)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
胃がん検診実施日数	日	14	13	13
要精密検査者への支援件数	件	58	62	150
成果状況				
胃がん検診受診者数	人	2,149	2,172	2,350
要精検と判定された受診者数	人	58	62	150

事業費の推移 単位:千円

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費 財源内訳						繰越額
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	9,582	0	0	0	0	9,582	
01年度 実績	9,867	0	0	0	0	9,867	
02年度 当初	10,641	0	0	0	0	10,641	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>30年度と比較しすると、受診者は23名増加しました。 <原因>がん検診受診のPRや、節目の方へ受診勧奨ハガキを送付するなどの啓発活動の成果が徐々に表れてきていることが考えられます。今後も受診勧奨のための働きかけを継続していきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	35.5	40.1	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	51.1	50.3	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	33.5	-	29

肺がん検診事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	れもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進				
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善				
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1093		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

40歳以上の市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

がん検診を受診し、自らの健康に関心を持ち、がんの早期発 見・早期治療で、健康の保持・増進ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

医師会や検診機関と事業計画について協議します。

. 周知方法:広報・保健事業案内・ホームページ掲載しま · 2 . す。

3 申込み方法: 当日申込み、昨年度受診者へは受診票送付し

9。 .検診通知:昨年度受診者へは、検診2週間前に受診票を送

4. 快診週知: 昨年度受診省へは、快診2週間削に3 付します。 5. 検診料金:無料 6. 日程: 7月~8月に実施します。 特定健康診査と同実施です。 7. 検診会場: 各保健センター等 8. 検査方法: 胸部X線を2人の専門医が読影します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
肺がん検診実施日数	日	24	24	26
要精密検査者への支援件数	件	82	71	100
成果状況				
肺がん検診受診者	人	6,891	7,204	7,600
要精検と判定された受診者数	人	71	64	100

事業費の推移 単位:千円

3 71724 17							
左庇	財源内訳 事業費 日本						繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越 智
30年度 実績	11,934	0	0	0	0	11,934	
01年度 実績	12,448	0	0	0	0	12,448	
02年度 当初	13,047	0	0	0	0	13,047	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>30年度と比較して、受診者数は313人(約4.5%)増加しています。 <原因>R1年度から、同時実施している特定健診で始めたAIを活用した受診勧奨により、対象者を6パターンに分類 し、パターン別の勧奨資材を用いて受診勧奨通知を実施したことが検診受診率向上につながったと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	35.5	40.1	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	51.1	50.3	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	33.5	-	29

大腸がん検診事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ままずくりの推進					
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善					
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1094			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

40歳以上市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

がん検診を受診し、自らの健康に関心を持ち、がんの早期発 見・早期治療で、健康の保持・増進ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

. 集団検診(保健センター等)

周知方法: 広報、保健事業案内、HP、40歳以上の節目年齢者 勧奨はがき等

申込み:保健事業案内に同封した申込葉書、fax、HP等通知:検診実施2週間前に、受診票と容器を郵送

照れ、快診実施 2 週間前に、支診宗と1 検診料金:300円 時期:6月上旬に胃がん検診と併設 検査方法:便潜血反応検査(2日間法) .個別検診(さんむ医療センター) 周知方法:広報、保健事業案内、HP等 申込み:電話、来所等

検診料金:500円

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
大腸がん検診実施日数	日	16	14	14
要精密検査者への支援件数	件	232	254	300
成果状況				
大腸がん検診受診者	人	3,606	3,553	3,900
要精検と判定された受診者数	人	232	254	300

単位:千円 事業費の推移

3 - 2 2 - 2 12							
左	財源内訳						4品土化安西
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	5,651	0	0	0	0	5,651	
01年度 実績	6,097	0	0	0	0	6,097	
02年度 当初	8,850	0	0	0	0	8,850	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>受診者数は30年度と比較して、53人減少していますが、個別大腸がん検診をR1年度から開始し受診出来る機 会を増やしています。

会を増いしている。。 <原因>がん検診受診勧奨として、40~65歳までの5歳刻みの年齢の方にがん検診案内はがきを送付していますが、 受診者の低下が続いています。高齢化が進んでいることも受診率の低下の要因と考えられます。また、R2年度も個別 大腸がん検診を実施していき、受診できる機会を引き続き増やしていきたいと思います。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	35.5	40.1	36.4
がん検診を年1回受けている市民の割合		51.1	50.3	53
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	33.5	-	29

妊婦一般健康診査委託事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進					
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理					
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	387			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|山武市に住所を有する妊婦

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・妊婦がきちんと妊娠早期から健診を受け、妊娠中を安全に 過ごし、安心して出産に臨むことができます。 ・健診を受けずに飛び込み出産をする人が出ません。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・妊娠届出をした妊婦に対し、母子健康手帳別冊1を交付 (医療機関委託妊婦一般健康診査票、14回分含む) ・県医師会他、妊婦一般健康診査可能な医療機関と委託契約
- (追加医療機関は随時契約) ・ちば県民保健予防財団と支払い事務委託契約 ・妊娠中に別冊の健康診査票を提示して、委託医療機関受診

- ・健康診査料請求

委託医療機関 の翌々月請求) ちば県民保健予防財団 山武市 (診査月

・健康診査料支払い 山武市 ちば県民保健予防財団 委託医療機関 契約不可の医療機関を受診した場合は償還払い手続き実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
妊婦1人当たりの公費負担回数	回	14	14	14
受診延べ件数	件	2,606	2,525	2,800
成果状況				
健康診査票の利用割合	%	88.6	77.8	80

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	19,293	0	0	0	0	19,293	
01年度 実績	19,722	0	0	0	0	19,722	
02年度 当初	20,672	0	0	0	0	20,672	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度の健康診査票の利用割合は77.8%で、前年度との比較して10.8ポイント減少してします。 <原因>健康診査票は妊婦全員が14回の受診券を利用したわけではなく、妊娠届出が遅れた方・転出・早産、また9 月、10月の災害等で受診できなかったことなどの理由で利用割合が減少したと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	97.4	93.5	95
乳幼児健診の満足度	%	94.2	95.1	94
幼児(3歳)のむし歯保有者率	%	23.5	14.7	16

乳児一般健康診查委託事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	ざれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進					
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理					
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	395			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|山武市に住所のある生後3か月~8か月、9か月~11か月の乳児

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・乳児が心身ともに健康を保持・増進できるようになりま
- 9。 ・乳児の病気の早期発見、早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・母子健康手帳発行の際に別冊(医療機関委託乳児 一般健康
- 診査受診票2回分含む)を配付 ・毎年4月に乳児一般健康診査実施可能な医療機関及びちば 県民保健予防財団と委託契約(追加医療機関は随時契約)
- 生後3か月~8か月、9か月~11か月に各1回、乳児一般健康 診查委託医療機関受診
- 結果を確認し、必要時地
- 療機関
 - 契約不可の医療機関を受診した場合は償還払い手続き実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
乳児1人当たりの公費負担回数	回	2	2	2
成果状況				
健康診査票利用割合	%	68.9	79.5	80
				-

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費		繰越額				
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	無限
30年度 実績	2,142	0	0	0	0	2,142	
01年度 実績	2,244	0	0	0	0	2,244	
02年度 当初	2,533	0	0	0	0	2,533	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況>令和元年度の乳児健康診査受診票の利用割合は79.5%、前年度と比較して10.6ポイント増加、順調です。< 原因>乳児訪問や乳児健診の際、保健師・助産師が健診の重要性を伝え、受診勧奨をしたことにより利用率が増加 したと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	97.4	93.5	95
乳幼児健診の満足度	%	94.2	95.1	94
幼児(3歳)のむし歯保有者率	%	23.5	14.7	16

事務事業名 小児予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせ	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進					
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理					
計画年度	平成	23 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1371			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・山武市に居住する7歳6か月未満児のうち、定期予防接種
- ・山武市に居住する小中学校の児童生徒の内定期予防接種 対象者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

予防接種率を維持・向上させることで、市での感染症の発生 を未然に防止できます。

乳幼児の予防接種 B型肝炎、Hib、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、日本脳炎、麻しん風しん混合、水痘、不活化ポリオ 令和2年10月よりロタウイルス感染症予防ワクチン開始。【周知方法】出生届時に予診票配布し、説明。はびねすと共同して、周知回数を増やす。保健事業案内、ホームページにて対象年齢、接種方法などを周知。新規予防接種は、広報とポスター周知もする。【実施場所】委託契約医療機関*児童生徒の予防接種*日本脳炎2期、二種混合 HDV/マー

日本脳炎2期、二種混合、HPV(子宮頸がん予防)【周知方法】保健事業案内、ホームページ周知するとともに、二種混合・日本脳炎は、学校を通じて予診票を配付【実施場所】委託契約医療機関

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
定期予防接種者数(麻しん・風しん混合 期、 期)	人	477	522	477
定期予防接種者数(児童生徒:二種混合、日本脳炎期)	人	586	657	496
成果状況				
接種を受けた児の割合	%	92.6	93.4	90
接種を受けた児童生徒の割合	%	83.4	91.1	73

単位:千円 事業費の推移

3.21222377								
年度	事業費	財源内訳						繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封	
30年度 実績	61,375	0	0	0	0	61,375		
01年度 実績	56,289	0	0	0	0	56,289		
02年度 当初	61,859	0	0	0	0	61,859		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉令和元年度の予防接種を受けた乳幼児の割合は、前年度に比較して0.8ポイント増加しています。また、児童生徒の割合は、7.7ポイント増加しています。一昨年度と比較しても、1.9ポイントの増加です。 〈原因〉乳幼児の予防接種については、出生時の説明のほか、未接種者へ他の母子事業や個別にはがき、電話により勧奨を行いました。台風やコロナ感染症などの災害のため、伸び率が少なかったと思われます。児童生徒の予防接種は、個別電話による勧奨に力を入れました。入電時間を工夫したことが成果につながったと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	97.4	93.5	95
乳幼児健診の満足度	%	94.2	95.1	94
幼児(3歳)のむし歯保有者率	%	23.5	14.7	16

地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	されもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ま 康づくりの推進				
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実				
計画年度	平成	1 22 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1290		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

さんむ医療センター

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) さんむ医療センターが実施する病院事業の安定した健全運営

事務事業の内容、やり方、手順

内容:さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にか

かる病院企業債の借入れ事務等 やり方:繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。 病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意をも らいます

らいます。 手順:【繰出し関係】予算要求 予算の確定 さんむ医療セン ターからの請求 支出伝票の起票 決裁 会計課へ伝票の送付 支出

【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請 します 市は県へ借入れの申請します ヒアリング 同意を得 ます 借入れ手続き 人金 さんむ医療センターへ貸付け さ んむ医療センターは借入証書を提出

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数(定例 会及び必要に応じ開催した会議回数)	回	27	15	12
成果状況				
評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数 (C及びD)	項目	2	0	0
さんむ医療センターへの繰出金	千円	336,828	355,648	400,097

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	336,828	0	0	0	7,579	329,249	
01年度 実績	355,648	0	0	0	7,582	348,066	
02年度 当初	400,097	0	0	0	5,845	394,252	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>さんむ医療センターへの繰出金は昨年度と比べ、18,820千円増加しています。 <原因>安定した健全運営のため繰出し基準に基づき適正に支出したためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域医療体制の充足度 	%	57.4	58.6	57

医学生奨学金等貸付事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	03	施策名	ま しゅう はんしゅう はんしゅん はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんし					
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実					
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1324			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|医学生(山武市に5年以上住所を有したことのある者)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

さんむ医療センターに勤務する医師が確保され、さんむ医療 センターの経営が安定化します。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療セッターの医師の確保を図るため、将来医師としてさんむ医療セッターの業務に従事しようとする医学生等に対し、修学に必要な奨学金・修学一時金を貸付。 【内容】 奨学金 大学1~6年生、臨床研修医又は大学院生、(1年度につき)2名・月額20万円を貸付。 修学一時金 大学1~6年生、(1年度につき)1名、上限1千万円を貸付。(返済有

リ) 【貸付条件】 【貸付条件】 山武市に5年以上在住したことのある者 奨学金の貸付期間をさんむ医療センターで勤務。 【免除】奨学金の貸付期間をさんむ医療センターで勤務した時、貸

付した奨学金の返済を免除。ただし、修学一時金は10年以内で 返済。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
奨学金の申請を受けた件数 (新規)	件	0	0	2
修学一時金の申請を受けた件数(新規)	件	0	0	1
奨学金を貸し付けした件数	件	3	3	5
	件	0	0	1

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
午 <u>吳</u>		国費	県費	地方債	その他	一般財源	無政領
30年度 実績	7,200	0	0	0	7,200	0	
01年度 実績	7,203	0	0	0	7,200	3	
02年度 当初	22,004	0	0	0	22,000	4	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>奨学金の新規申請者はいませんでした。

<原因>県内の高校に周知をしているため、制度の認知度は向上しつつあるものの、対象となる医学生が少ないた め、申請がなかったものと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	57.4	58.6	57
	<u> </u>			

看護学生奨学金貸付事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	れもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	03	施策名	津康づくりの推進					
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実					
計画年度	平成	23 年度 ~	————————————————————— 年度	事務事業整理番号	1468			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

看護学生 (大学看護学部・看護師養成所学生1~4年生、養成施設高等 学校1~5年生)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

さんむ医療センターに勤務する看護師が確保され、さんむ医 療センターの経営が安定化します。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療センターに勤務する看護師の確保を図るため、将来看護師としてさんむ医療センターの業務に従事しようとする看護学生に対し、修学に必要な奨学金を貸し付けます。 【内容】1年度につき20名以内、月額5万円を貸し付けます。 【対象を受けるとなるとして、日報のでは、「一個では、「一個では、「一個では、「一個では、」である。」 ・グターで勤務すること。 【償還免除】奨学金を貸し付けた期間(年数)をさんむ医療センターで勤務した時、貸し付けた奨学金の返済を免除します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
奨学金の申請を受けた件数 (新規)	件	8	12	15
成果状況				
以未 1人,				
奨学金を貸し付けた件数	人	25	29	43

事業費の推移 単位:千円

左	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	15,040	0	0	0	15,000	40	
01年度 実績	17,422	0	0	0	17,400	22	
02年度 当初	22,823	0	0	0	22,800	23	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 奨学金貸付制度利用者総数が増え、順調です。これにより地方独立行政法人さんむ医療センターへ勤務する看護師が確保できています。(令和元年度勤務者数40名)(令和2.3.31現在)) <原因 > 昨年と比べ、申請件数は増加しています。ホームページや広報誌、城西国際大学学校説明会等による奨学金制度の周知を図っているため貸付件数は平均的に安定化していると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	57.4	58.6	57

事務事業名 ちびっこ国際交流事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			
施策番号	04	施策名	子育ての支援			
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実			
計画年度	平成	26 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1875	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

幼児等(児童)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

幼児等が外国語にふれあうことで、国際的な文化や歴史への 関心が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

こども園等に通う幼児等が外国人の生の外国語に触れる機会を 提供することで遊びを通して外国語を学び、その国の文化・歴 史に興味を持つ事業を展開します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
外国語指導員数	人	2	1	1
成果状況				
保護者のこども園等に対する満足度	%	96.2	95.2	90

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	9,072	0	0	0	0	9,072	
01年度 実績	5,334	0	0	0	0	5,334	
02年度 当初	4,620	0	0	0	0	4,620	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 私立を含む市内9か所の保育所、幼稚園、こども園で各施設週1回、幼児たちが外国人の生の英語に触れる機会を提供しました。保護者対象のアンケート調査による満足度は95.2%です。 <原因 > 幼児期に外国語に触れる機会を提供することにより保護者の満足度が得られています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	82.2	87.9	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.7	94.6	97

まつおこども園移転整備事業 事務事業名

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	ごれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	04	施策名	子育ての支援				
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実				
計画年度	平成	29 年度 ~	令和 02 年度	事務事業整理番号	1958		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

まつおこども園の入園児童及びその保護者 一時保育利用者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

松尾・豊岡小学校の統合計画と並行し「まつおこども園」を 移転します。

事務事業の内容、やり方、手順

豊岡小学校閉校後(令和元年度)、既存校舎の改修を行い、 まつおこども園」として利用する計画です。 ・平成29年度 基本設計(9月補正) ・平成30年度 実施設計 ・令和元年度 改修工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数		2	7	0
工事件数		0	10	1
成果状況				
供用開始までの事業進捗率		66.6	100	100

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左帝	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	10,826	0	0	9,800	0	1,026	
01年度 実績	383,526	0	0	353,000	18,946	11,580	
02年度 当初	13,970	0	0	13,200	0	770	(15,515)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

まつおこども園改修工事を実施し、予定どおり令和2年3月末に移転を完了しました。

<原因>

工事の確実な進捗状況管理の実施と、保護者及び関係者への移転に関する説明を充実したことにより、移転を完了す ることができました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	82.2	87.9	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.7	94.6	97

事務事業名 訪問型病児保育利用助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり			
施策番号	04	施策名	子育ての支援			
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実			
計画年度	令和] 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号	2008	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|保育に欠ける保護者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

病気により保育園等に登園することが困難な時期に、訪問型病児保育サービスを利用する保護者に対し、費用の一部を助成することで、保護者の子育てと就労等の両立を支援します。

事務事業の内容、やり方、手順

病気により保育園等に登園することが困難な時期に、訪問型病 児保育サービスを利用する保護者に対し、費用の一部を助成し ます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
助成対象者数	人		0	20
成果状況				
助成額	千円		0	1,000

事業費の推移 単位:千円

左座	= ** #	財源内訳					Λ□ +# ☆∓
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	操越額
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初	1,000	0	0	0	0	1,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>新たに実施した事業のため、対象者への周知を行いましたが利用者はありませんでした。 <原因>訪問型病児保育に対する利用対象者の認知度が低いことが原因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	82.2	87.9	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	94.7	94.6	97

子育て支援センター運営事業 事務事業名

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持	って安心して暮らせる	るまちづくり			
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減	- 子育て不安の軽減				
計画年度	平成	22 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1392		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|在宅の乳幼児

乳幼児を在宅で保育している保護者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

子育て中の親子や妊婦が気軽に集い、子育てについて相談しています。また、保護者同士の交流もでき、安心して子育てができています。

事務事業の内容、やり方、手順

地域において子育で中の親子が気軽に集い、交流、リフレッシュできる集いの広場(親子交流の場)を設置し、子育で支援機能の充実を図ります。育児や発育発達等の相談を受付け、子育ての不安感を緩和し、子供の健やかな育ちを促進します。・親子・妊婦の交流の場の提供と促進・子育て等に関する相談・援助の実施・地域の子育て関連情報の提供・子育て及び子育で支援に関する講習会等の実施開設日:月~金(9:00~17:00)土(9:00~12:00)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
集いの広場開設日数	日	284	253	290
講習会開設日数		18	12	15
成果状況				
子育て支援センター利用者数	人	7,900	7,111	8,000
	件	153	94	100

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費		繰越額				
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此<u>以</u> 否 其
30年度 実績	16,664	5,554	5,554	0	100	5,456	
01年度 実績	13,043	6,522	6,521	0	0	0	
02年度 当初	2,021	667	667	0	0	687	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 子育て支援センターの利用者は、相談件数は昨年度に比べると減少しましたが、子育てに不安を持つ保護者等の子育て支援に一定の成果を上げていると考えます。 < 原因 > 台風等の災害により、子育て支援センターの開所期間が短くなったことが原因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者 の割合	%	98.7	99.3	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	88.6	87	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	90.6%	89.4%	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,777	4,280	3,200

子育て世代包括支援センター運営事業 事務事業名

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持っ	て安心して暮らせる	るまちづくり			
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減	- 一育て不安の軽減				
計画年度	平成	29 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1918		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内の妊産婦及び母子(未就学児)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

妊娠期から子育で期まで切れ目のない相談支援を行うことで、育児不安が軽減され、安心して出産・育児をすることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

開催回数:随時 開催場所:成東保健福祉センター 周知方法:山武市保健事業案内、市ホームページ、ポスター掲

周知方法:山武市保健事業条内、市ホームペーシ、ホスター掲載。チラシの配布。 事業内容:母子保健型。専任保健師を1名採用、兼任の保健師1名を配置、専門的な見地から母子保健に関する相談支援を実施。妊娠届出者の全数面接を行い、妊婦支援台帳、支援プランを作成し、個々に配付。必要に応じて、情報提供、母子保健サービスにつなぐ。出生後も全数に支援プランを作成し、必要に応じ見直しを行う。 心身の不調や育児不安があるなど手厚い支援を要する方は、要保護児童対策協議会のネットワークで対応

保護児童対策協議会のネットワークで対応。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
妊娠届出者数	人	244	235	280
親子の個別相談者数(交付時を除く電話と面談数)	人	1,541	1,675	1,500
成果状況				
妊婦面接割合	%	97.5	98.3	98
子育て世代包括支援センターを知っている人の割合	%	70.5	80	80

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費		繰越額				
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	3,501	1,145	1,145	0	0	1,211	
01年度 実績	3,921	1,286	1,286	0	0	1,349	
02年度 当初	801	246	246	0	0	309	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>R1年度の妊娠届出者は235人、委任状届出の4人以外は、子育て世代包括支援センター(はぴねす)で全数面接ができました。親子の個別相談(延数)は、家庭訪問110人、面接相談852人、電話相談713人と増加しました。はぴねすを知っている人の割合は、乳幼児健診の保護者で80.0%と前年度より9.5㎡か増加しています。 <原因>はぴねすはH29年7月に開設し、2年9か月が経過しました。母子事業を通じてあらゆる機会にPRし、子育てに何か困ったときの相談窓口として電話、面接を利用される方が増えたと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者 の割合	<u></u> %	98.7	99.3	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	88.6	87	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	90.6%	89.4%	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,777	4,280	3,200

事務事業名 産後ケア事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安	心して暮らせ	るまちづくり		
施策番号	04	施策名	で育ての支援				
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減				
計画年度	平成	30 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1967	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市に住民登録があり、産後に心身の不調、育児不安等がある 産婦(産後4か月未満)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等をきめ 細やかに行うことにより、産後うつを予防し、産後も安心し て子育てできるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

実施回数:随時 実施場所:利用者の住宅、医療機関、助産所等 事業内容:事業者と委託契約 利用申し込み受付 事前調査 利用の決定 事業者へ依頼 産後ケア事業の実施 事業者から の報告書及び請求書受理 事後調査 事業者へ委託料の支払い 宿泊型(医療機関、助産所等に利用者が宿泊) ディサービス型(日中医療機関、助産所等に利用者が来所) アウトリーチ型(助産師等が利用者の自宅に赴く)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
産後ケア事業利用者実人数	人	18	22	25
以未认几				
産後ケア事業利用者率	%	36	30.6	40

単位:千円 事業費の推移

2 - 2 2 - 2 2	<u> </u>						
年度	事業費		繰越額				
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	1,107	552	0	0	0	555	
01年度 実績	1,103	515	0	0	0	588	
02年度 当初	1,896	948	0	0	0	948	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 事業対象者となる支援が必要な産婦72人のうち、22人が利用しました。産後ケア事業利用者率は30.6%で前年度と比較すると、5.4ポイント減少しています。< 原因 > 産後ケア事業が必要と判断された妊産婦に対し、子育て世代包括支援センターの保健師等が個々に適したケアプランを作成し、サービスを案内しましたが、自己負担金が発生することや経産婦の利用希望が少なかったことが事業利用者率を減少させたと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者 の割合	%	98.7	99.3	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	88.6	87	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	90.6%	89.4%	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,777	4,280	3,200

母子家庭自立支援給付金事業 事務事業名

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	04	施策名	子育ての支援				
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助				
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	338		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

母子家庭の母 父子家庭の父

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

母子家庭の母及び父子家庭の父が、安心して子育てできる環 境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

母子家庭の母及び父子家庭の父の就労をより効果的に促進する ため、自主的に職業能力の開発を行う母子家庭の母及び父子家 庭の父に対し給付金を支給します。

歴いメに対し編刊並を又編します。 【自立支援教育訓練給付金事業】資格取得の教育訓練講座を受 講した母子家庭の母及び父子家庭の父に受講料の一部を支給し ます

ます。
・対象講座:雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座 就業に結びつく可能性が高い講座として国が定めるものです。 【高等職業訓練促進費事業】看護師や介護福祉士等の経済的自 立に効果的な資格取得のために1年以上修学する場合に支給し ます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
相談員による相談回数(随時)		5	2	8
成果状況 教育訓練講座・高等技能訓練を受講した母子家庭の母と父 子家庭の父の人数		3	4	4

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	2,852	1,352	0	0	0	1,500	
01年度 実績	3,171	977	0	0	0	2,194	
02年度 当初	3,951	2,963	0	0	0	988	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

受講者数は、教育訓練講座2人、高等技能訓練2人で、平成30年度より1名増加しており順調です。

<原因> 児童扶養手当の現況届認定通知に制度案内を同封して周知を図ることで、2件の相談から受講者の増加につながってい ます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	75,337	74,865	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	6.8	7.5	4.3

子ども医療費助成事業 事務事業名

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	子育て家庭への援助				
計画年度	平成	15 年度 ~	 年度		事務事業整理番号	428		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

中学校3年生までの子ども 中学校3年生までの子どもの保護者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育 てしやすい環境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用

の全部又は一部を助成します。 対象を中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用 の医療費及び保険調剤とし、個人負担として、通院及び入院 は、所得及び課税状況で無料又は1回300円とし、保険調剤は全

は、別待及び訴権がが、と無格をは「国300円とし、保険調用は主 額無料とします。 子どもの出生または転入(中学校3年生まで)により、山武市 民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加 入保険証(写し)を添付した申請を受け、受給券を発行しま す。(毎年、所得及び課税状況を確認し、負担金の有無を確認 するため、8月1日に切り替えを担ち無償化しています。)

令和元年8月診療分から個人負担を無償化しています。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
子ども医療費助成対象者数	人	5,138	4,918	4,800
医療費助成額	千円	116,073	116,185	130,333
	<u>千円</u>	116,073	116,185	136

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	米匹 賀
30年度 実績	120,700	0	35,720	0	1,336	83,644	
01年度 実績	120,701	0	39,746	0	876	80,079	
02年度 当初	134,601	0	35,777	0	934	97,890	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

医療費助成額が、平成30年度より112千円増加しましたが、順調です。

令和元年8月診療分から個人負担を無償化したことで医療費助成額が大きく増加するものと見込んでいましたが、少子 化による助成対象者の減少が影響して、助成額が微増となったと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	75,337	74,865	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	6.8	7.5	4.3

事務事業名 高校生等医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	子育て家庭への援助				
計画年度	平成	26 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1816			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

高校生等

高校生等の保護者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就 学・子育てをしやすい環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

18歳(高校3年生)に達する日以後の最初の3月31日までの就学している者の保険診療分の医療費を償還払いで助成します。令和元年8月診療分から個人負担を無償化しています。

(手順) (手順) 保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。 保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書 を受領します。

を受領します。 医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請し ます

ます。 市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
資格登録人数	人	922	892	865
医療費助成件数	件	4,485	5,223	4,494
成果状況				
資格登録率	%	70	71	70
助成実人数	人	598	607	617

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2							
左	事業費		繰越額				
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此50 合具
30年度 実績	8,120	0	0	0	0	8,120	
01年度 実績	9,506	0	0	0	0	9,506	
02年度 当初	8,403	0	0	0	0	8,403	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

資格登録率が前年度より1ポイント増加し、助成実人数が前年度より9人増加となり、順調です。

< 原因 >

少字化による対象者数の減少により資格登録人数が減少していますが、資格登録率は増加しています。令和元年8月診 療分から個人負担を無償化したことが影響し、資格登録率及び助成実人数が増加したと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	75,337	74,865	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	6.8	7.5	4.3

事務事業名 家庭児童相談事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	04	基本事業名	こどもの人権の尊重					
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	342		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

子育て中の保護者

地域住民(DV、児童虐待等の問題を相談をしたい方)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

子育ての不安を軽減することにより、適切な子育てができま す。

事務事業の内容、やり方、手順

庭児童相談室を設置し、非常勤職員の婦人相談員兼母子自立支援員(1名)、家庭相談員(3名)による下記の内容などの電話相談や家庭訪問、連絡調整等を行います。
・配偶者・恋人等からの暴力事例解決のため、被害者の相談を受け、生活の再建に向け支援
・生活困窮者の変に対しており、というない。

・児童虐待の防止や、早期発見のため地域関係機関と連携し、 子育てを支援

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
設置相談員数	人	4	4	5
山武市要保護児童対策支援会議開催回数		93	80	60
成果状況				
相談・訪問件数	人	2,667	2,278	2,125
相談や訪問により市として虐待の早期発見や未然防止として対応しているケース件数	人	91	71	80

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17								
左庇	声光弗	財源内訳						
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	9,081	2,797	325	0	0	5,959		
01年度 実績	8,758	2,886	160	0	0	5,712		
02年度 当初	6,272	2,458	1,839	0	0	1,975		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

平成30年度より、相談・訪問件数は389人減少し、ケース件数は20人減少となりました。

区長回覧を活用した各世帯への虐待防止の案内、各小中学校保護者への虐待防止の案内や民生児童委員を対象とした 虐待防止研修会の開催等による虐待予防及び少子化による対象人数の減少が相談件数、虐待ケース件数の減少に影響 したと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
児童虐待通告件数	件	91	71	-
児童に関する措置件数	件	1	2	

学童保育運営事業 事務事業名

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを打	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	04	施策名	子育ての支援					
基本事業番号	05	基本事業名	学童保育の充実					
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	344		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|小学1年生から小学6年生の児童です。

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

児童の居場所が確保され、保護者が安心して就労できます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の小学校に就学している児童で、その保護者が労働等により昼間家庭にいない者に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。利用希望者の申請に基づき、審査し利用の可否を決定します。利用決定者については、市内12箇所の学童クラブで放課後及び長期休業等に家庭の代わりに保育します。

利用料は1か月7,000円(8月のみ10,000円)(時間外および土曜学童利用選択時は1か月1,000円増額)。非課税世帯及び第2子以降については、利用料を減免し保護者の負担を軽減します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
学童クラブ利用決定児童数	人	450	441	484
利用申込書受付数	件	450	441	484
成果状況				
待機児童数	人	0	0	0

単位:千円 事業費の推移

2 - 2 2 - 2 2							
左	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	81,607	17,144	17,144	0	27,801	19,518	
01年度 実績	86,223	20,680	20,680	0	25,603	19,260	
02年度 当初	33,114	0	0	0	31,963	1,151	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和2年2月現在の全ての学童クラブが、待機児童なく定員内で運営しており、順調です。

待機児童が生じないよう小学校と連携しながら運営することで、学童クラブの適正な規模が確保されていると考えら れます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学童クラブの定員充足率	%	81.8	80.9	83.8

地域福祉活動推進助成事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	05	施策名	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進					
基本事業番号	01	基本事業名	地域福祉の担い手育成	型域福祉の担い手育成				
計画年度	平成	22 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1156			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民(市民活動を実施する団体)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域で相互扶助できていると思う市民を増やし、住んでいる 地域それぞれの地域課題を市民自らの手で解決できるように なります。

事務事業の内容、やり方、手順

(内容) 市民活動を行う団体が実施する地域福祉事業に要する経費の 部を助成する。

(やり方)

予算の範囲内において助成対象事業に要する経費の10分の 10以内とし、1団体につき150千円を上限とします。

(手順) 事業の決定にあたっては、申請団体からの交付申請書の受理 及び山武市地域福祉計画推進委員会へのプレゼンテーション等 を経て、同委員会によって決定されます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
地域福祉活動推進助成金の申請受付件数(件)	件	5	6	8
111. *** 1/1/11.				
地域福祉活動推進助成金を活用した実施事業数(件)	件	5	6	8

単位:千円 事業費の推移

2 - > - > - - -									
年度	事業費		財源内訳						
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額		
30年度 実績	750	0	0	0	750	0			
01年度 実績	890	0	0	0	890	0			
02年度 当初	1,200	0	0	0	1,200	0			

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 毎年活動している5団体に加え、新規の1団体の増加しました。

< 原因 > 新規の団体は、例年台風や豪雨の被害が出てることから地域防災の意識が高まり、高齢者の交流サロンを含め地域防災の意識が高まり地域活動団体として新規に活動を始めたことだと思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割 合	%	10.8	12.4	12
福祉活動の市民活動団体の加入者数	人	1,498	1,478	1,500

事務事業名 障がい者スポーツ選手等講演会開催事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	05	施策名	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進				
基本事業番号	01	基本事業名	地域福祉の担い手育成	は域福祉の担い手育成			
計画年度	平成	27 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1853		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民、関係団体、市職員

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

講演会等を通じ、障がい者や障害者スポーツに対する市民等の意識を変容を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

千葉ボッチャ協会をはじめ、その他障害者スポーツに関わりのある団体の選手や代表者に講師となってもらい、講演会を実施すると共に、状況に応じて障害者スポーツの体験交流会を併せて実施します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
講演会等実施回数		1	1	1
成果状況				
講演会等参加者人数	人	70	41	80

事業費の推移 単位:千円

左	声		繰越額				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	18	5	0	0	0	13	
01年度 実績	63	27	0	0	0	36	
02年度 当初	116	57	0	0	0	59	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度と比較して、29人減少しています。

<原因>企画から開催までの期間が短く、十分に周知できる時間が取れなかったため、人数は減少したと思われま す。

地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割	単位	30年度	01年度	めざそう値
合	<u></u>	10.8	12.4	12
福祉活動の市民活動団体の加入者数	人	1,498	1,478	1,500

事務事業名 障がい者スポーツ審判資格等取得事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	05	施策名	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進				
基本事業番号	01	基本事業名	地域福祉の担い手育成				
計画年度	平成	27 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1854		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市職員、関係団体

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

ボッチャをはじめ、オリパラに関わらず、その他障害者スポーツの講習会や審判員の講習会を受講することにより、市主催で障害者スポーツの大会等を実施することが出来ます。 また、障害者と健常者の交流を図る機会をつくることが出来ます。

事務事業の内容、やり方、手順

関係各課や千葉ボッチャ協会のような障害者スポーツ団体等から講習会等の開催について情報提供を受け職員等に対し、本事業の周知を図り、参加希望者を募集します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
講習会等 参加回数		1	1	1
成果状況				
以未外儿				
講習会等の参加・出席人数	人	22	19	15

事業費の推移 単位:千円

左	車光弗	財源内訳					
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	30	15	0	0	0	15	
01年度 実績	30	15	0	0	0	15	
02年度 当初	50	25	0	0	0	25	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度と比較して、3人減少しています。

<原因>前年度は民生委員や福祉事業所職員の参加がありましたが、今年度は市職員のみしか参加者がなかったため 減少していると思われます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割 合	%	10.8	12.4	12
福祉活動の市民活動団体の加入者数	人	1,498	1,478	1,500

社会福祉協議会補助事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きか	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進				
基本事業番号	02	基本事業名	社会福祉機関・	社会福祉機関・団体の充実				
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	298		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|社会福祉法人 山武市社会福祉協議会

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市内における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、 地域福祉の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市社会福祉協議会に運営費補助として補助金を交付する。

はいれる個性の機会に 社協職員人件費 ボランティア活動促進事業 法人運営事業 心配ごと相談事業 社会福祉と会

福祉まつり ふれあいいきいきサロン

がれるけいさいさりログ 配食サービス事業 住民参加型在宅福祉サービス事業 後見支援センター事業

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
社会福祉協議会で実施する事業の事業数	事業	35	34	35
各種事業の参加人数	人	32,767	27,406	33,000

単位:千円 事業費の推移

3 71724 12							
左莊	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此公召其
30年度 実績	91,366	0	0	0	0	91,366	
01年度 実績	94,434	0	0	0	4,869	89,565	
02年度 当初	97,492	0	0	0	5,615	91,877	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

事業の参加者数が前年度と比べ5,361人減少してしまいました。

<原因>

台風15号等の災害により健康福祉まつりの中止、コロナウィルスの影響による年度末の事業の中止が要因です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	人	32,767	27,406	33,000
民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数	日	99	94	90

生活困窮者自立相談支援事業 事務事業名

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティーネットの推進				
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実	上活困窮者自立支援の充実			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1823		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

生活困窮者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、 生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、 生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、 ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、 自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。

上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
相談件数	件	180	186	240
成果状況 相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施 件数の割合	%	5.6	6.5	24

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1							
左	事業費	財源内訳						
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	12,238	8,447	0	0	0	3,791		
01年度 実績	16,348	12,621	0	0	0	3,727		
02年度 当初	18,702	13,515	0	0	0	5,187		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

新規相談者のうち自立支援法に基づく支援実施の割合は、6.5%となり増加しました。

相談員数を1名増加したことにより、相談者の状況に応じ適正な支援が実施されたことによるものです。

生活困窮者相談件数	単位	30年度	01年度	めざそう値
	件数	1,439	2,028	1,520

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり				
施策番号	05	施策名	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進				
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施	生活保護制度の適正な実施			
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	302		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

生活保護受給者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 生活保護法に基づいた最低限度の生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長する。 <保護の種類>

生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業 扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、保護施設事務 費及び委託事務費

事業活動と成果活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
生活保護申請件数	件	68	68	74
生活保護開始件数	件	56	62	60
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	320	349	350
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立に よるものの世帯数		9	11	9

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	626,764	467,029	12,728	0	12,041	134,966	
01年度 実績	670,685	492,792	14,215	0	8,196	155,482	
02年度 当初	691,506	518,015	0	0	818	172,673	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和元年度の生活保護受給世帯数は349世帯で、前年度と比較して29世帯増加していますが、概ね順調です。

<原因 >

高齢化の進展により、高齢者世帯の受給が増加したことによります。

自立による生活保護廃止件数	件	9	01年度 11	めざそう値 9

市営白幡住宅施設管理運営事業 事務事業名

都市建設部 都市整備課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
施策番号	05	施策名	也域福祉の充実とセーフティーネットの推進					
基本事業番号	05	基本事業名	公営住宅の維持管理					
計画年度	昭和	144 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	660			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・白幡住宅入居者
- ・管理戸数87戸

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

・入居者のよりよい居住環境維持することにより、入居者が 安全な住居で生活することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

- . 全体の管理、修繕・管理人等からの連絡・職員による巡回
- 2.市営住宅管理人を置く
 - ・入居者から1名
 - 入居者と市の連絡調整等
- ・団地内のとりまとめ
 3 ・主な施設の通常管理、
- ・合併浄化槽保守点検及び汚泥引抜業務の委託

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
修繕要望件数	件	5	10	10
成果状況				
修繕率	%	100	100	100

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費 財源内訳						繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	11,938	0	0	0	11,920	18	
01年度 実績	6,183	0	0	0	6,183	0	
02年度 当初	11,234	0	0	0	11,234	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>住宅入居者から修繕の要望が10件あり、10件とも年度内に修繕を完了しており順調です。

<原因>住宅入居者から修繕の要望を受け、現地調査を行い修繕を実施していることから、適切に対応したと考えら れます。

公営住宅入居率	<u>単位</u> %	94.8	90.2	めざそう値 98.5

小学校生活指導補助員等派遣事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	763

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|小学校内の生活や学習において特別な配慮を必要とする児童

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

特別な配慮を必要とする児童が,支援により充実した学校生活を送るとともに,自分のニーズにあった学習に取り組むことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

特別な配慮を必要とする児童の生活支援や学習支援を補助す

行別は配慮を必安とする元皇の主活又接で子自又接を補助するため、支援員を配置しました。 市内12小学校に28名の支援員を配置しました。 支援員のための研修会を年間2回開催しました。 上記研修書が勤務時間となるため、支援員に時間外勤務 手当と旅費を支給しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
配置されている介助員数	人	26	28	28
介助員研修会の回数		3	2	3
成果状況 介助員が付いている児童数÷介助を必要としている児童数 (%)	%	44	44	80

事業費の推移 単位:千円

3-7K3-17							
左	財源内訳 手度 事業費						繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	30,450	0	0	0	0	30,450	
01年度 実績	31,093	0	0	0	0	31,093	
02年度 当初	93	0	0	0	0	93	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度に比べ、成果指標の割合を維持しました。。 < 原因 > 特別な配慮が必要な児童が減少し、支援員の配置について増員したためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	59.7	-	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	51.5	-	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	36.2	35	50

中学校生活指導補助員等派遣事業 事務事業名

教育部 学校教育課

3771 3 Mi 3 17 1371						
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			
計画年度	平成	は 20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	827	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|中学校の生活や学習において特別な配慮を必要とする生徒

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

特別な配慮を必要とする生徒が,支援により充実した学校生活を送るとともに,自分のニーズにあった学習に取り組むことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

特別な配慮を必要とする生徒の生活支援や学習支援を補助す

行別は配慮を必安とする主徒の主活又接で子自又接を補助するため、支援員を配置しました。 市内4中学校に4名の支援員を配置しました。 支援員のための研修会を年間2回開催しました。 上記研修費が勤務時間となるため、支援員に時間外勤務 手当と旅費を支給しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
配置されている介助員数	人	4	4	4
介助員研修会の回数		3	2	3
成果状況 介助員が付いている生徒数÷介助を必要としている生徒数 (%)	%	38.4	40	45

事業費の推移 単位:千円

左麻	財源内訳						4号 土代 安西
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	5,456	0	0	0	0	5,456	
01年度 実績	4,687	0	0	0	0	4,687	
02年度 当初	88	0	0	0	0	88	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	<u></u> %	59.7		60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	51.5	-	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	36.2	35	50

少人数指導授業推進事業 事務事業名

教育部 学校教育課

3771 3 Mi 3 177371						
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			
計画年度	平成	は 20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	928	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

児童

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

少人数指導授業など個に応じたきめ細かな指導を行うことに より、児童の学習意欲の向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内小学校の児童の学習意欲・学力向上を図るため、個に応じた授業(少人数指導授業)をより多く受けられるよう、市独自に非常勤職員を講師として採用、学校に配置します。講師が教員の補助をすることにより、1学級2人の教師で児童生徒によりきめ細かな指導・支援が行えるようにします。

【手順】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度以降 6名の講師を6校に配置。 7名の講師を7校に配置。 7名の講師を7校に配置。 7名の講師を7校に配置。 毎年1名ずつ増員し、小学校全校配置をしていきます。

8名の講師を8校に配置 令和元年度

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
市独自採用の少人数指導講師数	人	7	8	10
成果状況 配置希望校に対して市独自採用の少人数指導講師を配置し た割合	%	53.8	66.7	83.3

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費 財源内訳						繰越額
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	8,867	0	0	0	0	8,867	
01年度 実績	9,982	0	0	0	0	9,982	
02年度 当初	113	0	0	0	0	113	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

各学校のよりきめ細やかな学習支援を行いたいという要望が高くなってきています。そのため昨年度7名配置だっ た、少人数指導講師を今年度は、8名に増員しました。

少人数指導講師の配置を増加させるための努力を継続してきました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	59.7		60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	51.5	-	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	36.2	35	50

外国人英会話授業支援事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	929	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

児童・生徒

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

ネイティブスピーカーであるALTと授業を行うことにより、英語の発音を含め、外国の文化や風習など異文化に直接触れることができ、異文化理解や国際感覚を持った子供たち が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

ネイティブスピーカーであるALT(外国語指導助手)を 小・中学校に配置し、中学校の英語授業や小学校の総合的な学 習の時間で行われる英語活動で日本人教師とともに授業を行い |ます。 |よす。 | 各小・中学校とも最低限週1回配置します。

・3月・4月

• 2月

A L T配置校の決定 A L Tの授業開始 A L Tの勤務状況調査開始(以後毎月) A L Tとの授業の成果等についてアンケート調査

を実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
ALTを配置した学校数	校	19	17	17
成果状況 児童・生徒が『ALTの授業・英語活動を楽しみにしてい る』と回答した教職員の割合	%	87	87	80

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	声	事業費 財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	28,836	0	0	0	0	28,836	
01年度 実績	29,103	0	0	0	0	29,103	
02年度 当初	29,370	0	0	0	0	29,370	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

市内すべての小中学校にALTが計画的に配置されています。学習意欲が向上している児童生徒の割合は87%です。

<原因>

市内小学校に6名のALTを配置し、電子黒板や視聴覚機材などICT機器等を利用した工夫された授業が行われていることや、給食の時間や休み時間など、授業以外の交流も増え、ALTと児童生徒がコミュニケーションを図る機会が増えたことが学習意欲の向上につながっていると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	<u></u> %	59.7		60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	51.5	-	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	36.2	35	50

英語教育推進事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1903

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内小中学生

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

異文化の学びを通して英語への興味関心を高めることによ り、コミニュケーション力が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

【小中学校】

- ・異文化理解特別授業 【中学校】
- ・英検集中講座
- ・市内中学生に英語検定受験者への補助(全額)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
英検を実施した学校数	校	6	5	5
成果状況				
中学校卒業時の英語検定3級以上取得割合	%	36.2	35	50

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 <u>此</u> 公司
30年度 実績	8,106	0	0	0	0	8,106	
01年度 実績	8,304	0	0	0	0	8,304	
02年度 当初	7,947	0	0	0	0	7,947	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

中学校3年生の3級以上の取得割合が平成30年度より1.2%下がりました。

市内中学生に英語検定3回中の1回受験料の全額補助を行い、英語検定対策講座を年間3回開設することは定着してきました。各学校で、準会場としての受験の回数を増やすことや英語力アップ講座への参加者を増やすことで向上すると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	<u></u> %	59.7		60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	51.5	-	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	36.2	35	50

児童健康安全管理事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	02	基本事業名	「健やかな体」の育成			
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	765	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市内小学校児童

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) すべての対象児童が各健康診断等を受診し、健康管理ができ ます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・各小学校において内科健診・歯科健診・耳鼻咽喉科健診を実 施しました
- ・児童が学校集団健康診断を受診し、市がその費用を負担しま
- した。 健診項目 心電図検査 585件 尿検査 1,967件 モアレ検査 335件 低線量 X 線検査 31件

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
検査受診人数(尿検査)	人	2,076	1,967	2,114
健診実施数	種類	4	4	4
成果状況				
健診受診率	%	100	100	100
再検査および精密検査が必要な児童数	人	62	61	35

事業費の推移 単位:千円

左麻	事業費		4号 土代 安吾				
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	10,753	0	0	0	0	10,753	
01年度 実績	9,899	0	0	0	0	9,899	
02年度 当初	10,631	0	0	0	0	10,631	(93)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 順調 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>児童が健康に学校生活を過ごすことができました。活動指標の実績は前年度と同様の数値になっており、順

	単位	30年度	01年度	めざそう値
生活習慣の改善に努めた生徒の割合	%	-	28.7	30
朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	%	80.9	78.5	85

事務事業名 生徒健康安全管理事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	ዸ校教育の充実			
基本事業番号	02	基本事業名	「健やかな体」の育成			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	823	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市内中学校生徒

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) すべての対象生徒が各健康診断等を受診し、健康管理ができ ます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・各中学校において内科健診・歯科健診・耳鼻咽喉科健診を実施しました。
- ・生徒が学校集団健康診断を受診し、市がその費用を負担しま

した。 健診項目 心電図検査 358件 尿検査 1,087件 モアレ検査 361件 低線量 X 線検査 81件

低線量X線検査 81件 貧血検査 311件 生活習慣病予防健診 311件 (追加項目HbA1c、LDLコレステロール)

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
検査受診人数(尿検査)	人	1,138	1,087	1,240
健診実施数	 種類	5	5	5
成果状況				
健診受診率	%	97	98	100
再検査および精密検査が必要な生徒数	人	102	120	100

事業費の推移 単位:千円

2 - 2 2 - 2 2	<u> </u>						
左	事業費	財源内訳					
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	6,728	0	0	0	0	6,728	
01年度 実績	6,267	0	0	0	0	6,267	
02年度 当初	7,609	0	0	0	0	7,609	(57)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>生徒が健康に学校生活を過ごすことができました。活動指標の実績は前年度と同様の数値になっており、順調です。

III こう。 <原因>すべての対象生徒の健診を行うことで、適切な健康管理ができるからです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
生活習慣の改善に努めた生徒の割合	%	-	28.7	30
朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	%	80.9	78.5	85

不登校対策推進事業 事務事業名

教育部 学校教育課

3711 3 Mil 3 171371								
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
施策番号	01	施策名	全校教育の充実					
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む	「豊かな心」を育む				
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	930			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内小中学校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

長期欠席児童生徒やいじめ等の減少または解消を図ることに より、学校教育が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

児童生徒が悩み等を気楽に話せ,ストレスを和らげることのできる第三者的存在として「心の教室相談員」を配置します。 市内の中学校 5 校・小学校 1 1 校に各校 1 名の「心の教室相談員」を配置します。 「心の教室相談員」が参加する研修会を年 3 回開催しま

各相談員ごとに相談の内容や相談件数・相談人数等を集約 します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
「心の教室相談員」配置学校数	校	16	16	16
######################################				
成果状況				
「心の教室相談員」への相談回数	回	8,687	8,696	5,000

事業費の推移 単位:千円

左	事業費 財源内訳						4品土代安百
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	7,455	0	0	0	0	7,455	
01年度 実績	7,822	0	0	0	0	7,822	
02年度 当初	81	0	0	0	0	81	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<成果>相談件数は学校によってばらつきがあるものの、週に3日勤務のある心の教室相談員は児童生徒との距離も近く、悩みを相談しやすい身近な人という役割が定着してきています。<原因>心の教室相談員の存在が不登校の解消に貢献しているのも事実ですが、不登校児童生徒の割合がR1年度に改善が見られたのは、緊急事態宣言に伴い学校が1ヶ月臨時休校になり、欠席数が30日を越えなかった児童生徒がいるからである可能性が高く、決して状況が改善しているわけではありません。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不登校児童の割合	<u></u> %	1	0.51	0.45
不登校生徒の割合	%	5.2	4.2	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	95.8	93.7	97

学びを広げる学校図書館づくり事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1827

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内小中学校の児童・生徒

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

図書に親しむ環境や機会を充実させ、学びの幅を広げると ともに、豊かな心が育くまれます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校図書室の環境などをより一層向上させるため、図書支援員(司書)2名を雇用し、各学校を巡回し各種支援(初夏整理、お話し会、図書の紹介、図書委員との交流活動)を行いま した。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
図書支援員数	人	2	2	2
年間支援日数	日	272	284	300
成果状況				
図書室に行くようになった児童生徒の割合	<u></u>	24.7	29	30

事業費の推移 単位:千円

左	事業費						4品土代安百
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	1,905	0	0	0	0	1,905	
01年度 実績	1,975	0	0	0	0	1,975	
02年度 当初	87	0	0	0	0	87	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度に比べ、活動回数及び成果指標が増加しました。 <原因 > 室内環境の向上や、図書の紹介等により、子どもたちの図書室の利用増加につながったと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	1	0.51	0.45
不登校生徒の割合	%	5.2	4.2	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	95.8	93.7	97

事務事業名 一校一国運動事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		_	
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1856

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内小・中学生

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市内小・中学生が,文化や言語等を調べ触れることで,異文 化を理解し,グローバル社会の中で他者を尊重することので きる国際人としての資質を育みます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 校,一国(一地域)を決めます。 その国の文化や言語等を調べます。 (異文化を理解します。) 外国・外国人との交流を行い,他者と関わります。 (他者を認めます。)
- 日本(地域)の未来について考えます。 (自分を理解します。) 未来の地球,これから進むべき地球について考えます。 (多様性を認めます。)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
児童生徒数	人	3,262	3,085	3,096
成果状況				
一国(一地域を)調べることができた学校数	校	19	17	17

単位:千円 事業費の推移

3-21424-12							
年度	事業費	財源内訳					
十. 上. 一. 	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	276	138	0	0	0	138	
01年度 実績	324	162	0	0	0	162	
02年度 当初	488	244	0	0	0	244	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

市内小中学校17校すべての学校が一つの国(地域)を調べたり、講師による講話や体験活動を行うことができ、 順調です。

<原因>

市内すべての小中学校が計画的に、工夫して取り組んだ結果、スリランカをはじめとする様々な国(地域)の特徴や文化等に触れる機会を創出することができました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	1	0.51	0.45
不登校生徒の割合	%	5.2	4.2	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	95.8	93.7	97

イングリッシュカフェ開催事業 事務事業名

教育部 学校教育課

3771 3 Mil 3 177377						
政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1857	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内小中学生

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

英語の発音や外国文化や習慣など異文化に触れることで、国際感覚のある子どもが育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

ALTによる英語教室やイングリッシュカフェの開催など外国 語に触れる機会や場所を提供します。 1 小学校において、放課後に英語教室を開催(2学期) 2 中学校において、夏季休業中にイングリッシュカフェを開

催(8月中)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
事業実施学校数	校	4	3	3
成果状況 ALTとの英語教室やイングリッシュカフェに参加した児 童生徒数		308	75	85

単位:千円 事業費の推移

3-21/22 31-12							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	32	0	0	0	0	32	
01年度 実績	23	0	0	0	0	23	
02年度 当初	23	0	0	0	0	23	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

ÄLTと交流する英語教室やイングリッシュカフェに参加した児童生徒数が平成30年度より233人減少していま す

す。 <原因>

| 昼休み、夏季休業等を利用して英語教室やイングリッシュカフェを開催しています。各学校で工夫した内容を行っていますが、学校規模や対象とする学年の児童生徒数が要因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	1	0.51	0.45
不登校生徒の割合	%	5.2	4.2	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	95.8	93.7	97

ダンス教育推進事業 事務事業名

教育部 学校教育課

37713						
政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	03	基本事業名	「豊かな心」を育む			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1906	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内小中学生

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 体力が向上するとともに表現力・達成感・郷土愛が育成され ます。

事務事業の内容、やり方、手順

市共通のダンスプログラムを各小中学校に提供し、学校行事等を活用してダンスを展開します。 その課程を通して表現力・達成感・郷土愛・体力向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

30年度	01年度	02年度
18	16	17
<u> </u>		
95	94	100

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	<u> </u>						
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 及	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公司
30年度 実績	1,554	0	0	0	0	1,554	
01年度 実績	1,163	0	0	0	0	1,163	
02年度 当初	1,400	0	0	0	0	1,400	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>山武市オリジナルダンスは、市内小中学校17校で16校において運動会や体育祭、学校行事で実施されていま

入がから、日本は日本のようである。 す。 <現因>実施できていない中学校1校については、体育祭で地域住民と一緒に発表できる踊りを実施しており、体育祭の中で山武市オリジナルダンスを付け加えることは難しいとしています。保健体育の授業では練習もしており、中止となったダンス発表会の中学校の部があれば披露する機会も設定できました。17校全校で山武市オリジナルダンスが披露される機会が提供されるよう、各校へ依頼を継続していきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	1	0.51	0.45
不登校生徒の割合	%	5.2	4.2	3.73
道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	%	95.8	93.7	97

中学校情報化教育環境整備事業 事務事業名

教育部 学校教育課

37713						
政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	全校教育の充実			
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践			
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1407	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

中学校生徒

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

パソコン及び周辺機器が整備され、授業での有効活用が図ら れます。

事務事業の内容、やり方、手順

中学校の情報教育を円滑に行えるよう、中学校へパソコンや情報機器を整備し、維持管理をしました。 無線LANの老朽化に伴い更改を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
パソコン等情報機器の保守点検の実施回数	回	12	12	12
成果状況				
故障件数	件	20	20	30

事業費の推移 単位:千円

左	事業費 財源内訳						繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	米匹 賀
30年度 実績	23,940	0	0	13,300	4,477	6,163	
01年度 実績	20,774	0	0	12,700	4,313	3,761	
02年度 当初	16,613	0	0	9,400	3,165	4,048	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 遅延あり 順調 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

成果指標の実績が前年度と比べて横ばいです。

<原因> 適切に運用は行っていますが、機器のため一定数の不具合は発生しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	52.2	50.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	40	38.1	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	41.1	46.9	50

小学校情報化教育環境整備事業 事務事業名

教育部 学校教育課

37713						
政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	全校教育の充実			
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践			
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1452	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

小学校児童

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

学校環境にあったパソコン及び情報機器が整備され、授業で の有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校の情報教育を円滑に行えるよう、小学校へパソコンや情報機器を整備し、維持管理をしました。 無線 L A N の老朽化に伴い更改を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
パソコン等情報機器の保守点検の実施回数	回	26	24	26
成果状況				
	<i>14</i> -	0.5	47	40
故障等件数 	<u>件</u> ————	65	47	40

単位:千<u>円</u> 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深起 領
30年度 実績	44,790	0	0	25,500	8,516	10,774	
01年度 実績	30,212	0	0	16,900	5,686	7,626	
02年度 当初	36,686	0	0	17,500	5,948	13,238	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 遅延あり 順調 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

成果指標の実績が前年度と比べて減少しています。

<原因> 適切に運用は行っていますが、機器のため一定数の不具合は発生しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	52.2	50.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	40	38.1	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	41.1	46.9	50

事務事業名 教育情報機器管理事業

教育部 学校教育課

37113 Mi 3 171371						
政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	全校教育の充実			
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践			
計画年度	平成	25 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1719	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

小中学校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

小中学校の情報機器と情報資産が支障なく利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

小中学校の情報資産の管理を効率化し、セキュリティの高い環境を構築した、クラウド環境での運用を行いました。 また、各ICT機器の維持管理を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
センターサーバ・各システム等の保守点検の実施回数		10	10	10
障害発生件数	回	0	0	0

事業費の推移 単位:千円

左	財源内訳						4品土代安石
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	28,043	0	0	0	0	28,043	
01年度 実績	78,995	0	0	0	0	78,995	
02年度 当初	481,352	0	0	0	448,966	32,386	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>本年度も障害は発生していません。 <原因>適切に保守管理が実施されています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	52.2	50.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	40	38.1	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	41.1	46.9	50

ICTサポート事業 事務事業名

教育部 学校教育課

37713						
政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践			
計画年度	平成	26 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1787	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整います。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣

しました。 平成26年度1月から開始し、外部人材を派遣しました。

平成26年度1月から開始し、アロウスタを加速します。 派遣回数 平成26年度: 7回×19校 平成31年度:16回×17校 平成27年度:40回×19校 平成32年度:20回×17校 平成28年度:29回×19校 平成29年度:28回×19校 平成30年度:18回×19校 以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
	18	16	16
%	75.7	81	85
		回 18 ————————————————————————————————————	<u>18</u> 16

事業費の推移 単位:千円

左	車光弗	財源内訳					
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	8,680	0	0	0	0	8,680	
01年度 実績	6,967	0	0	0	0	6,967	
02年度 当初	7,480	0	0	0	0	7,480	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>成果指標が前年と比べ、5.3%向上しています。 <原因>ICT支援員の支援により、授業でのICT機器活用が定着しているためと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	52.2	50.5	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	40	38.1	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	41.1	46.9	50

小学校トイレ環境整備事業 事務事業名

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	証を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
施策番号	01	施策名	学校教育の充実					
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	教育環境の整備				
計画年度	平成	28 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1216			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|小学校12校のうち校舎の改修予定校:7校(成東小・大富小・ 南郷小・緑海小・鳴浜小・睦岡小・山武北小)及び体育館の 改修予定校:2校(大富小・大平小)に通う児童や教職員、保 護者等

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

児童や教職員、保護者等にとって安心できる環境になりま す。

事務事業の内容、やり方、手順

イレ環境が旧式のままで現代の基準の仕様に合わせるた トイレ環境が旧式のままで現代の基準の仕様に合わせるにめ、改修が必要な学校の校舎や体育館のトイレを順次改修します。改修内容は、トイレ床面を湿式から乾式への変更、洋式便器(ウォシュレット機能付)への変更、必要に応じてトイレブースの改修を行います。 なお、学校施設環境改善交付金の返還や起債等の繰上償還が発生してしまうことから、交付金や起債等を活用しての改修実施校で10年以上経過していない学校や学校統廃合に係る閉校予

定の学校を除きます

令和元年度は、南郷小・睦岡小の校舎トイレの全面改修工事 行いました。また、令和2年度に工事予定の山武北小トイレ を行いました。また、令和2年度に工事予定の山武北 の全面改修工事に係る設計積算業務を委託しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数(工事設計)	件	2	1	2
工事件数(工事監理含)	件	2	2	3
成果状況				
改修実施率 (校舎)	%	57.14	85.71	100
改修実施率(体育館)	%	0	0	100

事業費の推移 単位:千円

3 - 2 2 - 2 12							
左	財源内訳					繰越額	
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	介架 此 公司
30年度 実績	2,447	0	0	2,300	0	147	61,064
01年度 実績	1,353	0	0	800	553	0	121,812
02年度 当初							(140,820)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 低下 向上 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

計画とおりに改修工事ができたため順調としました。

<原因>

文部科学省の平成30年度補正予算で、学校施設環境改善交付金が活用できることになったため、平成30年度3月補正に て予算を確保し、令和元年度に繰越しして工事を実施することができました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数		2	1	0

中学校トイレ環境整備事業 事務事業名

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	や校教育の充実			
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備			
計画年度	平成	28 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1219	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

中学校5校のうち校舎の改修予定校:3校(成東中・山武中・ 松尾中)及び体育館の改修予定校:1校(成東東中)に通う生 徒や教職員、保護者等

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 生徒や教職員、保護者等にとって安心できる環境になりま す。

事務事業の内容、やり方、手順

イレ環境が旧式のままで現代の基準の仕様に合わせるた トイレ環境が旧式のままで現代の基準の仕様に合わせるにめ、改修が必要な学校の校舎や体育館のトイレを順次改修します。改修内容は、トイレ床面を湿式から乾式への変更、洋式便器(ウォシュレット機能付)への変更、必要に応じてトイレブースの改修を行います。 なお、学校施設環境改善交付金の返還や起債等の繰上償還が発生してしまうことから、交付金や起債等を活用しての改修実施校で10年以上経過していない学校や学校統廃合に係る閉校予

定の学校を除きます

令和元年度は、松尾中学校トイレの全面改修工事を行いまし

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数(工事設計)	件	1	0	2
工事件数(工事監理含)	件	1	1	1
成果状況				
改修実施率(校舎)	%	66.67	100	100
改修実施率(体育館)	%	0	0	100

事業費の推移 単位:千円

7/N 5- 17 IV							
左	事業費					繰越額	
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人丛 合具
30年度 実績	1,225	0	0	1,100	0	125	38,888
01年度 実績							139,836
02年度 当初							(32,521)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

計画とおりに改修工事ができたため順調としました。

<原因>

文部科学省の平成30年度補正予算で、学校施設環境改善交付金が活用できることになったため、平成30年度3月補正に て予算を確保し、令和元年度に繰越しして工事を実施することができました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数		2	1	0

小学校施設整備事業 事務事業名

教育部 教育総務課

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O						
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備			
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1379	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になり ます。

事務事業の内容、やり方、手順

建物(プール、その他設備や遊具などを含む)に起きた故障・ 損傷、経年による不良箇所の修理や改修及び軽微な施設整備を 行います。

令和元年度は、主な工事として、土木課にて事業展開中の避難 道路整備事業道路用地に掛かった緑海小学校の倉庫の撤去及び 別位置への新設を行いました。また、昨年度より繰越しした成 東小学校にゅうどう橋改修工事と南郷小学校プロック塀撤去改 修工事も行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
修繕及び工事件数	件	84	63	100
修繕及び工事費	千円	7,678	33,133	23,403
成果状況				
児童一人当たりの経費		150,502	16,836	11,892

事業費の推移 単位:千円

- N	1 1 1 1 1 1 1 1 1						
左	事業費			財源内訳			4品土代安百
年度	争耒貿	国費	県費	地方債	その他	一般財源	操越額
30年度 実績	86,170	0	0	34,400	6,960	44,810	
01年度 実績	35,231	0	0	0	9,990	25,241	75,359
02年度 当初	25,418	0	0	0	0	25,418	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 老朽化等に伴う事故は発生せず、昨年度繰越した工事も完了したことから、順調としました。<原因 > 業務委託した各種点検等により、不具合等の指摘があった場合には、早急に修繕等の対応をしまた、繰越した工事にあっては、スケジュール含め工事計画を立て、着実に執行していったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数	 校	2	1	0

中学校施設整備事業 事務事業名

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備			
計画年度	平成	23 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1380

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|中学校に通う生徒や教職員、保護者等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になり ます。

事務事業の内容、やり方、手順

建物(プール、その他設備や遊具などを含む)に起きた故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修及び軽微な施設整備を行います。

行がるす。 令和元年度の主な工事としては、成東中学校の屋上防水シート が経年劣化により機能低下が見られることから、屋上防水の改 修や外壁の修繕工事を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
工事件数	件	49	40	50
	千円	16,374	25,107	10,763
成果状況				
生徒一人当たりの経費		20,543	22,639	9,705

事業費の推移 単位:千円

3-7K3-17	1 1 1 1 1 1 1 1 1							
左	事業費	財源内訳						
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	21,845	0	0	0	2,573	19,272		
01年度 実績	27,656	0	0	0	14,978	12,678		
02年度 当初	16,723	0	0	0	0	16,723		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>老朽化等に伴う事故は発生しなかったことから、順調としました。 <原因>業務委託した各種点検等により、不具合等の指摘があった場合には、早急に修繕等の対応をしてきました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数	校	2	1	0
	-		-	

事務事業名 松尾小学校新校舎整備事業

教育部 教育総務課

3771 3 MI 3771 3 MIS	0					
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	学校教育の充実			
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備			
計画年度	平成	29 年度 ~	令和 04 年度	事務事業整理番号	1921	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

松尾小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

統合により整備された小学校が、児童や教職員、保護者等に とって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

経年により老朽した校舎を適正配置計画に伴い、校舎を改築し整備します。 令和元年度は、実施設計業務を委託しました。また、仮設校舎 の賃貸借にあたり、建設等に期間を要することから、入札等の 執行を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数	件	1	1	3
工事件数	件	0	0	1
成果状況				
供用開始までの事業進捗率	%	36.89	55.33	70

事業費の推移 単位:千円

- N							
左	申米弗	事業費 財源内訳					4品土化安石
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							24,051
01年度 実績	81,155	0	0	77,000	4,100	55	
02年度 当初	250,958	0	0	173,200	76,522	1,236	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

当初の計画どおりに事業が完了したことから、順調としました。

< 原因 >

実施設計業務を委託した業者が、学校建設において充分な実績やノウハウを持っていることから、様々な提案、アド バイス等をいただける環境にあったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数	校	2	1	0

日向・山武西統合小学校施設改修事業 事務事業名

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	や校教育の充実				
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備				
計画年度	令和] 01 年度 ~	令和 02 年度	事務事業整理番号	2010		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

日向小、山武西小の統合に係る児童や教職員、保護者等

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

統合により改修された新しい小学校(旧山武南中)が、児童 や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になりま す。

事務事業の内容、やり方、手順

日向小、山武西小の統合に係る適正配置計画により、旧山武南中を使用するため、小学校としての仕様や安全対策等の改修工事を行います。 令和元年度は、校舎等の改修工事とグラウンド等の改修工事に係る設計積算業務を委託しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
件		2	2
· ——— 件		0	2
%		50	100
_	件 ————————————————————————————————————		件 2 件 0

事業費の推移 単位:千円

- N	1 1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費		繰越額				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	冷米此 。
30年度 実績							
01年度 実績	6,963	0	0	5,700	363	900	
02年度 当初							(406,511)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

当初の計画どおりに事業が完了したことから、順調としました。

今年度は設計積算業務の委託のみであり、設計業者や学校関係者とも協議を行え、満足の行く設計が出来上がったた めです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数	校	2 1		0

事務事業名 小学校施設改修等事業

教育部 教育総務課

3771 3 Mil 3771 3 III.	0 - 0 H- 1 -						
政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	校教育の充実				
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備				
計画年度	令和] 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号	2011		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になり ます。

事務事業の内容、やり方、手順

建物(プール、その他設備や遊具などを含む)に起きた故障・ 損傷、経年による不良箇所の修理や改修及び軽微な施設整備を 行います。 補助金や交付金、起債等を含む工事や設計、工事監理等は、「 小学校施設改修等事業」に、一般財源のみで対応する場合は、 「小学校施設整備事業」に計上します。 令和元年度は、成東小学校キュービクル改修工事設計積算業務 の委託を発注しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
修繕及び工事件数	件		0	1
	千円		0	29,018
成果状況				
児童一人当たりの経費			252	14,745

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費		/무 +라 호프				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	操越額
30年度 実績							
01年度 実績	495	0	0	300	0	195	
02年度 当初	30,563	0	0	22,900	7,639	24	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 当初の計画どおりに事業が完了したことから、順調としました。< 原因 > 今年度は 1 つの小学校における設計積算業務の委託のみたっだためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数		2 1		0

事務事業名 学校のあり方検討事業

教育部 学校再編推進室

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがる	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	校教育の充実					
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備					
計画年度	平成	24 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1670		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

検討委員会、小中学校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

少子化に伴い本市における児童生徒数等の推移を踏まえ、小中学校の将来を展望した学校のあり方等を検討し、よりよい 教育環境を創出します。

事務事業の内容、やり方、手順

平成31年4月、新松尾小学校・新山武中学校開校 日向小・山武西小学校統合準備委員会(令和3年4月開校予定) 円滑な開校に向け、令和元年5月、学校統合準備委員会を設置 し校名、通学方法等について協議しました。 全体会議3回、総務部会4回、PTA・通学部会4回、学校運営部会

2回 学校統合実施計画策定(令和4年4月開校予定) 蓮沼中・松尾中学校統合実施計画を策定しました。令和2年度 に学校統合準備委員会を設置し、統合校の開校に向け協議・調 整を進めます。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委員会の開催回数	回数	4	3	4
対象学校数	 校	6	4	4
成果状況				
計画等策定数	件	2	2	2

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2	1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費	財源内訳					
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	2,310	0	0	0	0	2,310	
01年度 実績	845	0	0	0	0	845	
02年度 当初	3,202	0	0	0	0	3,202	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<原因>適正配置基本計画の統合年度が一部定まっていません。

単位	30年度	01年度	めざそう値
件	0	0	0
 校	2	1	0
	件	件 0	件 0 0

小中学校閉校・開校事業 事務事業名

教育部 学校再編推進室

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれる	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	全校教育の充実					
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	育環境の整備				
計画年度	平成	30 年度 ~	 年度		事務事業整理番号	1973		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|学校統合に伴い閉校・開校となる学校

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

学校統合に伴い閉校・開校する学校の準備を円滑に行いま す。

事務事業の内容、やり方、手順

- 平成31年4月、新松尾小学校・新山武中学校開校 日向小・山武西小学校統合準備(令和3年4月開校) ・校名決定「日向(ひゅうが)小学校」 ・通学バス運行及び体操服方針決定 ・校のよびでは新たに作成することとなった。令和2年度 に作成

・閉校記念式典実行委員会への補助金交付・通学バス運行業務・学校移転業務委託の執行学校統合実施計画策定(令和4年4月開校予定) 令和2年度 に学校統合潤委員会を設置し、統合校の開校に向け協議・調整 を進めます。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
統合に伴い閉校となる学校数		4	4	4
成果状況				
過小規模校数		1	0	0
閉校記念実行委員会設立数		4	0	2

事業費の推移 単位:千円

左 庄	市光串		4号 土代 安百				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	20,978	0	0	0	0	20,978	
01年度 実績	2,438	0	0	0	69	2,369	
02年度 当初	19,563	0	0	0	1	19,562	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和3年4月の統合小学校の開校準備は予定どおり行われました。

<原因>日向小学校と山武西小学校の令和3年4月の開校に向けた統合準備委員会による検討は当初の予定どおり行わ れました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数		2	1	0

成東学校給食センター施設管理運営事業 事務事業名

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とか	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	学校教育の充実					
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	女育環境の整備				
計画年度	平成	18 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1026		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

給食受給者

開設会配け 受給者の保護者等 成東学校給食センター

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に 安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食 センターを運営します。
- <調理・衛生関係>
- <調達・衛王関係> ・栄養士の指導による調理・衛生計画 ・市と委託事業者との打ち合わせ(衛生管理含む) ・給令郡間な、配送、回収、洗浄、保管

- ・臨戸徴収の実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
給食数(成東センター調理分)	食	416,613	369,919	415,879
臨戸徴収件数	件	2,832	2,962	2,800
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
	%	99.54	99.54	99

単位:千円 事業費の推移

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
左莊	財源内訳 事業費					繰越額	
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分荣 人丛 否具
30年度 実績	249,985	0	0	0	117,064	132,921	
01年度 実績	241,391	0	0	0	106,323	135,068	
02年度 当初	249,324	0	0	0	119,036	130,288	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

全ての小中学校(11校)に台風災害及び3月の新型コロナウイルス感染症による小中学校の休業以外は、給食を提供で きました。収納率は、99.54%となり、維持・横ばいでした。

<原因>

給食安定供給のため、厨房設備の計画的な修繕、定期点検による故障個所の早期発見に努めています。 給食費は、口座振替推奨及び督促催告通知並びに臨戸徴収実施により、未納抑止解消に取り組んでいます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数		2	1	0

教育情報の発信事業 事務事業名

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
施策番号	01	施策名	学校教育の充実					
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進	型域と学校の協力体制の推進				
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	693			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市の学校や教育に関する情報を得ようとする人

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民が教育行政を理解するための教育情報を入手できるよう になります。

事務事業の内容、やり方、手順

教育委員会広報紙「懸け橋」の発行やホームページの充実を 図るなど、積極的な情報提供に努め、開かれた教育行政を推進 します。

しまり。 【教育委員会広報紙「懸け橋」】 ・発行回数:年4回(四半期ごと) ・発行部数:年21,200部

小中学校経由で保護者世帯へ 区及び自治会回覧 ・配布方法:

窓口(16施設) ホームページでPDF版を掲載

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
年間発行回数	回	4	4	4
年間発行部数	部	24,000	21,200	20,600
成果状況				
「懸け橋」普及率	%	74	74	74
教育系ホームページアクセス数	アクセス	321,790	329,425	280,000

単位:千円 事業費の推移

3 71724 12							
左莊	声	財源内訳 事業費					4品土化安西
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	365	0	0	0	0	365	
01年度 実績	358	0	0	0	0	358	
02年度 当初	362	0	0	0	0	362	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>ホームページアクセス数が前年度と比較し7,635アクセス増加し順調です。 <原因>情報提供メニューの充実及び情報更新の頻度が向上したことから、アクセス数が増加したと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数		0	2	3

小学校・学校評議員制度事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	学校教育の充実				
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進				
計画年度	平成	21 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1109		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

小学校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

学校評議員が学校経営についての意見や助言を述べることにより、学校がより広い視野に立ち、開かれた学校づくりを図れます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の各小学校に5名以内の学校評議員を置き、学校経営について、助言・支援をすることで、開かれた学校づくりを推進していきます。 【手順】

・4月~

各学校から候補者の推薦

市教委による委嘱各学校ごとに会議等の開催 ・年3~5回 ・翌年の3月

学校評議委員制度事業,年度報告書提出

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
学校評議員の設置校数	校	13	11	11
学校評議員会議の開催回数		39	28	35
字校評議員会議の開催回数		39	28	35

事業費の推移 単位:千円

- N							
年度	事業費		4品土代安西				
十. 上. 一.	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	708	0	0	0	0	708	
01年度 実績	619	0	0	0	0	619	
02年度 当初	645	0	0	0	0	645	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > コミュニティースクールを開設している学校以外はすべての小学校で学校評議員会が開催されており年間3~5回程度の会議が開かれ、学校側と意見交換をしています。< 原因 > 開かれた教育課程を実践するためには学校と地域の連携が不可欠です。学校評議員会は地域の声を吸い上げ、学校の活動を評価する機会として各学校で活用されています。多くの学校が各学期に1回の開催で、年間の開催 回数を3回としています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	0	2	3

中学校・学校評議員制度事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	学校教育の充実				
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進				
計画年度	平成	21 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1119		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

中学校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

学校評議員が学校経営についての意見や助言を述べることにより、学校がより広い視野に立ち、開かれた学校づくりを図れます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の各中学校に5名以内の学校評議員を置き、学校経営について、助言・支援をすることで、開かれた学校づくりを推進していきます。 【手順】

各学校から候補者の推薦 ・4月~

・年3~5回

市教委による委嘱 各学校ごとに会議等の開催 学校評議委員制度事業,年度報告書提出 ・翌年の3月

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
学校評議員の設置校数	校	6	4	4
学校評議員会議の開催回数	回	21	13	19
		21	13	

単位:千円 事業費の推移

3-21/22 31-12							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	375	0	0	0	0	375	
01年度 実績	270	0	0	0	0	270	
02年度 当初	255	0	0	0	0	255	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > コミュニティースクールを開設している学校以外はすべての中学校で学校評議員会が開催されており年間3~5回程度の会議が開かれ、学校側と意見交換をしています。< 原因 > 開かれた教育課程を実践するためには学校と地域の連携が不可欠です。学校評議員会は地域の声を吸い上げ、学校の活動を評価する機会として各学校で活用されています。多くの学校g各学期に1回の開催で、年間の開催 回数を3回としています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数		0	2	3

地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業 事務事業名

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	01	施策名	学校教育の充実				
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進				
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1913		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|幼・小・中学生|

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・学習の選択肢を広げます。 ・グローカル人材育成のため、経験豊かなシニア世代と各 世代の相互連携による教えあい、学びあいの組織やしくみ (教育支援プラットフォーム)を形成します。

事務事業の内容、やり方、手順

市民協働・地域人材活用の観点から、NPO法人 教育サポー トGAAに委託し以下の事業を行います。 調査研究

- ・0歳~18歳までの一貫した子ども支援システム・学ぶ意欲向上のための指導方法
- 学校支援
- ・少人数指導等の授業支援・放課後学習支援
- 事務、環境整備等の校務支援

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
調査研究のための会議実施数	回	50	57	50
成果状況				
学校支援実施回数	件	598	851	687

事業費の推移 単位:千円

7/L - 1 - 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1						
左帝	事業費		繰越額				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	無政智
30年度 実績	8,085	4,043	0	0	0	4,042	
01年度 実績	8,085	4,042	0	0	0	4,043	
02年度 当初	8,085	4,042	0	0	0	4,043	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和元年度の学校支援実施回数は851回となり、平成30年度の598回から大幅に増加しました。

、原囚グ 「学校の困ったにマッタする」を基本理念に、学校が要望する支援を実施しているため、支援依頼回数は年々増加し ています。令和元年度は、851回のうち外国人児童生徒への日本語支援が256回を占める結果となり、日本語支援の ニーズが高まっています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数		0	2	3

放課後子ども教室開催事業 事務事業名

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	校教育の充実			
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進			
計画年度	平成	19 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	967	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市内の小学校、児童

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所が確保され ます。

事務事業の内容、やり方、手順

放課後子ども教室を実施する団体(講師)への報償の支払い、 消耗品の購入、保険加入等の事務を行います。 緑海小学校 開催日:毎月第2土曜日の午前中 講師登録者数37名、児童登録者数63名 日向小学校 開催日:開催した日(毎月第3木曜

講師登録者数23名、児童登録者数61名 開催日:開催を指定した日(毎月第2木曜 山武西小学校

講師登録者数15名、児童登録者数41名

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
打合せを実施した小学校数	校	4	3	12
成果状況				
放課後子ども教室を開催している小学校数	校	3	3	3
放課後子ども教室に参加したのべ児童数	人	1,581	1,470	1,300

単位:千円 事業費の推移

3 71724 12							
年度	事業費 財源内訳						
十 反	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	731	0	410	0	0	321	
01年度 実績	546	0	234	0	0	312	
02年度 当初	1,000	0	520	0	0	480	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>参加のべ児童数は、当初人数を超えていますが平成30年度より111人減少しています。また児童及び講師の登 録者数は、ほぼ横ばいです。

<原因>参加した児童数が減少した理由は、風水害や新型コロナウイルス感染拡大防止対策により開催を予定してい た教室が5回中止になったことが要因です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数		0	2	3

コミュニティ・スクール推進事業 事務事業名

教育部 生涯学習課

37113 A. — III— 3						
政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	01	施策名	ዸ校教育の充実			
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進			
計画年度	令和] 01 年度 ~	年度	事務事業整理番号	2012	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|学校の教職員・生徒 地域住民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって 特色ある学校づくりを進めます。

事務事業の内容、やり方、手順

統廃合による新設校から順次コミュニティスクールとします。 各小中学校に15名以内の学校運営協議会委員による学校運営協議会を設置し、学校運営、学校・地域の共通課題解決にむけ協 します。

(*) 事務内容 > 委員委嘱・運営方針の承認(6月) 学校運営協議会の開催(7月、9月、10月、2月)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
協議会の開催回数			7	6
成果状況				
活動部会数			2	2

事業費の推移 単位:千円

- N. T. 11 IV	1 12 1 1 1 3						
年度	事業費			繰越額			
十反	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此处合具
30年度 実績							
01年度 実績	416	0	0	0	0	416	
02年度 当初	597	0	0	0	0	597	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>協議会の開催回数が当初予定回数より3回増加しました。また、活動部会(山武中学校と松尾小学校の2協議 会)の活動も順調です。

<原因>各協議会設置校が統合直後ということもあり積極的に活動されたことが原因として考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	506	503	600
コミュニティ・スクール導入学校数		0	2	3

事務事業名 各種講座事業

教育部 公民館

JAIJH						
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	上涯学習の推進			
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	1051	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民(市内在住・在勤)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民の社会性を養う為に、講座受講者が様々な知識・技術を習得し、地域で指導できるような人材育成を目指しました。 また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、国際力豊かな市民の育成に努めます。

事務事業の内容、やり方、手順

市民自らが参加する芸術文化活動への支援、学習成果の発表の 機会、出会いぶれあいの場を目的に、成東中央公民館・蓮沼公 民館で次の事業を実施しました。

|氏語で次の事業を実施しました。 | 多文化交流事業(城西国際大学留学生との交流) | 他国紹介出前講座(市内4校) | 成人学校(3学級)5月~翌年2月迄開催 | 英語(初級)、大人の折り紙、能の謡 | チャイルドカレッジ(親子・未就学児向け)3B体操・そろば h

小中学生学習支援 親子科学教室、英語、書道主催講座4月~翌年3月

世界遺産、シャドウボックス、 救急救命、布ぞうり等

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
企画講座数	講座	39	33	30
講座実施回数(延べ)	回数	172	160	150
企画講座の成立割合	%	100	100	90
講座参加者数(総数)	人	859	1,002	500

単位:千円 事業費の推移

5 T175 T 15							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深起 顏
30年度 実績	1,309	0	0	0	0	1,309	
01年度 実績	1,177	0	0	0	0	1,177	
02年度 当初	1,302	0	0	0	0	1,302	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>参加者は、平成30年度と比べて143名増加しており、順調です。

<原因>参加者が増加した要因は、山武中学校で開催した他国紹介出前講座で全校生徒の参加があったためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市主催の生涯学習講座の年間参加者数	人	3,272	3,056	4,288
自主クラブ登録数	グル	121	120	127

松尾公民館ダンス振興事業 事務事業名

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	注を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	上涯学習の推進			
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1907	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|公民館来館者(市内在住・在勤、市外住民)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

ダンスを目的とした来館者を将来的には自主的にイベントを 開催するなどまちづくりの担い手とします。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・各種ダンス講座の開催 ・ダンス講座受講者が中心となったサークル活動への働きかけ ・松尾高校ダンス部、成東高校ダンス同好会、市内小中高生を 構成員としたダンスサークル活動支援(使用料の減免措置)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
講座実施回数		4	4	4
講座参加者数(総数)	人	496	560	300

事業費の推移 単位:千円

左	声		繰越額				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越領
30年度 実績	236	0	0	0	111	125	
01年度 実績	1,182	0	0	0	586	596	
02年度 当初	1,078	0	0	0	532	546	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<成果>平成30年度の496人に対し令和元年度は560人と、64人増加となりました。 <原因>新型コロナウイルスの影響を受け、3月実施予定であった講座が開催できず、前年度と比べ開催回数が1回減 となりました。しかし、前年度は開催できなかったダンスイベントを実施できたため、若干増加したと分析します。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市主催の生涯学習講座の年間参加者数	人	3,272	3,056	4,288
自主クラブ登録数	グル	121	120	127

松尾公民館公営塾運営事業 事務事業名

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	上涯学習の推進				
基本事業番号	01	基本事業名	主体的な学習の推進				
計画年度	平成	27 年度 ~	———————————————— 年度	I	事務事業整理番号	1910	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|松尾高校生・成東高校生・市内在住の中・高校生

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

公営塾を拠点とし高校生が主体的、自発的に学ぶ力を育成することにより、グローバルな社会情勢に対応できる力を持った人材が育ちます。

事務事業の内容、やり方、手順

<実施手段>

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
講師依頼日数	日	113	92	96
公営塾実施日数	B	195	182	213
成果状況				
講師依頼日の利用者数	人	453	510	510
公営塾利用者数	人	180	304	304

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費		繰越額				
年度		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公封
30年度 実績	1,037	505	0	0	20	512	
01年度 実績	901	448	0	0	13	440	
02年度 当初	966	478	0	0	20	468	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度と比べ、講師依頼日の利用者数が57人、公営塾利用者数が124人増加しました。 <原因>講座の実施回数が増えたこと、自習室の周知及び認知がなされたことで増加したと思われます。

単位	30年度	01年度	めざそう値
人	3,272	3,056	4,288
グル	121	120	127
		人 3,272	人 3,272 3,056

さんぶの森公園管理事業 事務事業名

教育部 さんぶの森公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進			
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	1032	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

さんぶの森公園(ふれあいセンター及びグリーンタワー含)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

公園内施設の整備及び適正な管理を行うことにより、公園の 各施設を安全で快適に利用してもらえる環境を整えます。 利用者の満足度の向上

利用者数の増加

事務事業の内容、やり方、手順

保守点検や施設及び備品等の修繕を実施し、施設の適正管理を 図りました。また、日常管理は非常勤職員及び業務委託により適正管理しま

した。 主な点検

- ・電気・消防設備・空調設備・公園遊具・ホール機器
- ・点検結果及び老朽化による不良箇所の修繕

主な業務委託

・清掃・警備・浄化槽管理・夜間管理・樹木管理・山林管理

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
公園(施設を含む)の修繕件数	件	17	18	10
成果状況				
公園の事故発生件数	件	0	0	0
				-

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	48,674	0	0	0	8,520	40,154	
01年度 実績	49,402	0	0	0	6,662	42,740	
02年度 当初	41,766	0	0	0	7,504	34,262	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 事故発生件数は 0 件です。 < 原因 > 適切な維持管理をしたことが要因と考えます。

生涯学習施設の利用者数	<u>単位</u>	30年度	01年度	めざそう値
	人	353,246	294,243	326,900

さんぶの森文化ホール非構造部材耐震等改修事業 事務事業名

教育部 さんぶの森公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学び	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	上涯学習の推進					
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	上涯学習施設の利用促進				
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	1948			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

さんぶの森文化ホール (さんぶの森公園ふれあいセンター内)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民が安心安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

既存の非構造部材による天井を耐震性のある天井にするため、 改修工事及び工事監理を実施しました。 また、老朽化(築20年)により故障が多い中央型空調設備も併 せて更新(工事及び工事監理)しました。

実施設計 天井耐震改修工事監理及び工事 空調設備改修工事監理及び工事 R1

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数	件	1	2	0
工事件数	件	0	2	0
成果状況				
改修進捗率	<u></u> %	30	100	0

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2								
年度	事業費	財源内訳						
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	3,980	0	0	3,800	0	180		
01年度 実績	148,957	0	0	143,500	5,457	0		
02年度 当初								

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

予定の工事及び工事監理は順調に完了しました。

<原因>

計画的に発注及び契約をし、定期的な打合せをしたことが要因と考えます。

生涯学習施設の利用者数	人	30年度 353,246	01年度 294,243	めざそう値 326,900

さんぶの森中央会館等施設改修事業 事務事業名

教育部 さんぶの森公園管理事務所

政策番号	05	政策名	上涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
施策番号	02	施策名	E涯学習の推進					
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進					
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 02 年度	事務事業整理番号	1976			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

さんぶの森中央会館、体育館、武道館及び弓道場

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 利用者の利便性向上、また安心安全な利用環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

大規模改修工事実施設計(弓道場改築工事実施設計追

R1~R2 大規模改修工事監理及び工事(継続事業) R1 弓道場改築工事監理及び工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数	件	2	2	1
工事件数	件	1	2	1
成果状況				
改修進捗率	%	60	75	100

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
年度	事業費	財源内訳					
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	77,546	0	0	68,600	0	8,946	
01年度 実績	50,723	0	0	47,500	3,223	0	
02年度 当初	110,152	0	0	104,600	5,552	0	(152,202)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 弓道場改築工事は終了しました。 大規模改修についても順調に進捗しています。 < 原因 > 計画的な発注及び契約をし、定期的な打合せをしたことが要因と考えます。

生涯学習施設の利用者数	<u>単位</u>	30年度	01年度	めざそう値
	人	353,246	294,243	326,900

成東文化会館施設管理事業 事務事業名

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	三涯学習の推進				
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進				
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	959		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

成東文化会館利用者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域文化活動の拠点として、成東文化会館のぎくプラザが常 時正常に稼動し、利用者に安心してご使用いただけるよう管 理しました。

事務事業の内容、やり方、手順

・施設概要 ホール(368席)、楽屋1、楽屋2、会議室1(37人)、会議室2(27人)、視聴覚室(椅子のみ126人)及び付属設備を有償で貸し出しています(ただし山武市内の公共機関については使用料を免除している)。また、建物内に成東図書館 を有しています。

ホールは1年先、会議室等は6ヶ月先まで電話にて予約受付。 ホールは使用日の7日前、会議室等は3日前までに申請書を会館 窓口に提出した日間料を納付する。

- 念口に提出し使用料を納りする。 ・月曜日(祝日の場合は翌々日)、祝祭日の翌日及び年末年女 を除き、9:00~21:30まで利用することができます。 ・夜間警備や空調設備、浄化槽設備、舞台機構等の保守点検、 祝祭日の翌日及び年末年始
- 清掃業務等を業者に委託し施設の維持管理を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開館日数	日	293	268	117
業務委託及び借上件数	<u></u> 件	23	24	25
施設貸出数	件	1,148	934	680
施設苦情件数	<u></u> 件	0	0	0

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
年度	事業費	財源内訳					
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	52,742	0	0	0	20,377	32,365	
01年度 実績	37,990	0	0	0	1,940	36,050	
02年度 当初	60,625	0	0	0	30,906	29,719	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>施設貸出件数については、平成30年度と比べ214件(18.6%)低下していますが、順調です。また、施設苦情件

<が応えた。では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、それができますが、原動です。また、心臓を指令 数は0件となっており、順調です。 <原因>施設貸出件数の減少は、昨年の度重なる台風や大雨被害により、市民の関心が芸術文化活動まで及ばなかったことと、施設改修工事に伴い利用できない期間が2ヶ月あったことが要因と思われます。施設苦情件数については、日常管理の強化が要因と思われます。

生涯学習施設の利用者数	<u>単位</u>	30年度	01年度	めざそう値
	人	353,246	294,243	326,900

成東文化会館改修事業 事務事業名

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	涯学習の推進				
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進				
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1549		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

成東文化会館のぎくプラザ利用者(成東図書館利用者を含み

ます) 山武市殿台290-1 成東文化会館のぎくプラザ

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼動し、安心してご 使用いただける状態を維持します。

事務事業の内容、やり方、手順

成東文化会館のぎくプラザを適切に維持するため、耐用年数 を超過した設備や経年劣化による大規模な改修工事について優 先順位を決め、計画的に実施しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数	件	2	2	3
工事件数	件	0	2	2
成果状況				
改修進捗率(複数年度)	%	30	50	100
改修進捗率(単年度)	%		0	30

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
左庇	事業費			財源内訳			繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越 顏
30年度 実績	3,980	0	0	3,400	0	580	
01年度 実績	15,140	0	0	14,800	340	0	
02年度 当初	247,430	0	0	238,400	9,030	0	(51,403)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

監理業者や工事業者と連絡を密にし、工事の進捗管理に配慮したことが要因と考えます。

生涯学習施設の利用者数	単位 人 ———————————————————————————————————	30年度 353,246	01年度 294,243	めざそう値 326,900

事務事業名 成東中央公民館施設改修事業

教育部 公民館

THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SERVICE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SE							
政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進				
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	三涯学習施設の利用促進			
計画年度	平成	30 年度 ~	平成 30 年度	事務事業整理番号	1975		

事業の概要

対象	(誰.	何に対し	て事業を行うのかう	١
ハンタ	\ DE\		/ (事本と1) ノツル /	,

市民・成東中央公民館

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

利用者が安全で快適に施設を利用することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東中央公民館のキュービクルは、昭和48年3月の竣工時から 設置使用されており、定期点検時に老朽化に伴う停電事故に至 る場合があると指摘があったため、利用者が安全に施設を利用 できるようにキュービクルの改修工事を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補修箇所数		2	1	0
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0

事業費の推移 単位:千円

左 莊	車光弗			4品土代安百			
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	45,236	0	0	0	45,236	0	
01年度 実績	9,911	0	0	0	9,911	0	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>計画した工事が期限内に完成し、利用者が安全に快適に施設を利用できるようになりました。

<原因>随時、工程確認や打ち合わせ等を行い、相互に連携を図りながら工事を順調に進めることができました。

生涯学習施設の利用者数	単位 人	30年度 353,246	01年度 294,243	めざそう値 326,900

環境改善センター施設改修事業 事務事業名

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	注注学習の推進				
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進				
計画年度	平成	30 年度 ~	令和 01 年度	事務事業整理番号	1982		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

環境改善センター

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民が安心・安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

多目的ホールについて天井及び空調の老朽化等により早急な改 修が必要なため工事を実施しました。

H30~R元 改修工事、工事監理

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
委託件数	件	1	1	0
工事件数	件	1	1	0
成果状況				
改修進捗率	<u></u> %	46	100	0

事業費の推移 単位:千円

左	声	事業費 財源内訳 1000年 100					4品土代安百
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	24,043	0	0	23,000	0	1,043	
01年度 実績	169,459	0	0	162,100	6,300	1,059	31,122
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 一部遅延あり 遅延あり 順調 活動進捗状況

維持・横ばい 低下 向上 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

改修進捗率は平成30年度の46%に対し令和元年度は100%となり順調に事業を完了しました。

<原因> 適切な工事管理により、改修工事の施工が順調に推移したためと分析します。

生涯学習施設の利用者数	<u>単位</u>	30年度	01年度	めざそう値
	人	353,246	294,243	326,900

事務事業名 松尾図書館運営事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	1044

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

図書館利用者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

多くの市民が図書館を利用するようになります。

事務事業の内容、	まこす	千順
事務事業の内容、	ハシリカ、	

図書館を運営し、サービスを行うにあたり、臨時職員の採用や、図書の整備、各種事業を実施しました。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開館日数	日	280	257	280
松尾図書館蔵書冊数	m m	91,515	88,136	85,000
成果状況				
松尾図書館の利用登録者数	人	7,921	8,011	7,500
松尾図書館貸出冊数	₩	86,388	85,085	79,000

事業費の推移 単位:千円

左	声	財源内訳					4品土代安石
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	29,725	0	0	0	14	29,711	
01年度 実績	30,278	0	0	0	6	30,272	
02年度 当初	22,861	0	0	0	3	22,858	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

前年度と比較して、利用登録者数が90人増加しましたが、開館日数は23日、蔵書冊数は3,379冊、貸出冊数は1,303冊 減少しました。

/// <原因>

台風15号・19号による停電及び新型コロナウイルス感染症対策のために、29日間臨時休館しました。それに伴い開館 日数、貸出冊数が減少しました。

生涯学習施設の利用者数	<u>単位</u>	30年度	01年度	めざそう値
	人	353,246	294,243	326,900

食虫植物群落保護管理事業 事務事業名

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	涯学習の推進			
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用			
計画年度	平成	18 年度 ~	———————————————————— 年度	事務事業整理番号	953	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」 見学者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅 失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当 群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

国指定の天然記念物である当群落を保護し、後世に残すことは、管理団体である山武市の責務であります。そのため、地域やボランティア団体の協力を得て、適切な保護事業の実施と文化財音及の視点から見学者への案内などを実施します。

主な保護事業

- ・食虫植物群落の監視
- ・食虫植物群落管理 (徐草・除根・野焼き等) ・食虫植物保全調査
- ・現状変更届出による保護検討委員会作業部会による試験的な保護増殖の取り組みとバイオによる種子の確保。
- ・食虫植物群落の案内等

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
予算等で計画した保護事業(作業等)の件数	回	9	9	9
見学者への対応(見学者の目標値4,000人)	人	2,874	3,234	3,000
成果状況				
予算等で計画した保護事業(作業等)の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	2,874	3,234	3,000

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此為
30年度 実績	3,499	530	66	0	1,437	1,466	
01年度 実績	3,508	530	66	0	1,437	1,475	
02年度 当初	2,100	530	66	0	792	712	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>見学者が昨年度比10.4ポイント増加しました。

<原因>食虫植物群落がテレビ番組で紹介されたことと、学校法人主催の自然観察教室が複数回開催されたことによ る来場者増によるものです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	9.42	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数		9,260	4,911	10,000

伊藤左千夫顕彰事業 事務事業名

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	E涯学習の推進		
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用		
計画年度	平成	30 年度 ~		事務事業整理番号	1985

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民・来館者

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民に伊藤左千夫の偉業・功績を伝えます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市の生んだ短歌の鉄人「伊藤左千夫」の偉業・功績を後世

伊藤左十大生家矛耳屋根修縉(30・31年度) 屋根修繕は千葉県文化財保存事業補助金 千葉県指定史跡の修繕について総事業費の約5割の補助 元年度の総事業費7,590千円(うち県費補助3,500千円) 工事設計書を付した交付申請書を提出し、決定通知を受け 工事着手。工事完了後、収支精算書・完成図書・完成写真 を付した業務完了報告書を提出しました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
顕彰事業回数		8	8	6
成果状況				
顕彰参加数(人数・詠草数)	人	4,242	3,317	3,400

事業費の推移 単位:千円

3-7K3-17	1 1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費		繰越額				
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 此 公 合具
30年度 実績	16,341	0	7,500	0	7,499	1,342	
01年度 実績	8,342	0	3,500	0	3,531	1,311	
02年度 当初	835	0	0	0	0	835	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 県費補助を得て、竹管 2 段通し化粧づくりという特徴的で稀有な意匠構造を持つ屋根を伊藤左千夫の暮らしていた当時の姿に復元し、県指定史跡に相応しい景観を再現出来ました。短歌大会の投稿数、左千夫茶会の参加者数が昨年度と比較して20ポイント減少しました。 < 原因 > 短歌大会の投稿数の減少は、締め切り時期と台風災害が重なり、毎年投稿を寄せる小~高校生の作品が大幅には、1000 > 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000

に減少したこと。またその後の風評被害により秋の茶会の参加者数が減少したことによるものです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	9.42	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数		9,260	4,911	10,000

成東文化会館自主事業 事務事業名

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人と	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	涯学習の推進				
基本事業番号	04	基本事業名	芸術文化活動の充実	術文化活動の充実				
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	956		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 多くの市民が、幅広い芸術文化活動に触れる機会が増加しま 、。 市民ニーズに合致した自主事業を行うことにより、満足度が 向上し、来場者も増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

【内容】

・鑑賞型事業:より多くのジャンルの事業を開催しました。 ・参加型事業:芸術活動発表の場を参加者自ら企画し参加型事

業を開催しました。
・ワークショップ型事業:舞台芸術を支える知識に関するワークショップを開催しました。

「やり方・手順】 ・子どもと育つ、アーティストと育つ、人材が育つ、参加者と育つという目標を達成するための具体的事業を計画しました。 ・市民と協働しイベントの企画、周知を行いました。 ・アンケート、協力者の声などからフィードバックを得まし た。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
PR件数	件	294	216	203
自主事業開催本数	本	34	27	29
成果状況				
入場者数	人	7,940	5,069	5,400
自主事業に対する満足度	%	89.9	88.9	90

単位:千円 事業費の推移

3 7172 7 7							
左莊	財源内訳 事業費						繰越額
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此公]
30年度 実績	20,346	0	0	0	2,742	17,604	
01年度 実績	16,783	0	0	0	2,179	14,604	
02年度 当初	20,246	0	0	0	2,501	17,745	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>入場者数が平成30年度より2,871人(36%)減少しましたが順調と考えます。

<原因>理由としては、事業の見直しを図り計画本数を減らしたこと、台風及び新型コロナウイルスの影響で中止となったことから全体の実施本数が前年より7本 (21%)減少したためと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	<u></u> %	64.5	69.2	66
市主催の芸術文化事業への参加者数	人	9,388	5,594	10,000
芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	%	37.1	34.3	47.5

さんぶの森文化ホール自主事業 事務事業名

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とか	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	涯学習の推進				
基本事業番号	04	基本事業名	芸術文化活動の充実	術文化活動の充実				
計画年度		年度 ~	年度		事務事業整理番号	957		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 多くの市民が、幅広い芸術文化活動に触れる機会が増加しま ・ 市民ニーズに合致した自主事業を行うことにより、満足度が 向上し、来場者も増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

【内容】

- ・鑑賞型事業を開催しました。 ・育成型事業(親子参加でのウクレレ教室)を開催しました。 ・参加型事業(アマチュアバンドコンサート、ピアノ演奏体 験、音響ワークショップ、演劇フェスティバル)を開催しまし
- 、 【やり方・手順】 ・人材を育てると共に会館も育つべく事業を計画しました。 ・広報活動(ポスター・チラシの作成、ホームページ・広報へ の掲載、ダイレクトメールその他)を行い、アンケート等の声 からフィードバックを得ました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
PR件数	件	45	48	80
自主事業開催本数	本	9	5	10
成果状況				
入場者数	人	1,448	525	600
	%	87.22	91	85

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	声光弗	事業費 財源内訳					
年度	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	5,673	0	0	0	1,233	4,440	
01年度 実績	1,815	0	0	0	0	1,815	
02年度 当初	5,925	0	0	0	1,000	4,925	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>入場者数が平成30年度より923人(64%)減少しましたが順調と考えます。

<原因>理由としては、令和元年6月から改修工事を実施したため計画本数を減らしたこと、また新型コロナウイルスの影響で中止となったことから、全体の実施本数が前年より4件(44%)減少したためと考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	<u></u> %	64.5	69.2	66
市主催の芸術文化事業への参加者数	人	9,388	5,594	10,000
芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	%	37.1	34.3	47.5

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
施策番号	02	施策名	涯学習の推進					
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	少年の育成				
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	976			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内在住の中学生・高校生 少年海外派遣団

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

<事務>山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付。 併せて、共催事業として円滑な事業実施のための補助。

<内容> 募集時に提出された作文および面接により研修生の決定。令和元年度は15名の応募者から研修生15名を選考。内訳:中学生14名、高校生1名。 ニュージーランドへ訪問(8月16日~23日)現地学生と交流、ホームステイ、クリケット体験他事前研修会4回、事後研修会1回

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
打合せ日数(面接・結団式・研修会)	日	7	6	7
成果状況 海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割 合	%	100	100	100

事業費の推移 単位:千円

2 - 2 2 - 2 2							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋人 丛 否具
30年度 実績	3,924	0	0	0	0	3,924	
01年度 実績	3,456	0	0	0	0	3,456	
02年度 当初	4,535	0	0	0	0	4,535	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

	単位	30年度	01年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	2,438	3,168	3,482
海外派遣事業応募者数	人	42	15	35

事務事業名 山武市青少年派遣事業

教育部 生涯学習課

37713 H						
政策番号	05	政策名	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	02	施策名	三涯学習の推進			
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成			
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1858	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内に住所を有する中学生・高校生または市内の中学校、高 校に通う生徒 山武市青少年スリランカ派遣団

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

スリランカ国の自然、社会、文化、スポーツ等に触れることにより、異文化理解力及びコミュニケーション能力の育成を図るとともに、同国の発展のため活躍する日本人の活動を視察することにより、国際社会における日本の役割への認識を深めることを目的とします。

事務事業の内容、やり方、手順

<事務>山武市青少年スリランカ派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金の交付。 併せて、共催事業として円滑な事業実施のため補助。

/ 内突 >

チラシを配布して募集をかけ、説明会を開催。 4月21日にスリランカでテロが発生。 安全面が心配であったことから、募集期間内ではあったが、 事業の中止を決定。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
打合せ回数(面接・結団式・研修会)		7	2	7
成果状況 スリランカ国への派遣により、異文化理解能力及びコミュ ニケーション能力が向上したと思う参加者の割合	%	100	0	100

事業費の推移 単位:千円

左麻	財源内訳						4号 土代 安西
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	3,583	0	0	0	0	3,583	
01年度 実績	137	0	0	0	0	137	
02年度 当初	676	0	0	0	0	676	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>募集をかけましたが、事業を中止とした為、成果は得られませんでした。

<原因>募集期間中にスリランカでのテロ事件があったため、安全面の確保ができないと考え、事業を中止したことが原因です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	2,438	3,168	3,482
海外派遣事業応募者数	人	42	15	35

事務事業名 スリランカ青少年招へい事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学び	あえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成		
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1859

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

ホームステイ受け入れ家庭、市内の中高生

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

スリランカ国研修生とのふれあいを通して、異文化理解能力とコミュニケーション能力の育成を図ります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた地域人材の育成が図れます。

事務事業の内容、やり方、手順

事務 山武市スリランカ青少年招へい実行委員会からの補助 金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金の交 付。併せて、共催事業として円滑な事業実施のための補助。

「手順

1.受入日程の調整(10/10~17) 2.受入先学校の決定(成東東中学校、松尾高校) 3.ホームステイ受入家庭への依頼(2家庭) 4.受入家庭との打合せ 5.研修内容・体験学習の準備(成東東中生・松高生との交流、和装体験ほか) 6.ホームステイの実施(1泊) 8.お別れ会の開催

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
打合せ回数	回	3	3	3
成果状況 異文化理解能力とコミュニケーション能力が向上したと思 う市内中・高生の割合	<u></u> %	100	100	100

事業費の推移 単位:千円

3-21424-12							
年度	度 事業費 切						繰越額
十 <u>反</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	分米人达 各县
30年度 実績	550	271	0	0	0	279	
01年度 実績	407	203	0	0	0	204	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受入校での生徒の様子に関するアンケートでは、2校とも友好的な対応ができたことやコミュニケーションを図ることで喜びを得られたとの回答がありました。< 原因 > 受入校 2 校との打ち合わせ及び通訳をお願いする地域支援員との打ち合わせを予定通り行い、円滑に事業が実施できたことが原因と考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	2,438	3,168	3,482
海外派遣事業応募者数	人	42	15	35

事務事業名 トップアスリートスポーツ教室事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学	E涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	03	施策名	スポーツの振興				
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実				
計画年度	平成	27 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1864		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内在住・在学の小中学生

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

一流の選手から直接指導を受けることにより、スポーツに対 する関心を高めるとともに、体力・技術の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

「タグ・ラグビー教室」は、以下の手順で教室を実施しました

- 1.内容の検討・決定
- |2.講師の決定・依頼
- 3.教室の実施
- 4.アンケート結果などを踏まえての反省会の実施

「サッカー教室」「ボールゲームフェスタ」は中止。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
教室の開催回数		5	1	1
成果状況				
参加者数		436	25	150

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2	<u> </u>						
年度	事業費		繰越額				
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 <u>此</u> 公司
30年度 実績	4,539	1,240	0	0	0	3,299	
01年度 実績	226	0	0	0	0	226	
02年度 当初	676	318	0	0	0	358	(3,046)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度と比較し、開催回数及び参加者ともに減少しており、遅延状況です。 <原因>実施予定でありました「サッカー教室」については、ブラジル人コーチが来日できなかったことにより教室 の開催されます、また「ボールゲームフェスタ」は台風の影響により会場が使用できず実施できなかったことが原因

と考えられます。 なお、「タグラグビー体験教室」については、予定通り開催することができました。

2.6 10.1	14.6
55.6 69	66.2

ボッチャ大会開催事業 事務事業名

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学	厓を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ポーツの振興					
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実					
計画年度	平成	27 年度 ~	————————————————— 年度	事務事業整理番号	1865			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

パラリンピック競技の普及を図ることにより、障がいのある 方とない方がともにスポーツに親しめる機会を増やします。

事務事業の内容、やり方、手順

以下の手順で大会を実施しました。

- 1.大会内容、開催時期等の検討・決定 2.講師等の決定・依頼(必要があれば) 3.広報、チラシなどによる周知 4.参加者募集

- ・・大会の開催 6.アンケート結果などを踏まえての反省会の実施

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
大会の開催回数		1	1	1
参加者数		64	57	100

単位:千円 事業費の推移

3-21/22 31-12							
年度	事業費		繰越額				
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此弘 育貝
30年度 実績	202	86	0	0	0	116	
01年度 実績	198	86	0	0	0	112	
02年度 当初	219	91	0	0	0	128	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 前年度と比較し、参加者が7名減少しており、一部遅延状況です。 <原因 > 参加募集は、体育協会各支部からと市ホームページ及び市広報誌にて行いましたが、各種団体等への周知不足が減少した原因と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	12.6	10.1	14.6
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	65.6	69	66.2

成東総合運動公園維持管理事業 事務事業名

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共	星を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ポーツの振興					
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進					
計画年度	平成	19 年度 ~	年度		事務事業整理番号	1013		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・成東総合運動公園施設利用者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

・運動公園施設を快適に利用できるようにしました。

事務事業の内容、やり方、手順

〔施設概要〕

- 陸上競技場兼サッカー場、野球場1面、テニスコート6面、

〔手段〕

施設、備品等の修理、グラウンドの整備等を実施し、施設の 適切な運営を図りました。また、維持管理業務遂行のため、 優先度の高い整備と修から順次整備を実施しました。 優先度は、各整備工事を維持管理、老朽化、緊急性の面から とらえました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
利用申請者件数	件	1,697	1,708	1,300
小規模修繕の件数		3	6	0
成果状況				
利用者数	人	40,625	38,811	24,000
小規模修繕の件数	件	3	6	0

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
年度	事業費	財源内訳					
	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	25,844	0	800	0	3,893	21,151	
01年度 実績	27,579	0	0	0	10,449	17,130	
02年度 当初	20,229	0	0	0	4,503	15,726	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>利用申請者件数は11件増となりましたが、利用者数は1,814人減となりました。また、修繕の件数は3件増と

なり遅延状況です。 <原因>台風や新型コロナウイルスの影響により、施設の利用中止期間があったことが原因と考えられます。また、 施設老朽化により修繕が発生しやすくなっているため、修繕件数を削減していくことは難しい状況となっておりま す。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	153,142	138,482	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 蓮沼スポーツプラザ施設改修事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学び	厓を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
施策番号	03	施策名	ポーツの振興					
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進					
計画年度	令和	01 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1983			

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

蓮沼スポーツプラザ

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

蓮沼スポーツプラザを快適に利用してもうらうことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

│ 利用者にとって、より使いやすい施設となるよう改修工事を |行いました。

平成30年度

- ・トイレの洋式化工事
- ・更衣室改修工事

令和元年度

・高圧受電設備等改修工事

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
打合せ回数		5	5	5
改修比率	%	100	100	100

事業費の推移 単位:千円

2.21/2/2/2/2							
左	事業費	財源内訳					繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 <u>此</u> 公合只
30年度 実績	69,487	0	0	65,600	0	3,887	
01年度 実績	33,839	0	0	32,100	1,739	0	
02年度 当初	16,830	0	0	15,900	930	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

蓮沼スポーツプラザ高圧受変電設備改修工事が予定通り終了しており、順調です。

< 原因 >

市担当者・施工業者・施工監理業者との定例打合せで週間工程の進捗状況を管理し、事故もなく工事を円滑に進める ことができたことが考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	153,142	138,482	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり		
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進		
計画年度	平成	, 18 年度 ~	年度	事務事業整理番号 974	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互 いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもたちがいじめ、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分を守るための人権講習を実施。 <事業内容>

実施回数(参加人数)・幼稚園こども園 17回 (276人)

・小学校 ・大人 4回(102人) 10回(138人)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開催回数		35	31	30
延べ参加者数	人	940	516	500

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	声光弗		繰越額				
十 <u>人</u>	年度事業費		県費	地方債	その他	一般財源	允荣此 还否只
30年度 実績	1,175	0	0	0	0	1,175	
01年度 実績	1,033	0	0	0	0	1,033	
02年度 当初	1,174	0	0	0	0	1,174	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度より幼稚園、こども園の開催回数が3回増えましたが、小・中学校と大人の回数が減少したため全体的に4回減少し、参加人数も424人減少しました。

<原因>小・中学校の授受業時間との調整が難しいことと併せ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策も要因の一つ として考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	21.4	23.3	24.3
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	11.4	9.3	10.5

事務事業名 人権相談事業

市民部 市民課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり		
基本事業番号	02	基本事業名	人権擁護の推進		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	207

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

人権が侵害されていると感じる人がいなくなり、互いに相手 を思いやり、ともに幸せに暮らせます。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行いました。 ・相談所開設:原則毎月第1~4火曜日、市内4地区 ・広報:相談所開設日の広報誌への掲載(毎月) ・啓発:人権週間中の啓発物品配布

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
相談所開設回数	回	47	44	47
啓発活動の回数		1	0	2
成果状況				
人権が尊重されている思う市民の割合	<u></u> %	45.4	58.5	48

単位:千円 事業費の推移

3-21424-12							
年度	事業費		繰越額				
十 <u>反</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 此 处 合具
30年度 実績	342	0	0	0	0	342	
01年度 実績	335	0	0	0	0	335	
02年度 当初	349	0	0	0	0	349	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度における人権が尊重されていると思う市民の割合は58.5%で、昨年度と比較して13.1%増加して

おり、順調です。 <原因>人権相談所の開設に関して、例年どおり広報紙や防災無線での周知に加え、市役所窓口での啓発物の配布や チラシの掲示によるものと考えます。相談所の開設は計画どおり実施できましたが。啓発活動は予定していたイベン トが台風災害やコロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。

貢献す	る基本事業の成果	成果状況(〔成果指標〕

人権侵害に対する措置件数	件	30年度 539	01年度 886	めざそう値 424

男女共同参画推進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり			
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり			
基本事業番号	03	基本事業名	男女共同参画の推進			
計画年度	平成	19 年度 ~	年度	事務事業整理番号	123	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

男女平等意識が向上し、男女がともに暮らしやすいまちづく りが創造されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・広報紙や区長回覧等で、男女共同参画についての広報啓発活
- 動を行いました。 動を行いました。 ・審議会、委員会等への積極的な女性の登用について、庁内で
- ・市民向けの男女共同参画講演会を実施しました(令和2年1 月26日)
- ・山武市男女共同参画庁内推進本部会議を開催しました(令和 2年3月26日)。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
広報紙掲載回数	回	1	3	1
		4	1	1
成果状況 広報誌で呼びかけた男女共同参画の具体的なテーマ・事業 数	回	1	3	1
審議会への女性登用人数	人	85	77	96

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左	市光弗		繰越額				
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	然此為其
30年度 実績	210	0	0	0	0	210	
01年度 実績	157	0	0	0	150	7	
02年度 当初	203	0	0	0	0	203	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

〈状況〉第3次山武市男女共同参画計画のもと、広報紙等での周知や市民向け講演会等を実施しました。また、同計画の進捗管理をしました。広報紙等への掲載回数は増加している一方、審議会への女性登用人数は減少しています。〈原因〉広報紙掲載回数は、本市のほか、近隣市町で実施した男女共同参画事業を掲載したため増加しました。審議会への女性登用人数は、設置根拠を条例から要綱とする審議会があり、7人の女性委員がいたことが減少の主な要因です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
審議会などに女性委員が登用されている割合	%	23.4	22.1	33.3
「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合	%	75.1	77.7	75
男性が家事・育児に積極的に参加している割合	%	39	39.2	45

市民提案型交流のまちづくり推進事業 事務事業名

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり		
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化		
計画年度	平成	23 年度 ~		事務事業整理番号	1334

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民の手によるまちづくり活動の促進、市民や市民活動団体 のつながりができ、暮らしやすい地域となります。

事務事業の内容、やり方、手順

市民活動団体が、自主的、主体的に企画し、他の団体との連携 を持ちながら実施する事業で、人々の交流が生まれ地域の連帯 が強化される事業を提案し、審査の結果採択された事業に補助 金の交付を行います

補助率:補助対象経費の10/10以内

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
審査件数	件	5	2	9
成果状況				
事業実施件数	件	3	2	9
事業実施に伴い連携した団体数	団体	16	8	12

単位:千円 事業費の推移

3.21222377								
左帝	市光弗		繰越額					
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此]	
30年度 実績	1,014	0	0	0	485	529		
01年度 実績	396	0	0	0	175	221		
02年度 当初	696	0	0	0	252	444		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>事業実施件数は2件で、昨年度と比較して1件の減となりました。また、連携した団体数は8団体で昨年度 と比較して8団体の減となりました。

<原因>平成23年度がら実施している事業として毎年度継続をしていますが、新たな提案をしてくる団体が年々減少しています。審査に入る前段階として相談の件数は、審査件数以上にありますが、補助金事業として、一定の制約の中での立案、申請となるため、事業の再検討も今後必要であると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	39.4	40.9	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	-	93.6	90

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり		
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化		
計画年度	平成	23 年度 ~	 年度	事務事業整理番号	1337

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民(小学校区)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題を地域で解決していきます。

事務事業の内容、やり方、手順

全市的に協議会についての広報を行い、賛同地域をモデル地区に設定して試行的に事業を展開し、方向性を定めるものです。その後、市内各地域の特性を考慮して、協議会及びその計画を認証するシステムを構築し、一定の権限を有する団体を市内全域に普及することを目指します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
協議会への理解度	%	23.07	25	30.76
成果状況				
協議会数	X	3	3	3
	-	-		

事業費の推移 単位:千円

3.21222377								
左	声光弗		繰越額					
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此	
30年度 実績	11,119	0	0	0	2,209	8,910		
01年度 実績	11,237	0	0	0	2,275	8,962		
02年度 当初	6,050	0	0	0	2,913	3,137		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

協議会数は3団体で、平成30年度と同数ですが、協議会への理解度は25%となり増加しています。

< 原因 >

協議会数は増加していませんが、各小学校区を単位として、まちづくり支援員が中心となり、その普及啓発に努めて います。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	39.4	40.9	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	-	93.6	90

地域まちづくりグローバル賑わい空間事業 事務事業名

総務部 市民自治支援課

		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり		
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化		
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1846

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民、松尾高校

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域で活動する団体、組織、学校、市民等が連携協力することで、地域の特性を活かしたまちづくりがなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾地域の活性化のため、松尾高校の魅力化を図ります。 外部専門家により英語の通い合宿を行います。 ・夏季合宿1回

- ・冬季合宿 1 回

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
英語合宿等開催回数	回	2	2	2
成果状況				
アンケートによる満足度	%	96	93	90
参加者人数(延べ)	人	74	67	90

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
年度	事業費	財源内訳					
十 <u>段</u>	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	5,000	0	0	0	2,500	2,500	
01年度 実績	3,210	0	0	0	1,605	1,605	
02年度 当初	735	0	0	0	367	368	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>アンケートの満足度は93%で昨年度と比較して3ポイントの減、参加人数は67人で昨年度と比較して7人の

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	39.4	40.9	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	-	93.6	90

コミュニティ施設整備支援事業 事務事業名

市民部 市民課

1 - 4 - 1 - 4 - 1					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり		
基本事業番号	03	基本事業名	市民活動施設の利用促進		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	213

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

各地区

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

地域住民相互の親睦に寄与し、地域住民の負担が軽減されま す。

事務事業の内容、やり方、手順

地域社会におけるふれあいのある生活を育成するため、住民が 設置するコミュニティ施設整備を支援し、事業に要する経費に 対して補助金を交付しました。 〔補助内容〕

・施設(新築・増築・改築):床面積1㎡×5万円を補助、限度額700万円、千葉県福祉のまちづくり条例第14条適合の場合は上限800万円

(修理):事業費の1/3補助、限度額100万円、県条例適合の場合150万円 ・構内舗装:事業費の1/3補助、限度額30万円 ・解体:事業費の1/4補助、限度額50万円

- (令和元年度:修理4件、解体1件)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
要望件数	件	5	5	6
成果状況				
補助金交付決定件数	件	5	5	6
伸即金父竹决定件数 ————————————————————————————————————	—— 1T	5	5	

単位:千円 事業費の推移

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
年度	事業費		財源内訳					
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額	
30年度 実績	1,740	0	0	0	0	1,740		
01年度 実績	2,500	0	0	0	0	2,500		
02年度 当初	3,090	0	0	0	0	3,090		

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

令和元年度における補助金決定件数は修理4件、解体1件の合計5件で、昨年度と比較して増減はありません。 <原因>

地区からの要望に基づき施設整備を支援し、計画どおりに事業を実施しました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市民活動支援施設の利用者数	人	31,127	54,093	45,000
活動場所に困っている市民活動団体の割合	%	-	17.8	23
<u> </u>		<u> </u>		

国際交流支援事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり		
基本事業番号	04	基本事業名	多文化共生社会の推進		
計画年度	平成	19 年度 ~	年度	事務事業整理番号	126

事業の概要

対象	(誰	何に対し	、て事業を行うのか`	١
אפוג	し 吐、		/ (事業で1) ノツル	,

国際交流団体

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

民間主体の国際交流を支援することにより、地域の国際化が 推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

国際交流団体に対し、国際交流に係る事業費を補助金として交

国際文派団体に対し、国際文派に係る事業員を補助金として文付しました。 【事務内容】 ・交付申請書及び実績報告書の受理 ・補助金交付事務(内容審査、交付決定通知の送付、請求書の 受理、補助金の支出)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
補助金額	千円	651	605	545
		0		
成果状況				
交流団体活動回数	回	1	1	1
		0		

単位:千円 事業費の推移

3-21424-12							
年度	事業費	財源内訳					
十 <u>段</u>	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	651	0	0	0	0	651	
01年度 実績	605	0	0	0	0	605	
02年度 当初	545	0	0	0	0	545	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

韓国の半月初等学校との交流が約30年間続いています。

長年の交流事業により、日韓双方で事業体制が充実しているものと考えられます。 (平成29年に高円宮記念日韓交流基金顕彰を受賞しています。)

	単位	30年度	01年度	めざそう値
多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)	件	11	9	9

さんむグローバルセンター運営事業 事務事業名

総務部 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり			
施策番号	01	施策名	動と交流によるまちづくり			
基本事業番号	04	基本事業名	多文化共生社会の推進			
計画年度	平成	28 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1896	

事業の概要

対象	(誰	何に対し	、て事業を行うのか`	١
אפוג	し 吐、		/ (事業で1) ノツル	,

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契 機に、山武市の国際化を推進します。

事務事業の内容、やり方、手順

民間主導の国際化、市民参加による東京2020大会の応援及びこれを契機に全市的な視点で国際化の事業推進を図ります。

- 1 . 外国人のためのHP作成(システムの管理含む) 2 . 外国語理解推進事業 3 . 外国人学習支援事業 4 . 研修視察事業 5 国際理解報告書

- 5.国際理解推進事業
- 6.招致国交流事業

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
オリパラ活動事業数	件	5	6	7
提案事業実施数	件	12	13	13

事業費の推移 単位:千円

3 71724 17							
左庇	声	財源内訳					
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	2,479	1,240	0	0	0	1,239	
01年度 実績	1,945	972	0	0	0	973	
02年度 当初	2,430	1,215	0	0	0	1,215	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>提案事業実施数が、当初計画14事業に対して13事業が実施されており概ね順調です。

<原因>団体設立から4年が経過し、事業実施に係るノウハウが少しずつ蓄積してきたことが要因と思われます。

多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)	単位 件	30年度 11	01年度 9	めざそう値 9

事務事業名 招致国事前交流事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり				
施策番号	01	施策名	働と交流によるまちづくり				
基本事業番号	05	基本事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事	京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進			
計画年度	平成	27 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1850		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

招致国 市民 職員

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

山武市をRRし、招致国との友好関係と絆を深めます。 異文化の交流を通じて活力あるまちづくりにつながります。

事務事業の内容、やり方、手順

事前キャンプ招致国を市に招待し、文化・観光等の交流・理解を図り絆を深め異文化交流の推進を図ります。 H26 ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた連

絡会議の実施

解受議の実施。 H27 ・招致国事前交流事業の実施。 事前キャンプ招致国(スリランカ国)との絆を深める ため、JICA短期研修員を市に招待し交流事業を実施。 ・スリランカ事前キャンプ招致決定記念講演会の実施。 H28~R1・スリランカ事前キャンプ関係者の招へい及び交流を 通じた友好関係の深化と事前キャンプ体制の確立推

・スリランカ選手団の事前キャンプ招致 R2

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
招待実施回数	回	1	1	1
成果状況				
アンケートによる満足度	%	90	98	85
	<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
左帝	事業費			繰越額			
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	/米 <u> </u>
30年度 実績	265	0	0	0	0	265	
01年度 実績	33	0	0	0	0	33	
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況 > JICA研修員の招致は1回で昨年度と同数です。また、アンケートによる満足度は98%で昨年度と比較して8

ポイントの増となりました。 <原因>今年度事業では、ホームステイを実施したことにより、JICA研修員が間近で日本文化に触れることができま した。これにより、満足度が増加したものと思われます。

東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	事業	30年度 24	01年度 20	めざそう値 20(H32)

東京オリンピック・パラリンピック戦略推進事業 事務事業名

総務部 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり			
施策番号	01	施策名	働と交流によるまちづくり			
基本事業番号	05	基本事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事	京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進		
計画年度	平成	26 年度 ~	令和 03 年度	事務事業整理番号	1815	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民、組織委員会等関係機関

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

大会の成功に協力し、青少年スポーツ及び障がい者スポーツ の振興を図り、大会の開催効果を市の発展に結び付けます。

事務事業の内容、やり方、手順

戦略推進本部に、分野毎に4つの専門部会を設置し、庁内で 横断的に取組みを進めます。(基本計画及び実施計画の策定) <各専門部会>

1.教育・・・・ ・地元選手の育成及び青少年スポーツ

地元度子が見ばなる。 能力の向上を図る等。 国内外の選手・チームの事前キャンプ地として、市内施設を活用するた 2 . 招致・・・・

プ地として、市内施設を活用するための誘致活動等。
3. 障がい者スポーツ・・障がい者スポーツの振興及び障がい者に優しいますづくり。

4. まちづくり・・・・市内経済活性化。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
事業計画数	事業	24	21	17
以未认儿				
事業実施数	事業	24	20	17

単位:千円 事業費の推移

2.21/2/2/2/2							
左	声光弗		繰越額				
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	無越智
30年度 実績	1,219	89	0	0	0	1,130	
01年度 実績	1,488	135	0	0	1,208	145	
02年度 当初	8,935	176	0	0	8,583	176	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

事業実施数が当初計画の21事業に対し、20事業実施されており概ね順調です。

<原因>

東京2020大会開催までの期間に見合った事業について、毎年度アクションプランを策定し、計画的に事業を実施することにより、概ね当初計画通りに事業を実施することができました。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年3月に実施を予定していた1事業のみ中止となりました。)

東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	事業	30年度 24	01年度 20	めざそう値 20(H32)

ふるさと納税推進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実		
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1099

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

日本国民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

日本国民が山武市に自発的にふるさと納税による寄附をしま ゙す。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・令和元年 5 月15日付け総務省告示第16号により、ふるさと納
- 税制度の指定団体となりました。
 ・ふるさと納税制度の仕組み、概要などをホームページに掲載し、広く寄附を募りました。
 <寄附を募りました。
 <寄附を募りました。
- く寄附受入什数ター1,193日 (寄附金額ター23,417,622円 ・寄附をいただいた方に対して、寄附金受領証のほか、礼状やふるさと納税に関する案内等を郵送しました。 ・平成30年度の事業状況について、寄附受入件数、寄附金額及 び運用状況を、広報紙及び市ホームページに掲載しました。 ・消費税増税に伴う返礼品の見直しを行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
ホームページ掲載回数		5	3	5
成果状況				
寄附受入件数	件	619	1,193	1,235
寄附金額	円	10,741,000	23,417,622	12,350,000

単位:千円 事業費の推移

年度	事業費	財源内訳					繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	A
30年度 実績	5,137	0	0	0	0	5,137	
01年度 実績	7,904	0	0	0	0	7,904	
02年度 当初	6,746	0	0	0	0	6,746	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

平成30年度と比較して、寄附受入件数、寄附金額ともに増加しています。

<原因>

台風被害に対する災害支援寄附を受け入れたことが主な増加要因と考えられます。 また、令和元年度に追加した返礼品によって新たな寄附者層を獲得できたことも、増加要因の一つと考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	89	85	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	752,675	827,353	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	231	289	215

広報さんむ作成・発行事業 事務事業名

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	90

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内全世帯 市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

条例・規則・市の施策・行事等に関することを市民に周知する必 要があり、市民と情報の共有化を図ります。 市民目線の広報紙を作製することで、幅広い年代に読んでも らえるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の世帯に配布する広報紙を作製し発行します。 市民と協働で広報紙を作製します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	264,000	280,200	240,000
広報紙を読んでいる市民の割合	 %	89	85	90

事業費の推移 単位:千円

- N	1 1 1 1 1 1 1 1 1						
左	事業費	財源内訳					繰越額
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋 <u>此</u> 公共
30年度 実績	11,869	0	0	0	881	10,988	
01年度 実績	12,372	0	0	0	982	11,390	
02年度 当初	16,299	22	0	0	817	15,460	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 広報紙を読んでいる市民の割合は、令和元年度と比べて4%減少しました。 <原因 > 市民編集委員と協働し、市民目線で市民生活に密着した情報や特集記事の掲載、台風被害に関する支援等を お知らせするため号外を発行しましたが、行政情報のお知らせが多く、文字が多い紙面構成になっていることが一つ の要因と考えられます。また、パソコンやスマートフォンの普及により広報紙離れが進んでいることも考えられま す。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	89	85	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	752,675	827,353	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	231	289	215

事務事業名 ホームページ運営事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	91

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

山武市の情報を得ようとする人

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

開かれた行政実現のため、市民が必要とするきめ細かな情報 の発信源とします。

事務事業の内容、やり方、手順

市民等に対し、電子媒体により条例や規則、市の施策、行事等に関することなどを掲載しています。 担当課が告知内容を作成し、各課で掲載。市民自治支援課では 内容を定期的に確認しています。また、PRしたいイベントなど を画像を使って目立つように周知したり、ホームページのカテ ゴリー構造などをチェックしています。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
更新件数(更新申請件数)	件	0	0	0
承認件数	件	2,956	3,006	2,800
成果状況				
市ホームページへのアクセス件数	<u></u> 件	752,675	827,353	703,000

事業費の推移 単位:千円

2 - 2 2 - 2 2							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	深起 領
30年度 実績	1,836	0	0	0	540	1,296	
01年度 実績	6,151	0	0	0	320	5,831	
02年度 当初	1,097	0	0	0	240	857	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

ホームページへのアクセス件数は増えており順調です。

<原因>

パソコンやスマートフォンの普及により、情報を取得する手段としてホームページが利用されており、令和元年度は台風・大雨被害の対応ページへのアクセス件数が増えたことが考えられます。また、安定した運用を行うためシステムの更新を行いました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	89	85	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.5	86.5	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	752,675	827,353	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	231	289	215

議会だより作成事業 事務事業名

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	668

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

議会の審議状況や議員活動について市民に解りやすく伝えることにより、議会への関心がより高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・議会の活動状況を広く市民に周知するため議会だよりを定例会ごとに発行し全世帯に配付するとともに、市ホームページにも掲載します。
 - :掲載します。 仕様:A 4 版16ページ、4色カラー印局配付方法:新聞折込及び郵送にて配付編集委員会の目的 4色カラー印刷
- - 内容を精査し、市議会及び議員の活動状況を市民にわかり やすく伝えます。
 - ・他市の議会報を参考にして、よりよい議会だよりになるよ にします
- ・改選後の臨時議会は、臨時号を発行します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
議会だより配付部数(1回あたり)	部	22,000	21,000	19,200
議会だより編集委員会の開催回数(年間)		4	5	4
成果状況				
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	43.2	41.6	47
議会だよりを読んでいる職員の割合	%	65.8	67.4	65

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費 財源内訳						繰越額
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	2,633	0	0	0	0	2,633	
01年度 実績	2,197	0	0	0	0	2,197	
02年度 当初	3,169	0	0	0	0	3,169	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>議会だよりを読んでいる市民の割合は平成30年度より1.6ポイント減少しましたが、職員の割合は1.6ポイント増加しており順調です。

<原因>議会だより編集委員会で協議検討し、見やすい紙面になるようレイアウト等を工夫したことにより維持・横 ばいとなっています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	43.2	41.6	47
傍聴人数	人	102	84	140
議会インターネット中継アクセス件数	 件	1,999	1,394	2,800

議会改革推進事業 事務事業名

議会事務局 議会事務局

HON - 1 D THON		3.5. 5			
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進		
計画年度	平成	28 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1964

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市議会議員 市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

先進地の議会改革の内容を調査・研究することにより、議会

| 大定地の観点以単の内谷を調査・研究することにより、議会 | 改革の取り組みが進みます。 | 議会の情報を公開することにより、透明性を確保し、議会に | 対する市民の理解と信頼が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

- 議会改革先進事例の提供
- 議会以単元進事例の提供 ・議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。 議会運営効率化・公開に関する支援 ・議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開 等に関して議会の依頼に応じ有益な情報を調査・提供しま

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	2	2	1
成果状況				
議会改革として取組をすることになった件数	件	0	0	1

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費	財源内訳					4号 土代 安西
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>議会改革として取組をすることなった件数は、0件で前年度と同じです。 <原因>先進地の視察により議会改革に係る調査は行いましたが、議会改革の取組には至りませんでした。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	43.2	41.6	47
傍聴人数	人	102	84	140
議会インターネット中継アクセス件数	 件	1,999	1,394	2,800

行政評価制度推進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	127

事業の概要

事業活動と成果

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・総合計画に定める体系(政策・施策・基本事業・事務事 業) ・職員
- ・市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。 ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的
- に行う職員が増えます。 ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適 切な資源配分が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。
【令和元年度】事務事業と施策・基本事業とを連動させることでさらなる推進を図りました。
4月 まちづくりアンケートの実施
4月~6月 施策基本事業評価・事務事業評価(スプリングレピュー)
7月~ 事務事業評価(サスーレピュー)
10月~ 成果志向型予算編成の実施

成果志向型予算編成の実施 まちづくり報告書 10月~

12月 実施計画書の策定 2月

活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
回	2	3	2
事業	280	174	300
%	53.9	54.3	65
	事業	事業 280	回 2 事業 280 174

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
午 <u>吳</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
30年度 実績	5,239	0	0	0	0	5,239	
01年度 実績	5,440	0	0	0	0	5,440	
02年度 当初	5,952	0	0	0	0	5,952	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度の行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合は54.3%で、昨年度と比較して0.4ポ イント増加しました。

〈原因〉例年実施している職員向けの説明会に加えて、若手職員向けの研修を実施したことにより向上したものと思 われます。

		01年度	めざそう値
%	-	35.7	70
%	53.9	54.3	66.7
			

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	17

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

職員

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応する職員を 育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1)研修機関で実施する研修 がじ機関で実施する場合 山武郡市広域行政組合 千葉県自治研修センター 人材マネジメント部会 市町が終
- (2)内部研修 年間 2 回の内部研修 4か月に 1 回の自己啓発研修 新規採用職員等研修など
- (3)自己研鑽研修

が 所属部署の業務を離れて、先進事例を研究するための先進 自治体への視察研修(2人以上のグループによること)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
実施する研修の数		69	50	44
成果状況				
職員一人当りの研修受講回数	回数	2.6	1.1	1.5
多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合	%			

単位:千円 事業費の推移

左庇	車光弗	事業費 財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	2,465	0	0	0	23	2,442	
01年度 実績	1,239	0	0	0	8	1,231	
02年度 当初	3,843	0	0	0	150	3,693	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

職員一人当りの研修受講回数は、平成30年度より1.5回減少しています。 <原因>

台風等により甚大な被害を受け、職員の災害復旧業務等を最優先事項として事務執行を行ったため、研修会の開催回数及び受講職員数は低下しました。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	78.8	69.3	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	83	77.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.8	92.8	95

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

me ore m					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	18

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|職員 (一般職)

-意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・評価結果を処遇に反映させるための制度設計を行います。

事業活動と成果 活動状況 (活動指標)と成果状況 (成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
研修会開催回数		5	0	4
成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	84	87	81
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	50	53	66

事業費の推移 単位:千円

3 7177 17							
年度	事業費		繰越額				
十 反	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此50 合具
30年度 実績	395	0	0	0	0	395	
01年度 実績							
02年度 当初	241	0	0	0	0	241	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合が、平成30年度より3ポイント、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合が、1ポイントそれぞれ向上しています。

<原因>人事評価制度やその仕組みについては、人事評価研修や目標設定度調整会議等の実施により、職員個々の人 事評価への理解が深まった結果と考えます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	78.8	69.3	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	83	77.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.8	92.8	95

組織体制見直し事業 事務事業名

総務部 総務課

me stomi					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	23

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|職員が効率的に事務を実施できるように組織を見直します。

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市の直面する喫緊の課題に機動的に対応できるよう組織の見 直しを行います。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。 ・組織改編に向けての各部署のヒアリング実施します。 ・組織モデル案の作成し庁議及び議会へ報告します。
- ・組織を見直します。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
組織体制見直しに係る打合せ回数		1	8	1
成果状況				
組織及び事務分掌の見直し回数	回	1	1	1
効果的効率的な組織編制 (課や事務分掌)ができていると 思う職員の割合	%	68.5	62.4	70

単位:千円 事業費の推移

3.21222377	1 1 1 1 1 1 1 1						
年度	事業費		繰越額				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此弘 召貝
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

元。 部署の名称のわかりやすさや事務分掌などについて、見直しの必要性を感じる職員が多くなってきたものと考えられ ます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	78.8	69.3	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	83	77.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.8	92.8	95

定員適正化推進事業 事務事業名

総務部 総務課

me stomi					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1089

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

職員

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を
- 進めます。
 ・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の
- 適正化を図ります。
 ・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。
 - 退職勧奨制度の周知
 - 職員採用計画 5月
 - 6月
 - 戦員が用前回 地方公共団体定員管理調査 人事に関する各部ヒアリング 職員配置の決定 9月
 - 3月

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
各部・各課ヒアリング回数	日	5	8	6
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	2	6	0

単位:千円 事業費の推移

3.2/22/2012							
年度	事業費	財源内訳					
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>平成31年度の定員適正化計画の目標定員453人に対し、実績は447人で、6人少ない状況となっています。

<原因>主な理由としては、年度末近くでの自己都合による退職者の増加により、職員の不補充となったことによる ものです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	78.8	69.3	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	83	77.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.8	92.8	95

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

WO: 333 HI					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	平成	28 年度 ~	平成 30 年度	事務事業整理番号	1962

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

職員の持てる力を十分発揮し活躍できるよう、仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境の整備を推進し、効率的な組織運営の向上に努めていきます。

事務事業の内	ᅡᅉᇸ	ナい十	、手順
事務事業のど	い合、「	さり方	、土順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性職員の育児参加休暇等の取得推進 ・ノー残業デーの推進
- ・ノー残業デーの推進 ・時間外勤務の削減

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
休暇・休業制度に関して行った通知等の回数	回	4	4	4
- TO LINE				
成果状況				
年次休暇の平均取得日数	日	9.9	9.7	10

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費		4品 土代 安石				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>年次休暇の平均取得日数は、平成30年度より0.2ポイント減少しています。

<原因>一斉定時退庁日の設置や事務事業の見直し等による時間外勤務の削減、年次休暇及び夏季休暇の計画的な取得によりワークライフバランスの推進を図っていきます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	78.8	69.3	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	83	77.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.8	92.8	95

指定管理者指定事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営		
計画年度	平成	18 年度 ~	年度	事務事業整理番号	130

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

公の施設

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか) 適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されていま

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行います。

。 【令和元年度実績】 下記施設について、指定管理者の指定を行いました。 ・自転車等駐車場

- ・さんぶの森元気館

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
	2	2	3
施設	21	21	21

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費	財源内訳					繰越額
十 及	尹未貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 公百貝
30年度 実績	53	0	0	0	0	53	
01年度 実績	54	0	0	0	0	54	
02年度 当初	83	0	0	0	0	83	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>指定管理者制度を導入している施設数は21施設を維持しています。

< 原因 > その理由としては、新たに指定管理導入を希望する施設はありませんでしたが、令和元年度更新対象であったさんぶの森元気館・自転車等駐車場の指定手続きが更新されたためです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
経常収支比率	%	91.9	92.6	90
実質公債費比率	%	9.1	8.7	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.85	78.58	77

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	155

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

-般会計、特別会計及び企業会計

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行さ れています。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行います。 予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基点とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成します。 8月 投資的事業の要求内容確認(サマーレビュー) 9月 予算便要求(投資的事業) 10月 予算要求説明会、予算本要求 11月 資源配分会議等による予算の調整 12月 市長香定

2月 1 市長査定

2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
評価・点検をした事務事業数	事業	280	174	300
当初予算額(特定財源を含む)	百万円	21,218	22,960	

単位:千円 事業費の推移

3.2/22/2012							
年度	事業費		4品 土化 安石				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績							
01年度 実績							
02年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度の当初予算額(特定財源を含む)は229億6,000万円で、昨年度と比較して17億4,200万円増加しま

<原因>令和元年度は、 まつおこども園移転整備事業や農村環境改善センター施設改修事業など、支出額の大きい事 業を実施したことによるものです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
経常収支比率	%	91.9	92.6	90
実質公債費比率	%	9.1	8.7	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.85	78.58	77

基金管理事業 事務事業名

総務部 財政課

11.0 070 HI					
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	159

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

財政調整基金 その他の基金

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的として 基金が積み立てられています。 また、庁舎整備の財源として利用することを目的とした基

金等が積み立てられています。

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金を計画的に有利な条件で運用するとともに、将来に 備え必要な積み立てを行います。また急な支出への対応を行い **ます**。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

単位	30年度	01年度	02年度
百万円	909	1,296	
百万円	691	503	
百万円	5,802	5,274	
	百万円	百万円 909 691	百万円 909 1,296 百万円 691 503

単位:千円 事業費の推移

3.21222377							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	363,465	0	0	0	93,453	270,012	
01年度 実績	153,093	0	0	0	147,878	5,215	
02年度 当初	97,055	0	0	0	84,896	12,159	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和元年度の財政調整基金残高は52億7,400万円で、昨年度と比較して5億2,800万円減少しました。<原因>令和元年度は、台風災害等への対応により繰入額が増加したことによるものです。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
経常収支比率	%	91.9	92.6	90
実質公債費比率	%	9.1	8.7	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.85	78.58	77

市税等徴収事務事業 事務事業名

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	250

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市税(市県民税(普通徴収)、固定資産税、軽自動車税)の 納税義務者

収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会 が拡大し、納税者の利便性を高めます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・納税義務者に納付機会の拡大を推進。(口座振替やコンビニ エンスでの納付)
- ・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督 促状を発し納付を促進。

当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納 「当初記れ造れ音に口座旅音や吊中込音及びコンピニエンス語 付の案内を同封し通知。 広報さんむ及び市ホームページで周知。 一納税義務者が口座振替及びコンビニ納付した場合の手数料は

無料。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
納期内納付啓発回数		9	9	9
口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ者 数	人	45,152	45,028	46,000
成果状況				
督促状発送件数	件	25,887	24,098	22,893
口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合	%	55.6	54.8	56

単位:千円 事業費の推移

3 7172 1							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	11,047	0	0	0	0	11,047	
01年度 実績	20,995	0	0	0	0	20,995	
02年度 当初	11,079	0	0	0	0	11,079	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合が1.9%低下、収納金額率が0.8%低下しました。

口座振替の申し込みの推進及び利便性向上によるコンビニ収納の充実が図られていますが、特別徴収の増加により、

口座振替・コンビニエンスストアでの市税収納割合は横ばいであると考えます。

市税収納率	<u>単位</u> %	97.7	97.58	めざそう値 98.53
	-			
_				

事務事業名 法的債権回収事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保		
計画年度	平成	27 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1821

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

非強制徴収公債権滞納者

私債権滞納者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

非強制徴収公債権及び私債権の納付が促進されています。

事務事業の内容、やり方、手順

自力執行権を有しない非強制徴収公債権及び私債権の回収業務 を弁護士に委託

事業内容

- 事業内谷
 ・弁護士名で滞納者に対して催告書を発送(年2回)
 ・納付相談(弁護士との個別面談)を行い適切な助言や納付交 渉を行うと共に納付相談を踏まえ、債務者の生活状況から、本 人に見合った適切な回収の方向性を判断(年2回) ・債権管理の専門的な助言や指導 ・弁護士法に基づき債務者の財産調査、所在調査を実施

- ・特に困難な案件の訴訟代理人を委託

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
催告書発送件数	件	32	17	35
納付交渉件数	件	9	4	15
成果状況				
回収金額	千円	956	1,415	1,000
分納による回収見込額	千円	3,288	2,890	2,200

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費 財源内訳						繰越額
十 <u>反</u>	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此公]
30年度 実績	1,439	0	0	0	0	1,439	
01年度 実績	1,193	0	0	0	0	1,193	
02年度 当初	1,547	0	0	0	1	1,546	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

昨年度より納付交渉件数は減少しましたが、回収金額は48%増加しており順調です。

裁判を予定していた高額債権が回収できたことにより、回収金額が大幅に増加しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市税収納率		97.7	97.58	98.53

本庁舎管理運営事業 事務事業名

総務部 財政課

MO OTO MI TO PETANT							
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり				
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営				
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメ	☆共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			
計画年度	平成	20 年度 ~	年度	事務事業整理番号	177		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|本庁舎施設、施設利用者

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

本庁舎施設が、施設利用者(市民、職員等)にとって安心し て利用できる環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

本庁舎施設の維持管理業務を行います。

保守点検業務 電気保安業務、消防設備保守点検業務、空調設備保守点検業 務、自動扉保守点検業務、排煙設備保守点検業務、浄化槽管理 業務、エレベータ保守点検業務、電話設備保守点検業務 維持管理業務

夜間警備業務、庁舎清掃及び環境衛生管理業務、植木管理業務 日常管理業務

光熱水費管理、電話料管理、放送受信料管理、本庁舎施設修繕 等

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
本庁舎施設の修繕件数	件	14	22	5
成果状況				
庁舎施設の不具合件数	件	8	2	0
クレーム件数		0	0	0

事業費の推移 単位:千円

- N							
左	事業費		4品土化安石				
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	91,559	0	0	0	17,589	73,970	
01年度 実績	65,278	0	0	0	743	64,535	2,862
02年度 当初	74,697	0	0	0	9,494	65,203	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

保守点検等の結果に対応した修繕を行うことによって、予防保全が進められており、壊れてから直すという事後保全が減少しています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	45.5	50
公共施設維持管理費	万円	178,470	143,715	192,000

庁用車適正配置事業 事務事業名

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり				
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営				
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメ	☆共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			
計画年度	平成	1 24 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1578		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

職員 庁用車

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

庁用車が各部に適正に配置されています。 庁用車の環境負荷が低減しています。

事務事業の内容、やり方、手順

保有する庁用車を最大限有効活用するために必要な調査を行い、利用状況に応じた配車を行ないます。 また、新規登録から13年を経過している庁用車については、適宜、環境負荷の少ない車両へ買い替えを行っていきます。 ・庁用車の利用状況調査等 ・環境負荷の少ない車両への買い替え

事業活動と成果	活動状況	(活動指標)	と成果状況((成果指標).	事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
新車購入台数	台	2	2	1
廃車台数	台	3	4	1
成果状況				
公用車1台に対する職員数	人	4.35	4.35	4.8
共用車の稼働率	%	70.5	66.1	80

事業費の推移 単位:千円

3.21222377							
年度	事業費		繰越額				
平 及	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	於宋此 。
30年度 実績	5,006	0	0	0	0	5,006	
01年度 実績	5,217	0	0	0	0	5,217	
02年度 当初	3,793	0	0	0	0	3,793	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 利用状況や配置希望を調査し、全庁的に適正な配置を進めています。 <原因 > 本事業では、老朽化し環境負荷の大きい車両を4台廃車し、利用用途に即して2台購入しました。総保有台数 は2台減となりましたが、稼働率は横ばいとなっています。

単位	30年度	01年度	めざそう値
%	49.1	45.5	50
万円	178,470	143,715	192,000
	%	% 49.1	% 49.1 45.5

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり				
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営				
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメ	☆共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			
計画年度	平成	1 24 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1731		

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市が保有する公共施設

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
- ・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
- できています。
 ・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強く求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画・管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。 【事業内容】

平成28年度 ~ 平成30年度 保全情報システム更新・運用 平成30年度 ~ 令和 2 年度 公共施設個別施設計画策定 平成30年度 公共施設マネジメントシステム構築 令和元年度 ~ 公共施設マネジメントシステム導入・運用

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況 維持管理費削減に係る取組数 	単位 件	30年度 2	01年度 3	8
成果状況 公共施設維持管理費	千円	1,784,699	1,437,145	

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費			繰越額			
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此<u>以</u>合 其
30年度 実績	2,452	0	0	0	0	2,452	
01年度 実績	1,331	0	0	0	0	1,331	
02年度 当初	1,166	0	0	0	0	1,166	(19,440)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>全庁的に利用可能な公共施設マネジメントシステムを導入するため平成30年度に新システムを構築し、令和元年度から運用を開始しました。(旧保全システムについては契約終了) <原因>新システムは適正に運用されています。また、個別施設計画の策定については、台風15号等の影響により主要業務を一部履行できなかったことから、期間を変更し令和2年度末までに策定する予定です。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	45.5	50
公共施設維持管理費	万円	178,470	143,715	192,000

証明書等コンビニ交付構築事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	06	基本事業名	情報化の推進と適正管理		
計画年度	平成	23 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1556

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市民がコンビニで各種証明書等(住民票の写し、印鑑登録証 明書、税証明書及び戸籍)の取得ができます。

事務事業の内容、やり方、手順

市民が住基カード及び個人番号カードを利用して、全国のコンビニで各種証明書等(住民票の写し、印鑑登録証明書、税証明書及び戸籍)を取得するためのシステムの維持管理を行いました。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
保守業者等の保守点検日数	日	16		365
住基カード・個人番号カード発行枚数	枚	8,404	6,901	8,000
成果状況				
コンビニで受け取ることができる証明書等の種類	種類	8	8	8
コンビニ交付件数	件	1,800	1,827	2,200

単位:千円 事業費の推移

2.21222 31- 12							
左	事業費	財源内訳					
年度	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	10,811	0	0	0	0	10,811	
01年度 実績	14,892	0	0	0	0	14,892	
02年度 当初	15,054	0	0	0	0	15,054	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

維持・横ばい 向上 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

コンビニ <原因 > ニ交付件数は昨年度と比較し、27件増加しています。

マイナンバー制度が開始されたことにより、各証明書の添付が必要なくなったことから全体的に交付件数が減少して いると考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民割合	%	30.1	41.5	31
主要情報システムの予期せぬ停止時間(年間)	時間	0	0	0

地方創生総合戦略推進事業 事務事業名

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	平成	26 年度 ~	年度	事務事業整理番号	1872

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

戦略に定める体系

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、市民と行政が一体的に地方創生事業に取り組むことで、人口減少克服と地方創生が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

人口減少問題に係る市民との認識の共有化を図り、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、山武市まちひとしごと創生総合戦略に基づいた、地方創生事業を推進していきます。

【令和元年度実績】

- ・事業の推進(地方創生推進交付金関係) ・戦略会議による事業評価 ・交付金の申請及び実績報告に係る事務

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
推進組織会議開催回数	回	1	2	2
実施プロジェクト数	事業	2	2	1
成果状況				
山武市人口	人	49,584	48,864	48,230

単位:千円 事業費の推移

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
年度	事業費		繰越額				
十.反 	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣 人达 否具
30年度 実績	289	0	0	0	0	289	
01年度 実績	255	0	0	0	0	255	
02年度 当初	584	0	0	0	0	584	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >

山武市の人口は令和元年度は720人減少しました。前年度の761人減少と比較し、ほぼ同程度の減少数となっていま す。 <原因>

地方創生推進交付金を活用した事業の性質から、短期での影響が出づらいことが挙げられます。 今後も事業を継続することで成果指標の上昇に繋げていきます。

単位	30年度	01年度	めざそう値
-			

事務事業名 監査委員活動費

監查委員事務局 監查委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり			
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行			
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実			
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	684	

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

一般会計 特別会計 企業会計

市役所全部署

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

平成31年度山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。

- 1 例月現金出納検査...現金の残高や出納事務が適正に行われているかを主眼として実施(毎月25日) 2 決算審査、基金運用状況審査...決算の計数の正確性や事業の経営が適正かを検証(企業会計6月中旬、一般会計及び特別 会計 7月中旬)
- 3 財政健全化審査及び公営企業経営健全化審査…健全化判断 比率が適正かを主眼に実施(8月中旬) 4 定期監査…財務の執行や事業の管理が適正かを主眼として
- 実施(11月中旬)
- 工事監査…技術面の調査を技術士に委託して実施(随時)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
監査等を実施した件数	件	5	5	5
成果状況				
指摘事項の件数	件	29	24	24
計画に対する監査実施率	%	100	100	100

単位:千円 事業費の推移

3 71724 10 12							
左庇	財源内訳						4品土化安西
年度	事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	繰越額
30年度 実績	1,095	0	0	0	0	1,095	
01年度 実績	1,072	0	0	0	0	1,072	
02年度 当初	1,097	0	0	0	0	1,097	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>監査等を実施した件数は横ばいの5件で、計画に対する監査実施率も目標値を達成しました。指摘事項等の件 数は、24件となりました。

< 原因 > 監査計画に基づき監査等を実施しました。監査等により是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われ、指摘事項等の件数は減少しています。なお指摘事項等は、すべて措置が講じられています。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

情報公開・個人情報保護事業 事務事業名

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	04	基本事業名	情報公開及び個人情報保護の推進		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	16

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

|市民から請求があった情報公開、個人情報の開示に関する事 務を行います。

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

市の保有する情報を市民が容易に入手できます。 市が保有する個人情報が適正に管理保護されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 情報公開・個人情報保護制度の運用に関する業務を行います。 ・公文書開示請求、個人情報開示請求の受付(随時) ・個人情報登録簿の管理(変更のある毎) ・情報公開・個人情報保護制度に関する相談(随時) ・情報公開審査会、個人情報保護審査会の開催(不服申出があ
- ・運用状況の公表(年1回)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
開示請求受付件数	件	37	39	30
職員に対し個人情報の取扱いに関する注意喚起を行った件 数	件	2	2	2
成果状況				
情報公開開示件数	件	35	36	30
個人情報漏洩件数	件	0	0	0

単位:千円 事業費の推移

3 71772 17							
年度	事業費			財源内訳			繰越額
十 反	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	#宋此公召其
30年度 実績	39	0	0	0	8	31	
01年度 実績							
02年度 当初	117	0	0	0	2	115	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>情報公開開示請求件数は、前年よりも1件増え、36件となりました。個人情報の漏洩は発生しませんでし た。 <原因>市が発注した工事に係る単価及び金額の記載された設計書についての情報開示請求が多く、前年度比で微増

、原内であれていた。 となりました。 職員に対し、個人情報の取扱いについての注意喚起を継続的に行っていることから、漏洩事案が発生しなかったもの と考えられます。

	単位	30年度	01年度	めざそう値
不服申立による変更件数	件	0	0	0
個人情報の漏洩件数	件	0	0	0

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	••••				
政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	218

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けら れます
- ・金融過疎地である山武地区の収納機関としても利用できま す。

事務事業の内容、やり方、手順

- 2,090件
- ・戸籍の届出 112件 ・諸証明交付・住民基本台帳に関する届出 838件・マイナンバーカード発行申請等 8 ·諸証明交付 4,958件
- 814件
- ・印鑑登録 497件 ・印鑑証明交付 4,094件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 2,789件
- 諸証明交付 2,323件
- 248件

- 395件
- ・国体・復期向齢・中並に関する届出 2, ・各種税関係申請等の収受 1,051件 ・ ・市税等の収納 8,171件 ・ごみ袋販売 ・障害者福祉等に関する届出 1,389件 ・児童手当等に関する届出 975件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 ・交通災害共済の申請 212件 ・緑の羽根 ・緑の羽根募金の受付 79件
- ・その他の申請及び届出 643件

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
窓口サービス取扱件数	件	32,759	31,678	33,000
出張所利用者数	人	27,428	26,913	27,000

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
年度	事業費		繰越額				
平 長	尹耒貝	国費	県費	地方債	その他	一般財源	允荣此<u>以</u>合 其
30年度 実績	5,330	0	0	0	957	4,373	
01年度 実績	4,746	0	0	0	0	4,746	
02年度 当初	742	0	0	0	366	376	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともに減少傾向ですが、外国人の転入に伴う申請・届出、台風の影響による戸別受信機の交換件数が増加しており、マイナンバーカードに係る手続き、外国人の対応や案件の多様化により1件あたりの所要時間は長引く傾向にあります。
< 原因 > 人口の減少やマイナンバーを活用した情報連携により証明交付件数が減少したことにより、窓口サービス取

扱件数及び出張所利用者数が減少していると思われます。

窓口サービスの満足度	<u>単位</u> %	82.7	01年度 82	めざそう値 84

蓮沼出張所事務費 事務事業名

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	217

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・市民

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・多種多様な窓口サービスや相談を最寄の出張所で受けられま す
- ^{す。} ・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- - ・諸証明交付 972件

- ・諸証明交付 564件

- ・戸籍の届出 112件 ・諸証明交付 625件 ・住民基本台帳に関する届出 186件 ・諸証明 ・マイナンバーカード発行申請等 204件 ・印鑑登録 86件 ・印鑑証明交付 1040件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 872件 ・各種税関係申請等の収受 266件 ・諸証明交 ・市税等の収納 2832件 ・ごみ袋販売 126件 ・障害者福祉等に関する届出 288件 ・児童手当等に関する届出 282件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 182件 ・交通災害共済の申請 102件 ・緑の羽根募金 ・その他申請及び届出 290件 ・緑の羽根募金の受付 19件
- ・その他申請及び届出 290件

活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移 事業活動と成果

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
窓口サービス取扱件数	件	9,458	9,048	9,812
出張所利用者数	人	7,532	7,199	7,922

単位:千円 事業費の推移

3 T1724 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
左莊	声		繰越額				
年度 事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越智
30年度 実績	328	0	0	0	328	0	
01年度 実績	243	0	0	0	243	0	
02年度 当初	359	0	0	0	359	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともに減少傾向ですが、マイナンバー関係や介護・障害・年金等の手続き や相談が増加傾向にあり、一人当たりの所要時間は増加傾向にあります。

人口の減少とコンビニでの納税や証明書の交付により、利用者数が減少していると思われます。

窓口サービスの満足度	<u>単位</u> %	82.7	01年度 82	めざそう値 84

松尾出張所事務費 事務事業名

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上		
計画年度		年度 ~	年度	事務事業整理番号	216

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・市民

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

- ・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられま す
- ^{す。} ・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・戸籍の届出 115件 ・諸証明交付 1,511件 ・住民基本台帳に関する届出 706件 ・諸証明 ・マイナンバーカード発行申請等 170件 ・印鑑登録 196件 ・印鑑証明交付 2,004件 ・国保・規期高齢・年金に関する届出 1,959件 ・諸証明交付 2,251件

- ·諸証明交付 1,530件

- ・国体・復期高齢・中玉に関する届出 1,959件 ・各種税関係申請等の収受 536件 ・諸証明交 ・市税等の収納 4,623件 ・ごみ袋販売 154件 ・障害者福祉等に関する届出 1,107件 ・児童手当等に関する届出 692件 ・要介護・要支援認定等に関する届出 595件 ・交通災害共済の申請 331件 ・緑の羽根募金 ・緑の羽根募金の受付 36件
- ・その他の申請・届出 362件

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
窓口サービス取扱件数	件	18,945	18,878	20,000
	件		0	
成果状況				
出張所利用者数	人	15,681	15,636	15,000
	 件		0	

単位:千円 事業費の推移

3 71724 17							
左庇	声	財源内訳					繰越額
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	然此為
30年度 実績	772	0	0	0	772	0	
01年度 実績	1,342	0	0	0	1,342	0	
02年度 当初	526	0	0	0	526	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>窓口サービス取扱件数の前年度比は、67件(0.4%)の減少となりました。 また、松尾出張所利用者は、45人(0.3%)の減少で、共にほぼ横ばいです。 <原因>ここ数年の窓口サービス取扱件数及び施設利用者数は、微減の傾向にあります。 主な要因として、松尾地区の人口の減少並びに高齢化が考えられます。 (H31年4月現在 9,362人に対し、R2年4月現在 9,207人で、 155人となっています。)

	単位	30年度	01年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.7	82	84

事務事業名 議員研修事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度		年度 ~	 年度	事務事業整理番号	670

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市議会議員

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

情報収集、調査研究活動が充足しています。 審議能力及び政策立案能力が向上され、議会での議論が活発 化し、市政の課題解決に取り組むことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会が、それぞれ所管事務について行う行政調査・研修に対する費用です。 ・審議能力を高めるため、先進の事例等を研修します。 ・議員資質向上を目的とした研修会への出席に対し、費用の負
- 担を行います。

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	30年度	01年度	02年度
実施する研修の数	回	14	8	11
参加人数	人	117	72	95
成果状況				
議員一人当たりの研修会参加回数	回数	5.6	3.6	4.8

単位:千円 事業費の推移

2.21222 31- 12							
左	有度 東洋 財源内訳					繰越額	
年度事業費		国費	県費	地方債	その他	一般財源	深越智
30年度 実績	2,646	0	0	0	0	2,646	
01年度 実績	1,307	0	0	0	0	1,307	
02年度 当初	2,786	0	0	0	0	2,786	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

01年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり 活動進捗状況

向上 維持・横ばい 低下 事業成果状況

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>議員一人当たりの研修会参加回数は、平成30年度より2ポイント減少しています。

<原因>多くの議員が研修会に参加している状況ですが、9月に発生した台風の影響により、研修会が中止となったことが大きな要因と考えます。

単位	30年度	01年度	めざそう値